

# 横浜労災病院への紹介方法について

## 地域医療機関からの診療予約

### 登録医療機関から【地域医療連携室】

(登録医制度については P154、登録医療機関の優先予約については P156)

登録医専用予約電話： **045-474-8362** (平日 8:15～19:00)

FAX： **045-474-8344**

### 登録医療機関ではない場合【予約センター】

電話： **045-474-8882** (平日 8:15～17:00)

FAX： **045-474-8523** (医療機関のみ)

## 患者さんからの診療予約【予約センター】

(予約センターについては P12)

電話： **045-474-8882** (平日 8:15～17:00)

## 緊急で受診が必要な場合 (地域医療機関から)

### 診療科が明らかな場合

#### 1 各診療科医師に直接ご相談いただく場合

電話： **045-474-8111** (代表) に電話をし、交換手に

「救急患者紹介のため、〇〇診療科の本日の担当医に電話をつないで欲しい」

とお話してください。

#### 2 地域医療連携室経由の場合

電話： **045-474-8345** (直通)

### 診療科が不明な場合

救急外来に直接お電話ください。

電話： **045-474-8111** (代表) から、救急外来に電話をおつなぎします。

FAX： **045-474-8166** (救急外来専用)

### 時間外、休日の場合

救急外来に直接お電話ください。

電話： **045-474-8111** (代表) から、救急外来に電話をおつなぎします。

FAX： **045-474-8166** (救急外来専用)

## 目次

病院の基本理念	2
病院長挨拶	3
病院の概要	4
患者サポートセンターについて	10
紹介患者さんの外来受診のご案内	12
外来診療担当医表	14

### 診療科紹介

<b>内分泌・糖尿病センター</b>	
糖尿病内科・内分泌内科・代謝内科	18
<b>腎臓内科</b>	22
<b>リウマチ・膠原病センター</b>	
リウマチ科・膠原病内科	24
<b>血液内科</b>	26
<b>腫瘍内科</b>	29
<b>緩和支援治療科</b>	31
<b>呼吸器センター</b>	
呼吸器内科	33
呼吸器外科	37
<b>アスベスト疾患ブロックセンター</b>	40
<b>循環器センター</b>	
循環器内科・冠疾患集中治療部・ 不整脈科・不整脈治療科	42
心臓血管外科	47
<b>勤労者メンタルヘルスセンター</b>	
心療内科・精神科	51
<b>脳卒中センター</b>	
脳神経内科・神経筋疾患部	53
脳神経血管内治療科	56
脳神経外科	59
<b>脳定位放射線治療センター</b>	62
<b>消化器病センター</b>	
消化器内科・内視鏡部	65
外科・消化器外科	69
<b>運動器センター・運動器外傷センター</b>	
整形外科・手・末梢神経外科、 脊椎脊髄外科、 人工関節外科	72
<b>こどもセンター</b>	
小児科・小児外科・新生児内科	76
<b>周産期センター</b>	
新生児内科・産婦人科・分娩部	83
<b>包括的乳腺先進医療センター</b>	
乳腺外科	86
<b>形成外科・小児形成外科</b>	90
<b>皮膚科</b>	92
<b>泌尿器科</b>	94

<b>眼科</b>	98
<b>耳鼻咽喉科</b>	101
<b>リハビリテーション科</b>	104
<b>歯科口腔外科・歯科・顎口腔機能再建外科</b>	106
<b>放射線診断科・放射線 IVR 科</b>	110
<b>放射線治療科</b>	112
<b>救命救急センター</b>	
救急科、救急災害医療部	116
<b>総合診療部</b>	119
<b>総合手術センター</b>	
麻酔科・中央手術部	120
<b>中央集中治療部・集中治療科</b>	124
<b>病理診断科</b>	127
<b>(勤労者)健康管理センター</b>	
健康診断部	129
女性ヘルスケア部	132

### 部門紹介

<b>看護部</b>	134
<b>薬剤部</b>	139
<b>中央リハビリテーション部</b>	141
<b>中央放射線部</b>	144
<b>中央検査部</b>	146
<b>臨床工学部</b>	149
<b>栄養管理部</b>	151

### 共同利用のご案内

<b>登録医制度（共同利用制度）について</b>	154
横浜労災病院共同利用制度変更登録申請書	155
<b>登録医療機関の優先予約について</b>	156
診療予約申込書	157
<b>CT、MRI 等の放射線機器の利用</b>	158
単純 CT、MRI 等の放射線機器の利用フロー	159
CT（単純）検査申込書・紹介状	160
MRI（単純）検査申込書・紹介状	161
マンモグラフィー検査申込書・紹介状	162
<b>造影 CT、造影 MRI の放射線機器の利用フロー</b>	163
CT（造影）検査申込書・紹介状	164
MRI（造影）検査申込書・紹介状	165
<b>上部消化管内視鏡検査の利用</b>	166
上部消化管内視鏡検査の利用フロー	167
上部消化管内視鏡検査検査申込書・紹介状	168
<b>ホルター心電図検査の利用</b>	169
ホルター心電図の共同利用フロー	170
ホルター心電図検査検査申込書・紹介状	171

# 病院の基本理念



独立行政法人  
労働者健康安全機構

横浜市北東部中核施設 横浜労災病院

## 病院の理念

～みんなでやさしい明るい医療～

### 基本方針

勤労者医療の展開

高度医療の実践

救急医療の充実

地域医療の支援

安全な医療の定着

優れた医療者の育成

## 病院長挨拶

独立行政法人 労働者健康安全機構  
横浜市北東部中核施設 **横浜労災病院**

病院長 **三上 容司**



皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび 2021 年 4 月 1 日付けで横浜労災病院長に就任いたしました三上容司です。

日頃より当院との病病連携、病診連携にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

当院は、平成 3 年 6 月の開院以来、横浜市北東部中核施設として、「地域医療支援病院」はじめ、「地域がん診療連携拠点病院」、「横浜市乳がん連携病院」、「救命救急センター」など多くの認定・指定を受け、日々診療に取り組んでおります。

平成 30 年度から、地域の医療機関の皆さまに当院をよりご理解いただくため、本書「診療のご案内」を作成し、病院の各機能をご紹介させていただいております。内容といたしましては、各診療科医師の紹介、得意分野、診療科の特徴、診療実績など、当院がどのような診療を行っているのか、地域との連携にかかる取り組みなども記載し、地域の先生方によりイメージしていただけるよう、また、皆さまとの連携がより深まるよう編集しております。

昨年、脳腫瘍、脳血管奇形などの治療に有効な定位放射線治療装置（ガンマナイフ）を更新しました。適応範囲の広い放射線治療装置（ノバルス）とともに、それぞれの特性を生かした治療を実施しております。

また、入院される患者さんのための受付手続き、入院支援、各種相談の窓口を一体化した「患者サポートセンター」を開設して、利用される患者さんの利便性の向上を図りました。さらには、外来患者さんの診察における順番待ちをスマホで確認できるシステムを導入して、待ち時間を有効に活用する取組も実施しました。

一方、開院後 30 年が経過し、変遷サイクルの早い医療変化との齟齬、建物の老朽化、ゾーニングにマッチしていない施設・構造が顕在化してきました。そこで、今年から、全面増改築に向けて本格的な検討に入る予定です。今後、関係機関と連携を図りながら、「増改築整備構想」を策定して参ります。

地域の医療機関の皆さま、今後とも一層の連携を図ってまいりますので、専門性の高い医療、高度医療が必要な患者さんがおられましたらご紹介いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

### 当院の特徴

- 勤労者医療、がん対策、脳卒中急性期医療、心血管系疾患（心筋梗塞等）、糖尿病（生活習慣病対策、救急医療、小児医療、周産期医療、老年病対策を中心に整備しています。
- 地域中核施設として、24 時間、365 日いつでも安心してかかる救急診療体制の充実に努めています。
- 地域の開業医や病院、大学と密な連携を行い患者中心の医療の展開を行っています。
- 高水準な医療を提供できる環境を整備しています。
- 医師のみならず多くの職種にて人材育成と、最先端な高度医療をめざす研究機能の強化を行い、医療の現場に有能かつ心ある医療人を輩出しています。

# 横浜労災病院の概要

1 開設者 独立行政法人 労働者健康安全機構 理事長 有賀 徹

2 管理者 院長 三上容司

3 所在地 〒 222-0036 横浜市港北区小机町 3211  
電話番号：045-474-8111 (代)

## 4 施設概要

(1) 病床数 650 床

(うち 救命救急センター 21 床、ICU 10 床、NICU 9 床、GCU 12 床)

(2) 診療科等

### ① 標榜診療科

内科	循環器内科	産婦人科
血液内科	小児科	眼科
糖尿病内科	小児外科	耳鼻咽喉科
代謝内科	新生児内科	リハビリテーション科
内分泌内科	外科	放射線治療科
腎臓内科	乳腺外科	放射線診断科
腫瘍内科	整形外科	麻酔科
リウマチ科・膠原病内科	形成外科	臨床検査科
精神科	脳神経外科	病理診断科
心療内科	呼吸器外科	救急科
脳神経内科	心臓血管外科	歯科
呼吸器内科	皮膚科	歯科口腔外科
消化器内科	泌尿器科	(38 診療科)

### ② 専門センター

内分泌・糖尿病センター	消化器病センター
リウマチ・膠原病センター	運動器センター
がん治療センター	運動器外傷センター
呼吸器センター	周産期センター
アスベスト疾患ブロックセンター	包括的乳腺先進医療センター (ブレストセンター)
循環器センター	健康管理センター
勤労者メンタルヘルスセンター	先端応用治療センター
脳卒中センター	救命救急センター
こどもセンター	総合手術センター

### ③ 勤労者医療総合センター

地域医療連携室、治療就労両立支援部、運動器外傷機能再建研究センター、産業保健・産業医支援センター

### ④ 臨床研修

医師臨床研修センター

### ⑤ 常勤医師数

266 名 (うち 初期臨床研修医 33 名)

## 横浜労災病院の概要

### (3) 診療機能

① 手術室 12 室

② 高度医療機器

MRI (全身用磁気共鳴コンピューター断層撮影装置) 3 台

64 列マルチスライス CT 装置 3 台

体外照射装置 (リニアック) 1 台

ガンマナイフ装置

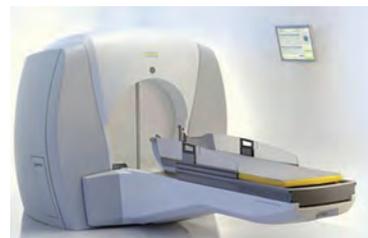
心臓血管撮影装置 (DSA・シネ撮影装置) 2 台

頭・腹部血管撮影装置

高気圧酸素治療機器 (高圧タンク)

内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」

高精度放射線治療装置「ノバリス」



ガンマナイフ



ノバリス

### (4) 診療実績 (令和 2 年度)

入院患者数	1日平均入院患者数	1日平均病床利用率	平均在院日数	外来患者数	1日平均外来患者数	紹介率	逆紹介率	手術件数
163,321 人	447.5 人	68.8%	10.4 日	388,183 人	1,597.5 人	83.6%	94.1%	7,521 件

(5) 敷地面積 68,724㎡ (構内宿舎・看護学校舎)

(6) 建物面積 97,993㎡ (構内宿舎・看護学校舎)

## 5 外来案内

診療時間：8 時 15 分～17 時 (受付時間 8 時 15 分～11 時)

休診日：日曜日及び土曜日、国民の祝日、12 月 29 日～1 月 3 日

## 6 施設認定

地域医療支援病院

救命救急センター

横浜市二次救急拠点病院 (A 病院)

地域がん診療連携拠点病院

地域周産期母子医療センター

神奈川県周産期救急医療システム中核病院

横浜市産科拠点病院

横浜市小児救急拠点病院

横浜市乳がん連携病院

横浜市心臓リハビリテーション

神奈川県災害拠点病院

神奈川 DMAT 指定病院

神奈川 DMAT-L 指定病院

横浜市緊急医療協力病院 (YMAT)

日本医療機能評価機構認定病院：一般病院 2

(3rdG:Ver.2.0)

臨床研修指定病院

卒後臨床研修評価機構認定病院

外国医師臨床修練指定病院

歯科医師臨床研修指定施設

協力型臨床研修病院

(横浜市立大学、東京大学、千葉大学)

臓器移植提供施設

救急告示病院

救急救命士教育施設医療機関

医療被ばく低減施設

臨床検査室の認定 (ISO 15189)

7 研修等施設承認

令和3年4月現在

指定(認定)学会等	指定(認定)内容	指定(認定)学会等	指定(認定)内容
日本内科学会	日本内科学会認定教育病院	日本脳神経外科学会	日本脳神経外科学会 専門医認定制度指定訓練場所
日本糖尿病学会	日本糖尿病学会認定教育施設	日本脳ドック学会	日本脳ドック学会認定施設
日本病態栄養学会	日本病態栄養学会 認定栄養管理・NST実施施設	三学会構成心臓血管 外科専門医認定機構	心臓血管外科専門医認定機構 認定修練施設
日本肥満学会	日本肥満学会認定肥満症専門病院	日本心血管インターベン ション治療学会	日本心血管インターベンション治療 学会研修施設/研修関連施設
日本高血圧学会	日本高血圧学会専門医認定施設	日本皮膚科学会	日本皮膚科学会認定専門医研修施設証
日本内分泌学会	内分泌代謝科認定教育施設	日本泌尿器科学会	泌尿器科専門医 教育施設基幹教育施設
日本血液学会	日本血液学会認定血液研修施設	日本産婦人科学会	日本産婦人科学会 専門医制度卒業後研修指導施設 周産期母体・胎児研修施設 (基幹研修施設)
日本がん治療認定医 機構	日本がん治療認定医機構 認定研修施設	日本婦人科腫瘍学会	日本婦人科腫瘍学会 専門医制度規則指定修練施設
日本腎臓学会	日本腎臓学会研修施設	日本眼科学会	日本眼科学会 専門医制度研修施設
日本リウマチ学会	日本リウマチ学会教育施設	日本耳鼻咽喉科学会	日本耳鼻咽喉科学会 専門医研修施設
日本臨床腫瘍学会	日本臨床腫瘍学会認定研修施設	日本気管食道科学会	日本気管食道学会 認定気管食道科 専門医研修施設(咽喉系)
日本腫瘍薬学会	がん診療病院連携研修病院	日本頭頸部外科学会	日本頭頸部外科学会 頭頸部がん専門医指定研修施設
日本緩和医療学会	日本緩和医療学会認定研修施設	日本放射線腫瘍学会	日本放射線腫瘍学会認定施設 (認定協力施設)
日本呼吸器学会	日本呼吸器学会認定施設	日本医学放射線学会	放射線科専門医修練機関 (放射線診断学、核医学、放射線治療学)
日本アレルギー学会	日本アレルギー学会アレルギー専門 医認定教育施設(呼吸器内科)	関連11学会構成 ステントグラフト 実施基準管理委員会	腹部大動脈瘤 ステントグラフト実施施設
日本呼吸器 内視鏡学会	日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医制度認定施設	関連11学会構成 ステントグラフト 実施基準管理委員会	胸部大動脈瘤 ステントグラフト実施施設
日本呼吸療法医学会	日本呼吸療法医学会呼吸療法専門医 研修施設	日本インターベンショ ナルラジオロジー学会	日本IVR学会専門医修練認定施設
呼吸器外科専門医 合同委員会	呼吸器外科専門医制度認定施設 (基幹施設)	日本麻酔学会	麻酔科認定病院
日本循環器学会	日本循環器学会認定循環器 専門医研修施設	日本集中治療医学会	日本集中治療医学会 専門医研修施設証
日本不整脈心電学会	日本不整脈心電学会認定 不整脈専門医研修施設	日本病理学会	日本病理学会研修認定施設-B
日本成人先天性疾患 学会	日本成人先天性疾患学会専門医 連携修練施設	日本臨床細胞学会	日本臨床細胞学会施設認定
日本心身医学会	日本心身医学会研修診療施設	日本人間ドック学会	全日本病院協会 人間ドック実施指定施設
日本心療内科学会	日本心療内科学会専門医 研修施設(基幹研修施設)	日本救急医学会	救急科専門医指定施設 日本救急医学会指導医指定施設
日本神経学会	日本神経学会認定教育施設	日本口腔外科学会	日本口腔外科学会 認定研修施設
日本脳卒中学会	日本脳卒中学会 認定研修教育病院	日本輸血・細胞治療 学会	日本輸血・細胞治療学会輸血機能評 価認定制度(I&A制度)認定
日本臨床神経生理学会	日本臨床神経生理学会認定施設	日本栄養療法 推進委員会	JCNT NST 稼働施設
日本小児科学会	小児科専門医研修支援施設	日本乳がん検診制度 管理中央機構	マンモグラフィ検診施設認定
日本感染症学会	日本感染症学会研修施設	日本リハビリテーション 医学会	日本リハビリテーション医学会 研修施設
日本周産期・新生児 医学会	周産期(新生児)専門医 暫定研修施設	日本透析医学会	日本透析医学会認定施設
日本消化器病学会	日本消化器病学会認定施設		
日本肝臓学会	日本肝臓学会認定施設		
日本消化器 内視鏡学会	日本消化器内視鏡学会 認定指導施設		
日本外科学会	日本外科学会外科 専門医制度修練施設		
日本消化器外科学会	日本消化器外科学会専門医修練施設		
日本胆道学会	日本胆道学会認定指導医制度 指導施設認定		
日本腹部救急医学会	腹部救急認定医・ 教育医制度認定施設		
日本乳癌学会	日本乳癌学会研修施設		
日本整形外科学会	日本整形外科学会 認定医制度研修施設		
日本手外科学会	日本手外科学会認定研修施設		
日本形成外科学会	日本形成外科学会認定医研修施設		

横浜労災病院の概要

8 施設・建物の状況

10F	・管理部門				
9F	・メンタルヘルスセンター ・外来診療部門				
8F	・腎臓内科 (14) ・形成外科 (7) ・婦人科 (11) ・整形外科 (5) ・医療相談 (1) ・腫瘍内科 (8) ・泌尿器科 (40) ・歯科口腔外科 (2) ・乳腺外科 (7)				
7F	・内分泌・代謝内科 (14) ・リウマチ科・膠原病内科 (6) ・血液内科 (14) ・呼吸器外科 (9) ・呼吸器内科 (30) ・循環器内科 (10) ・眼科 (12)				
6F	・整形外科 (94) ・心療内科 (2)				
5F	・脳神経内科 (33) ・脳神経外科 (42) ・耳鼻咽喉科 (14) ・歯科口腔外科 (7)				・管理部門
4F	・救命救急 (17) ・循環器内科 (37) ・救急 ICU (4) ・心臓血管外科 (10)	・中央手術部	・ICU (10)		・管理部門
3F	・外科 (40) ・消化器内科 (48) ・皮膚科 (7)	・中央検査部	・外来診療部門		・管理部門
2F	・小児科 (25) ・耳鼻咽喉科 (2) ・産婦人科 (30) ・整形外科 (4) ・小児外科 (3) ・脳神経外科 (2)	・中央放射線部	・外来診療部門		・健康管理センター
1F	・GCU → 新生児内科 (12) ・NICU → 新生児内科 (9) ・外来診療部門 ・リハビリ訓練室 ・ER → 救急科 (8)	・生理検査室 ・採血室 ・人工透析室	・外来診療部門 ・患者サポートセンター ・医事課		・患者サポートセンター (分室)
B1F	・栄養管理室 ・解剖室 ・SPD ・診療情報管理室	・放射線治療部	・薬剤部		・大会議室
	病棟	中央診療棟	外来棟		管理棟

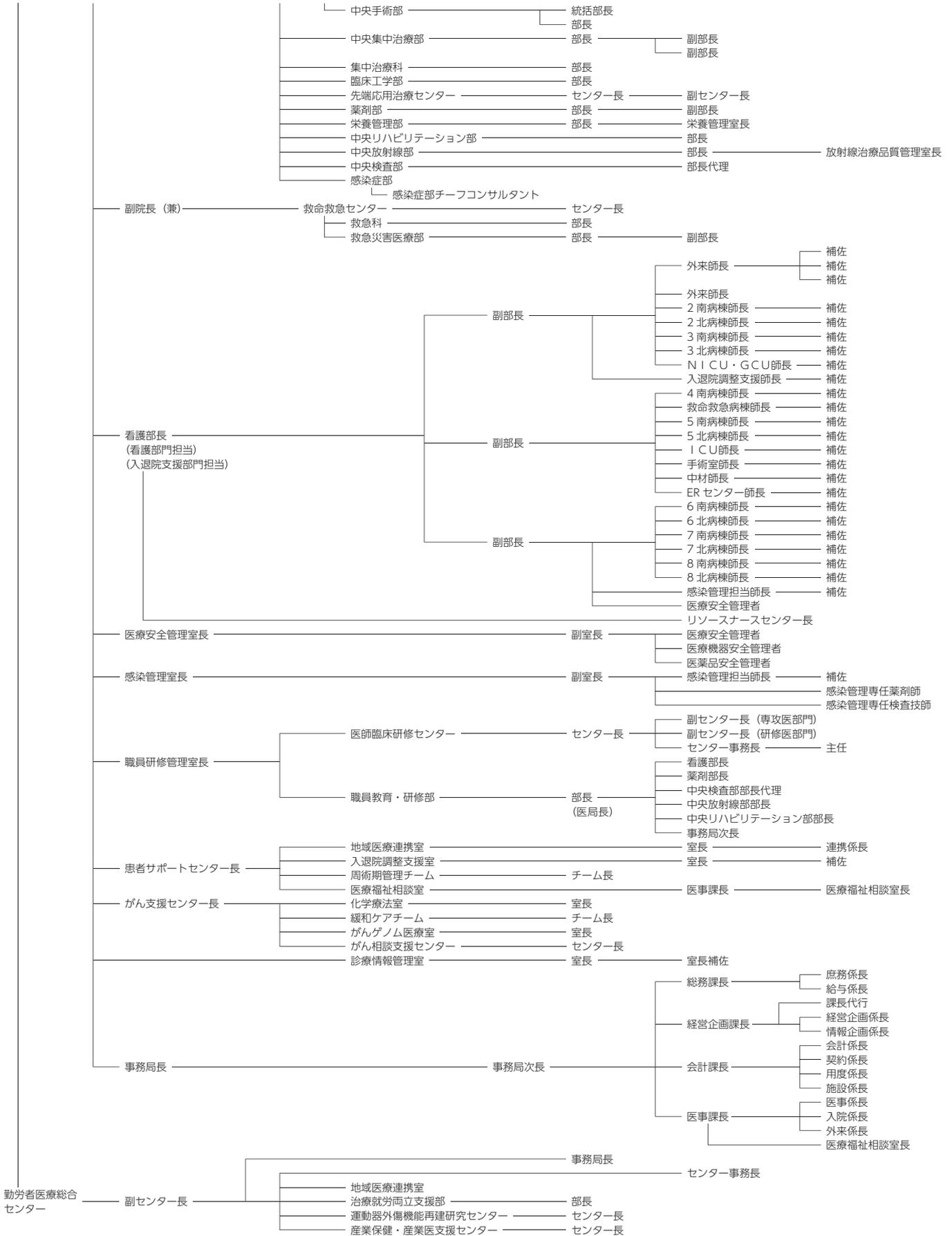
( ) 内は病床数

# 横浜労災病院の概要





横浜労災病院の概要



# 患者サポートセンターについて

患者サポートセンターは、入院前から退院後まで、患者さんに切れ目のない支援を行うため、**地域医療連携室、入退院調整支援室、医療福祉相談室**、そして**周術期管理チーム**を一体化した組織です。

医師・看護師・医療ソーシャルワーカー(MSW)・事務職員など様々な職種が一体となり、地域の医療・福祉・介護サービスなど様々な社会資源と連携しながら、お一人おひとりの患者さん・ご家族を支援してまいります。

2020年12月に、これまで院内に点在していた患者相談窓口を集約し、新たな「患者サポートセンター」を開設しました。複数の窓口を一本化することで、患者さんやご家族により分かりやすく、適切な支援ができるよう努めてまいります。



患者サポートセンター長  
副院長 **永瀬 肇**



## 1 地域医療連携室

紹介患者の受け入れや医療機器の共同利用、外来患者の逆紹介先のご案内など、地域医療機関との連携の窓口となっています。

また、ご紹介いただいた患者さんに係るお返事（診療情報提供書や経過報告書）を紹介元医療機関へ迅速にお返しするとともに、院外広報誌「労災だより」を定期的に発行し、新しい治療法や医療機器などの紹介を行っています。

## 2 入退院調整支援室

患者さん・ご家族が、住み慣れた地域で安心して療養生活を送れるよう、多職種によるチームアプローチを行いながら、入院前から退院まで「切れ目のない看護」を提供します。

### ①入院支援

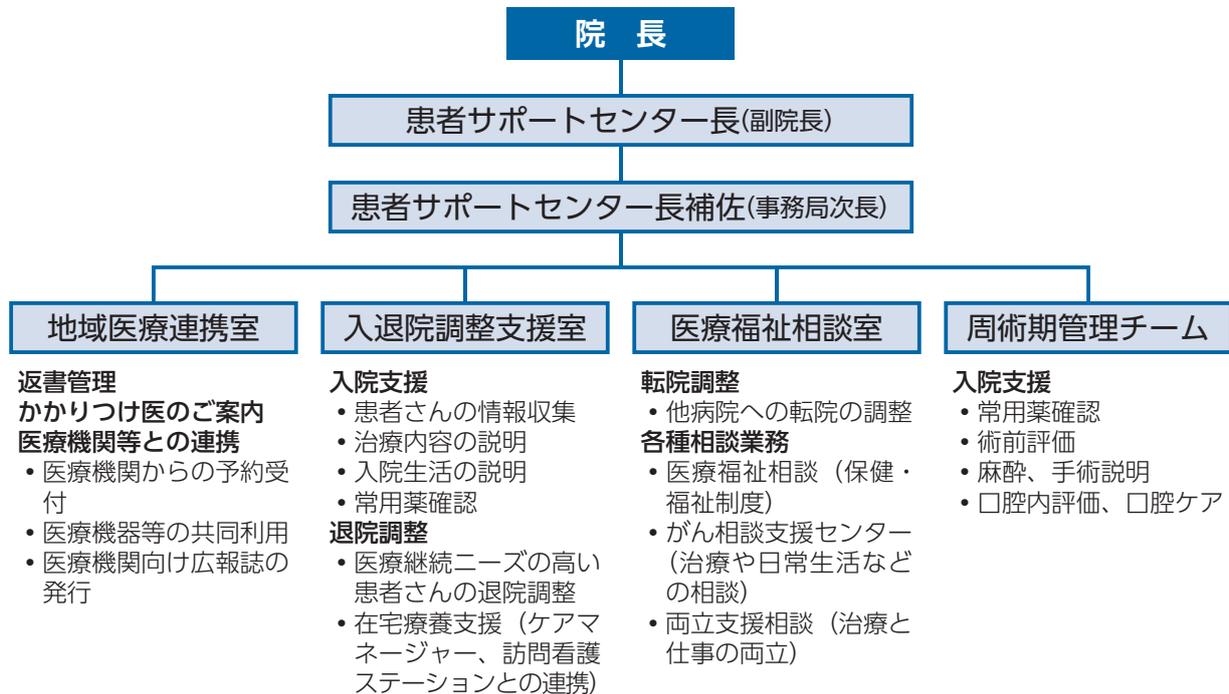
患者さんに安心して入院していただくため、身体的・精神的・社会的側面から状態を把握し、入院前から退院後の生活を見据えた支援を行います。支援が必要となる方には、病棟看護師・退院調整看護師・MSW・薬剤師などの多職種で情報を共有し、チームで連携して看護介入を行います。

### ②退院調整

各病棟に退院調整専任の看護師を配置しています。患者さん・ご家族が、退院後の生活に向けて主体的に意思決定し、治療の場から生活の場へ移行できるよう、病棟看護師や多職種と協力して支援・調整を行います。患者さんやご家族の意向や状況に従って、退院後の療養生活を支える地域の関係医療機関（訪問医・訪問看護師等）と連絡・調整を行い、自分らしい生活を送れるよう取り組んでいます。

## 患者サポートセンターについて

### 患者サポートセンター組織図



### 3 医療福祉相談室

医療ソーシャルワーカー（MSW）が、病気やけがに伴って発生する様々な問題（経済的問題、心理的・社会的問題、家族関係や社会復帰など）に相談援助を行っています。

#### ①医療福祉相談

当院での急性期治療が終わった患者さんの転院に係る退院支援や、外来受診に係る受診相談や受療相談も行っています。なお、退院援助については、退院調整看護師と協働して取り組んでいます。

#### ②がん相談支援室（がん相談支援センター）

当院はがん診療連携拠点病院に指定されており、「がん相談支援センター」として医療ソーシャルワーカーとがん看護専門看護師が協力し、患者さんやご家族からの相談に対応しています。当院に受診されていない患者さんやそのご家族からの相談にも対応しています。

#### ③治療と仕事の両立支援相談

患者さんが治療を行っていくうえで仕事を辞めることなく、治療と仕事を両立しながら円滑に職場復帰を図るための支援（サポート）を行う「両立支援相談窓口」を設けています。当窓口では、「両立支援促進員（コーディネーター）」が患者さんからの相談に対応するほか、患者さんが所属する会社（事業場）の産業医や産業保健担当者に対する個別調整支援なども行っています。

### 4 周術期管理チーム（Y-ROPET）

麻酔科管理下の手術を受けられる患者さんの周術期（術前・術中・術後）に積極的に介入し、安全で質の高い医療を提供することで、合併症を抑え、早期回復・早期退院を目標にしています。

入院調整支援室、薬剤部、麻酔科、手術室看護師、歯科口腔外科、血液内科がチームで活動し、入院前オリエンテーション、常用薬確認、術前評価、麻酔・手術説明、フレイル対策など多職種で協力し、患者さんをサポートしています。歯科口腔外科では、患者さんの口腔内評価や口腔ケアを行い、必要に応じてプロテクター（マウスピース）の作成も行っています。

現在は、呼吸器外科・整形外科（股関節手術）・泌尿器科・婦人科・心臓血管外科の患者さんを対象としていますが、今後は他の診療科でも活動できるよう検討していきます。

# 紹介患者さんの外来受診のご案内

## 1 当院を初めて受診される方 → 1階総合受付をご案内ください。

- (1) 番号発券機の番号札をお取りください。
- (2) 診療申込書に必要事項を記入してください。
- (3) 番号が表示されたら総合受付窓口1番で初診の申し込みをしてください。(診療申込書、健康保険証、各種医療証、紹介状等を提示)
- (4) カルテを作成した後、診療科受付へご案内いたします。

受付時間 8:15～11:00 (予約の方は、予約時間に合わせて受付いたします。)

診察券をお作りしますので、予約時間の15分前までにご来院ください。

## 2 診察券をお持ちの方 → 各科外来をご案内ください

受付時間 8:15～11:00 (予約の方は、予約時間に合わせて受付いたします。)

- (1) 来院されたら自動再来受付機にて、来院手続きを済ませてください。
- (2) 各診療科の受付にて診察券、予約票、健康保険証、各種医療証、紹介状等を提示してください。

## 3 予約制・紹介制について

当院では、近隣医療機関との連携を図るため、紹介制を推進しております。できるかぎり紹介状をご持参のうえご来院ください。

当院にご紹介いただく際には、医療機関あるいは患者さんから事前に予約を入れていただきますようお願いいたします。予約なしでも診療を行う診療科を含め、予約なしでご来院されますと診療までの待ち時間が長くなるだけでなく、診療状況によっては診療受付ができないことがありますので予めご了承ください。

### 予約センター専用電話番号

電話：045-474-8882 (平日8:15～17:00)

予約は原則として診療日の2日前までにお取りください。

患者さんには、紹介状をお手元にご用意のうえお電話するようお願いください。

予約センターでは当日の予約をお取りできませんのでご了承ください。

予約枠を設けており、予約枠を超える場合には、ご希望の日時をお取りできませんので予めご了承ください。

### 初診診療状況一覧表

完全紹介 予約制	内分泌・糖尿病センター、腫瘍内科、血液内科、リウマチ科・膠原病内科、心療内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科	紹介状と事前 予約が必要	直接、予約なしにご来院されても当日の受診はお受けできません。
完全予約制	呼吸器外科	事前予約が必要	
紹介制	腎臓内科、循環器内科、脳神経外科、産婦人科	紹介状が必要	事前に予約をお取り頂くことをお奨めします。
その他	小児科、外科、心臓血管外科、形成外科		事前に予約をお取り頂くことをお奨めします。

## 紹介患者さんの外来受診のご案内

### 4 外来のご案内

1階 (A1)	血液内科 / 腫瘍内科 / 腎臓内科 / リウマチ・膠原病内科 / 総合診療外来
1階 (A2)	内分泌・代謝内科 / 呼吸器内科 / 呼吸器外科
1階 (A7)	整形外科 / 形成外科 / リハビリテーション科 / 消化器病センター (消化器内科・外科) / 乳腺外科
1階	救命救急センター
2階 (A3)	小児科 / 耳鼻咽喉科 / 眼科
2階 (A4)	歯科・口腔外科 / 泌尿器科
2階 (A5)	皮膚科 / 産婦人科
3階 (A6)	脳神経内科 / 脳神経外科 / 心臓血管外科 / 循環器内科 / 不整脈科
病棟9階	心療内科

#### 休診日

土曜日・日曜日・祝祭日  
 年未年始 (12月29日～1月3日)

### 5 初診時の選定療養費について

当院では、国の推進する病院と診療所の機能分担を図る観点から、他の保険医療機関等（かかりつけ医）の紹介状をお持ちでない初診の方は初診料のほかに別途 5,500 円〔税込〕（初診時選定療養費）を徴収しております。

過去に当院へ通院されていた方でも、過去に通院していた傷病が治癒（又は軽快）している場合や、患者さんが任意に通院を中止し1月以上経過した場合で、再度当院を受診する場合は初診扱いとなります。

# 外来診療担当医表

初診と予約外の方の受付時間 8:15～11:00

登録医の先生が直接予約する場合：地域医療連携室【直通】 045-474-8362 (受付時間) 8:15～19:00

患者さんが予約する場合：【予約センター】 045-474-8882 (受付時間) 8:15～17:00

登録医の先生が医療機器の共同利用をする場合：地域医療連携室【直通】 045-474-8362 (受付時間) 8:15～19:00

診療科		月		火		水		木		金	
総合診療外来		※受付時間 8:15～10:30		休止中		休止中		休止中		休止中	
内分泌・ 糖尿病センター	紹介 予約		新患	副腎(第2・4週) 甲状腺 院外糖尿病	副腎 甲状腺 院外糖尿病	甲状腺 下垂体カルシウム性腺 院外糖尿病	副腎 甲状腺 下垂体カルシウム性腺 院外糖尿病	副腎 甲状腺 下垂体カルシウム性腺 院外糖尿病	副腎 甲状腺 下垂体カルシウム性腺 院外糖尿病	副腎 甲状腺 下垂体カルシウム性腺 院外糖尿病 脂質肥満	
			再来	内分泌/糖尿病 (★齋藤、★鶴谷、 中井、土屋) 甲状腺(廣瀬) (第1・2・3・4週)	内分泌/糖尿病 (★齋藤、洲之内、 廣瀬、渡邊、 尾崎、土屋)	内分泌/糖尿病 (西川、★鶴谷 (第1・2・3・5週)) 副腎疾患担当医 内分泌代謝疾患担当医 下垂体副甲状腺疾患 (★齋藤) 糖尿病(松澤) (第1・2・4週)	内分泌/糖尿病 (菊池、★鶴谷、中井、 尾崎(第1・3週)、 土屋(第2・4・5週)) 甲状腺(★齋藤)	内分泌/糖尿病 (洲之内、廣瀬、山根) 副腎疾患担当医 下垂体疾患(★齋藤) 脂質肥満(★鶴谷)			
腫瘍内科	紹介 予約	午前 午後	★有岡	湯川	★有岡(再診のみ)	★有岡(再診のみ)	★有岡(再診のみ)	★有岡(再診のみ)	柳原		
緩和支援診療科	紹介 予約	午後			廣川				廣川		
腎臓内科	紹介	午前 午後	★波多野 ☆森戸	許田	(隔週) ★波多野 許田 伊藤	★波多野	☆森戸				
リウマチ科・ 膠原病内科	紹介 予約	午前	★藤原	★北 ★藤原	★北	★北 高橋	★藤原				
血液内科	紹介 予約	午前	新患 再来 ○平澤 ★佐藤	○平澤 ★佐藤	★佐藤 ★佐藤	☆大八木 ○平澤 ☆大八木	新井 ☆大八木 新井				
心療内科	紹介 予約	午前	新患 ★柴山 野原	★古川 野原	津久井	★古川	宮部				
		午後	再来 ★山本 野原 宮部	★山本 ★柴山	★山本 ★柴山 野原	★山本 ★古川	★山本 ★柴山 野原 宮部				
脳神経内科	紹介 予約	午前	新患 北村		★中山	★中山	★今福				
		午後	再来 ★中山 ★中山	★中森 ★中森	★今福 北村	★中山	★中山 ★中山				
呼吸器内科	紹介 予約	午前	新患 ★伊藤 ★小澤 ☆石井 長田	★伊藤 廣瀬	長田 高橋	★伊藤 ☆石井	★伊藤 廣瀬				
		午後	★伊藤 ★小澤 ☆石井 長田	★伊藤 廣瀬 (アスベスト)★小澤	長田 鈴川 高橋 (セカンドオピニオン 外来)伊藤 (アスベスト)★小澤	★伊藤 ☆石井 (アスベスト)★小澤	★伊藤 ★小澤 廣瀬				
呼吸器外科	予約	午前 午後	川原	★山本 ☆亀田		★山本 川原	前原 ☆亀田				
消化器内科	紹介 予約	午前	新患 稲垣 春日 小田	★関野 小宮 佐伯	☆内山 高柳 今井	○永瀬 城野	☆金沢 二瓶 林				
		午後	再来 ☆内山 ★関野 今井 城野	○永瀬 ☆金沢 高柳 小田	稲垣 佐伯 林 地口	春日 二瓶	☆谷 ☆谷 小宮				
循環器内科	紹介	午前	新患 ★柚本 (不整脈外来)★長田	★青木	★小和瀬	(第1・3・5週)福澤 (第2・4週)☆田中	★長田				
		午後	再来 ★小和瀬 ★長田 浅野	★柚本 本道	★小和瀬 ★長田 ☆田中	★柚本 ★青木 ☆田中 福澤	★小和瀬 浅野 (第2週)ICD外来 (第1・3・4週) ペースメーカークリニック				
小児科		午前	★菊池 ☆小笹 交代制	☆咲間 交代制 (神経) (第1・3週) 南澤 (神経) (第2・4週) 大山 (小児外科)★菅沼	☆小笹 交代制 (心理発達) (第1・3 週)三宅 (小児外科)★菅沼	★菊池 ☆咲間 交代制 (アレルギー)☆小笹 (小児外科)★菅沼	★菊池 交代制 (神経 第4週)石塚 (循環器外来)☆咲間				
		午後	(1か月健診)交代制 (アレルギー)☆小笹 (育児相談)交代制	(内分泌)★菊池 (NICUフォロー) ☆西 (育児相談 第1・2・ 3・4週)交代制	(予防接種)内田 交代制 (内分泌 第2・4週) ★菊池 (腎臓 第1・3週)内村 (1か月健診)交代制 (发育発達 第2・4・ 5週)★堀口 ☆西	(NICUフォロー) 城 飛弾 (第2週) 交代制 (予防接種14:00～) 交代制 (アレルギー)☆小笹	(予防接種)内田 交代制 (循環器外来)☆咲間 (NICUフォロー) ★堀口				



診療科			月	火	水	木	金
外科		午前	★岡崎 花岡	尾崎 成本 龍崎	★岡崎 比毛	★篠藤 澤田	★篠藤 花岡
乳腺外科 (◇印:女性医師)	紹介 予約	新患	★千島	◇柴田	◇井上		
		再来	◇柴田 ◇井上	★千島 ◇原田 ◇井上	◇原田	竹内 山本	
		午後 再来		★千島 ◇原田 ◇柴田	★千島 ◇原田 ◇柴田 ◇井上	竹内 山本	
整形外科	紹介 予約	8:30~12:30	★小林 ☆小泉	○三好	◎三上 ★山本 ☆小泉	★山本 ☆竹下	○三好 ☆竹下
		9:00~13:00	川畑 桐山 佐藤	川畑 ☆齊木 佐々木 井田 砂山	桐山 佐藤 山口	☆齊木 砂山 木原 小松	佐々木 木原 小松 上田
		専門外来 14:00~	リウマチ・ 人工関節外科	脊椎脊髄外科 足の外科(第4週)	リウマチ・ 人工関節外科 手・末梢神経外科	(午前)脊椎脊髄外科 手・末梢神経外科	脊椎脊髄外科
		装具	京王義肢	田沢製作所(午前)	京王義肢	鉄道弘済会(午前)	田沢製作所
形成外科	紹介 予約	午前 新患 再来			北山(非常勤医師) 北山(非常勤医師)	梅田	田村
		午後 新患 再来	★山本 田村 梅田 澤井			★山本 田村 (静脈瘤レーザー) ★安藤(心外科)	★山本 梅田 澤井 ★山本(静脈瘤)
脳神経外科	紹介	午前 午後	☆松永 松本 (ガンマナイフ) ☆松永		○周藤 藤井 (ガンマナイフ) ○周藤		福山 (ガンマナイフ) ○周藤
脳神経血管内 治療科		午前					☆戸村
心臓血管外科	紹介 予約	午前 10:30~		★竹田 ★安藤 岡田 井元		★竹田 岡田 井元	
		午後 13:30~		★竹田 ★安藤 井元		★竹田 岡田 井元	
皮膚科	紹介 予約	午前 新患 再来	青木 ★佐藤 皆川	★佐藤 皆川 玉森		玉森 ★佐藤 青木	皆川 ★佐藤 青木
		午後 新患 再来	当番制	当番制 千葉 田中 千葉 田中	当番制 ★永田 丸尾 ★永田 丸尾	当番制 宮崎 五島 宮崎 五島	当番制 ☆井上 菅原 ☆井上 菅原
産婦人科 婦人科 産科	紹介	午前 新患 再来	道佛 ★笠井 ☆大井	瀬川 ★茶木 宇都宮	★笠井 道佛 佐藤	★大井 ★松永 瀬川	★松永 真鍋 相原
		14週以降	産科担当医	産科担当医	産科担当医	産科担当医	産科担当医
眼科	紹介 予約	午前 新患 再来	☆佐藤 中西 ☆佐藤 中西 武林	迫野 新患担当医 迫野 住友	☆佐藤 迫野 新患担当医 迫野	迫野 迫野 住友 武林	☆佐藤 中西 新患担当医 ☆佐藤 中西
		午後	硝子体注射		住友(再来) 硝子体注射	中西(新患・再来)	武林(再来)
耳鼻咽喉科	紹介 予約	午前	☆田辺 金子 応援医師	★塩野 佐久間	★塩野 ☆田辺 二宮 金子	二宮 応援医師(2名)	★塩野 佐久間 応援医師
		午後	交代制	(補聴器)★塩野	(腫瘍、アレルギー第 1・3・5週)★塩野	交代制	(補聴器 第1・3週) ★塩野
リハビリ テーション科	紹介 予約	午前	☆吉川 松本 (川畑)	☆吉川 松本 (佐々木)	☆吉川 松本 (桐山)	☆吉川 松本 (砂山)	☆吉川 松本 (山本)
		午後	☆吉川 松本 (川畑)	松本 (佐々木)	☆吉川 松本 (桐山)	☆吉川 松本 (砂山)	☆吉川 (山本)
放射線科 (◇印:女性医師)	紹介 予約	午前	☆◇松井	☆◇松井	☆◇松井	杉山	☆◇松井
		午後	繁永	☆◇松井	☆◇松井	☆◇松井	☆◇松井
歯科・口腔外科	紹介 予約	午前	手術日 新患のみ交 替制 【衛生士外 来】 第4週イン プラント (第1週PM) 補綴物イン プラント外 来 (第4週) インプラ ント外来	手術日	★亀井 ☆高橋 鈴木 田島 渡辺 大村 (第2・3週 顎変形症外来)	手術日 小早川 新患のみ交 替制 【衛生士外 来】	★亀井 ☆高橋 鈴木 田島 渡辺 大村 (第2週)インプラント (第4週)顎変形症外来
		午後		(外来手術)	(外来手術 第1・2・4・5週)	宇澤	(外来手術) (インプラント外来) 林 (第2週)インプラント

令和3年6月1日現在

(注) ◎印:院長 ○印:副院長 ★印:部長 ☆印:副部長 [ ]:臨時

※手術・緊急呼び出し等により予告なく担当医に変更のある場合があります。ご了承ください。

※「紹介予約」は事前予約と紹介状の両方が必要、「予約」は事前予約が必要(紹介状持参を推奨)、「紹介」は紹介状が必要(事前予約を推奨)です。



# 診療科紹介

## 内分泌・糖尿病センター

糖尿病内科・内分泌内科・代謝内科

## 腎臓内科

## リウマチ・膠原病センター

リウマチ科・膠原病内科

## 血液内科

## 腫瘍内科

## 緩和支援治療科

## 呼吸器センター

呼吸器内科 / 呼吸器外科

## アスベスト疾患ブロックセンター

## 循環器センター

循環器内科・冠疾患集中治療部・不整脈科・  
不整脈治療科 / 心臓血管外科

## 勤労者メンタルヘルスセンター

心療内科・精神科

## 脳卒中センター

脳神経内科・神経内科・神経筋疾患部  
/ 脳神経血管内治療科 / 脳神経外科

## 脳定位放射線治療センター

## 消化器病センター

消化器内科・内視鏡部 / 外科・消化器外科

## 運動器センター・運動器外傷センター

整形外科・手・末梢神経外科、脊椎脊髄外科、  
人工関節外科

## こどもセンター

小児科・小児外科・新生児内科

## 周産期センター

新生児内科・分娩部・産婦人科

## 包括的乳腺先進医療センター

乳腺外科

## 形成外科

小児形成外科

## 皮膚科

## 泌尿器科

## 眼科

## 耳鼻咽喉科

## リハビリテーション科

## 歯科口腔外科・歯科・顎口腔機能再建科

## 放射線診断科・放射線 IVR 科

## 放射線治療科

## 救命救急センター

救急科、救急災害医療部

## 総合診療部

## 総合手術センター

麻酔科・中央手術部

## 中央集中治療部・集中治療科

## 病理診断科

## (勤労者) 健康管理センター

健康診断部 / 女性ヘルスケア部



医師紹介



内分泌・糖尿病センター長  
内分泌内科部長、代謝内科部長

**齋藤 淳** (さいとう じゅん)  
昭和 62 年 愛媛大学 卒業  
【専門分野】 内分泌  
【学会専門医・認定医】  
日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本内分泌学会指導医



糖尿病内科部長

**鶴谷 悠也** (つるたに ゆうや)  
平成 15 年 千葉大学 卒業  
【専門分野】 糖尿病、脂質異常症  
【学会専門医・認定医】  
日本内科学会認定内科医・専門医・指導医、日本糖尿病学会糖尿病専門医・指導医、日本内分泌学会専門医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
名誉院長 西川 哲男 (にしがわ てつお)	昭和 47 年	千葉大学	一般内科 内分泌代謝	日本内科学会認定医・指導医 日本内分泌学会指導医 日本糖尿病学会専門医・研修指導医 日本高血圧学会指導医	
医師	中井 一貴 (なかい かずき)	平成 24 年	東北大学	内分泌 糖尿病	日本内科学会認定医 内分泌代謝内科専門医
	洲之内 堯 (すのうち たかし)	平成 27 年	愛媛大学	内分泌 糖尿病	
	廣瀬 玲 (ひろせ れい)	平成 27 年	東京大学	内分泌 糖尿病	日本内科学会認定医
	土屋 美帆 (つちや みほ)	平成 30 年	香川大学	内分泌 糖尿病	
	尾崎 光一 (おざき こういち)	平成 30 年	聖マリアンナ 医科大学	内分泌 糖尿病	
	渡邊 一樹 (わたなべ かずき)	平成 31 年	群馬大学		
	入江 航生 (いりえ こうき)	平成 31 年	東京大学		
	新保 香織 (しんぼ かおり)	平成 31 年	福島県立医科大学		
	平高 明音 (ひらたか あかね)	平成 31 年	千葉大学		
浅見 文邦 (あさみ よしくに)	平成 31 年	日本大学			

## 診療科紹介

開院以来、内分泌疾患と代謝疾患を同時に診療可能な専門医療施設として、脳下垂体、甲状腺、副甲状腺、膵臓、副腎の異常が原因のホルモンの病気や、糖尿病、コレステロールや中性脂肪が増加する病気である脂質異常症などの病気の診断治療にあたっています。とくに、ホルモンの病気と糖尿病に関しては、大学病院を上回る患者さんが受診されていて、外来、入院で医学情報に基づいた診断、治療を行っております。

糖尿病の診療では、各種負荷試験によるインスリン抵抗性と内因性インスリン分泌機能を評価するとともに、コーチングの手法を取り入れて患者さんのご希望や生活状況を加味した患者さん中心のオーダーメイド治療を、糖尿病療養指導チームの医師、看護師、栄養士、検査技師、薬剤師、心理療法士、歯科衛生士が協力して提供しています。さらに Freestyle リブレ等の持続血糖測定器を活用して、患者さんの病態に合わせた治療方針の決定を行っています。1型糖尿病の患者さんに対しては、持続皮下インスリン注入療法（CSII）やセンサー付きポンプ療法（SAP）の導入を行い、高度肥満症の患者さんに対しては肥満症外来を開設しています。また、患者さんの利便性と治療の効率化を目的に、内分泌糖尿病センター外来中待ち廊下の両側に診察室、栄養相談室、看護師指導室、外来予約室、処置室、負荷試験検査室、情報提供コーナーを配置して、患者さんからのご相談に糖尿病療養指導チーム全員で対応できるよう工夫しています。

内分泌疾患診療では、副腎疾患診療が当センターのメインテーマとなっており、原発性アルドステロン症・クッシング症候群・褐色細胞腫の症例数が多く、その診療実績は全国で第一位となっています。1994年には現在の原発性アルドステロン症ガイドラインで推奨されている副腎静脈採血（AVS）診断を軸とする診断治療アルゴリズムを完成させ、2006年から従来のAVSより精度の高い診断を可能とする超選択的副腎静脈採血（SS-AVS）を開発し2008年から世界に先駆けて日常診療に取り入れていました。そして2010年からSS-AVS診断に基づく低侵襲外科治療である片側副腎部分切除を当院泌尿器科とともに開始し、良好な治療成績を得ています。

脂質異常症診療では、PCSK9阻害剤やMTP阻害剤などの薬物療法に加えて、家族性高コレステロール血症に対するコレステロール吸着療法（神奈川県下でも2～3箇所のみ）による治療を行って狭心症や心筋梗塞などの合併症治療にも対応しています。

### 当センターで扱う主な臓器と疾患

- 脳下垂体：先端巨大症、クッシング病、プロラクチノーマ、尿崩症、下垂体機能低下症、下垂体炎
- 甲状腺：バセドウ病、橋本病、粘液水腫、甲状腺腫瘍、甲状腺がん
- 副甲状腺：副甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症、ビタミンD抵抗性くる病、二次性骨粗鬆症
- 膵臓：インスリン産生腫瘍、ガストリン産生腫瘍
- 副腎：クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、副腎腫瘍、アジソン病、先天性副腎過形成（酵素欠損症）

- 糖尿病：1型糖尿病、2型糖尿病、妊娠糖尿病、その他の糖尿病
- 脂質異常症：家族性高脂血症
- 肥満症：他の病気を合併している重症肥満症
- 高血圧症：特にホルモン異常による2次性高血圧症

## 施設認定

- なし

## 主な実績

### 内分泌・糖尿病センター 2020 年度診療実績

疾患領域	外来患者数	入院患者数
糖尿病	1740	243
1 型糖尿病	138	14
2 型糖尿病	1519	221
副腎疾患	818	260
原発性アルドステロン症	599	232
甲状腺疾患	1128	3
バセドウ病	488	3
橋本病	199	0
副甲状腺関連疾患	145	0
性腺関連疾患	6	1
多発性内分泌腫瘍など	13	3
下垂体疾患	203	35

### 特殊検査・手術

副腎静脈採血 / SACI	126
副腎疾患手術依頼	58

内分泌・糖尿病センター 糖尿病内科・内分泌内科・代謝内科

外来案内

		月	火	水	木	金
紹介 予約	新患	副腎 (第2・4週) 甲状腺 院外糖尿病	副腎 甲状腺 院外糖尿病	甲状腺 下垂体カルシウム性腺 院外糖尿病	副腎 甲状腺 下垂体カルシウム性腺 院外糖尿病	副腎 甲状腺 下垂体カルシウム性腺 院外糖尿病 脂質肥満
	再来	内分泌 / 糖尿病 (★齋藤 ★鶴谷 中井 土屋) 甲状腺 (廣瀬) (第1・2・3・4週)	内分泌 / 糖尿病 (★齋藤 洲之内 廣瀬 渡邊 尾崎 土屋)	内分泌 / 糖尿病 (西川 ★鶴谷 (第1・2・3・5週)) 副腎疾患担当医 内分泌代謝疾患担当医 下垂体副甲状腺疾患 (★齋藤) 糖尿病 (松澤) (第1・2・4週)	内分泌 / 糖尿病 (菊池 ★鶴谷 中井 尾崎 (第1・3週) 土屋 (第2・4・5週)) 甲状腺 (★齋藤)	内分泌 / 糖尿病 (洲之内 廣瀬 山根) 副腎疾患担当医 下垂体疾患 (★齋藤) 脂質肥満 (★鶴谷)

(注) ★印: 部長 ☆印: 副部長

受付時間 8:15 ~ 11:00 (予約の方は、予約時間に合わせて受付いたします)

※「予約」は事前予約または紹介状が必要です。

当センターは紹介予約制をとっており、糖尿病・原発性アルドステロン症・副腎疾患・甲状腺疾患・下垂体疾患など疾患ごとに予約枠が分かれております。予約取得の際に疾患名・疾患領域をご連絡いただけますようお願いいたします。

原発性アルドステロン症に関しては、特に紹介が多く受診まで1~2ヶ月お待たせしており、診療体制の再構築を検討中です。

地域医療連携の取組

病診連携の一環として、かかりつけ医の受診に加えて当院でも半年毎に受診して頂く“糖尿病連携パス”を運用しております。

地域の勉強会として、神奈川内分泌代謝セミナー・かながわ間脳下垂体疾患カンファレンス・横浜北部生活習慣病懇話会などをそれぞれ年1~2回ずつ開催し、事務局として活動しています。

## 医師紹介



## 腎臓内科部長

波多野 道康 (はたの みちやす)

昭和 60 年 杏林大学 卒業

【専門分野】腎臓病

【学会専門医・認定医】

日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医、日本透析医学会専門医・指導医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
副部長 もりと たく 森戸 卓	平成 15 年	北海道大学	腎臓病	日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本腎臓学会専門医・指導医 日本透析医学会専門医・指導医	
医師	きよだ みづき 許田 瑞樹	平成 24 年	川崎 医科大学	腎臓病	
	いとう あやき 伊藤 彩希	平成 28 年	東京女子 医科大学	腎臓病	日本内科学会内科専攻医
	さかきばら ゆうや 榊原 悠也	平成 29 年	東京医科 歯科大学	腎臓病	日本内科学会内科専攻医
	もちだ ひびき 持田 響	平成 31 年	横浜市立 大学	腎臓病	日本内科学会内科専攻医

## 診療科紹介

2009年に日本腎臓学会より刊行された「CKD診療ガイド」によりCKD（慢性腎臓病）という病名が一般化してきました。腎臓病の多くは無自覚のまま発症し緩徐に進行し、放置すると不可逆的な「慢性腎臓病」となります。食事療法やRAS阻害薬などによる降圧、尿蛋白抑制は、末期腎不全への進行をある程度は抑制してくれますが、腎機能障害が一定以上進行すれば、いずれ腎機能は廃絶し透析が必要となります。しかし、慢性糸球体腎炎やネフローゼ症候群の中には、早期にステロイドや免疫抑制剤などの治療を開始することにより完全緩解が見込まれる（CKDにならない）場合も多くあります。また、血管炎による急速進行性糸球体腎炎のように数週から数ヶ月の間に腎機能が廃絶し、治療開始の遅れによって生命が脅かされる疾患も存在します。そのため、検尿などによる検査で、腎臓の異常をいち早く察知し、速やかに診断をつけ加療を開始することが肝要です。当科では、腎疾患の早期発見、診断と早期治療による慢性腎臓病への進行阻止を第一に考えます。また、当科ではこれまでに様々な腎疾患の経験を積んでおり、同時に日々偏りのない最新の知見を収集し、これらをもとに腎予後と生命予後の両面から治療方針を検討しています。

## 施設認定

- 日本腎臓学会研修施設
- 日本透析医学会認定施設

## 主な実績

2020年の実績

1. 入院患者総数 310 人
  - ・慢性糸球体腎炎（非ネフローゼ症候群）46 人、このうち IgA 腎症 43 人
  - ・糸球体疾患によるネフローゼ症候群 13 人
  - ・顕微鏡的多発血管炎、SLE 9 人
  - ・上記以外の腎機能障害、慢性腎不全など 242 人
2. 腎生検総数 35 人
3. 慢性維持血液透析導入 72 人

## 外来案内

		月	火	水	木	金
紹介	午前	★波多野	許田	(隔週) ★波多野 (隔週) 許田	★波多野	☆森戸
	午後	☆森戸		伊藤		

(注) ★印: 部長 ☆印: 副部長

※腎疾患の診断と治療方針決定には、臨床経過が非常に重要です。ご紹介の際には、血尿、蛋白尿、高血圧などの出現時期や血清 Cr 値の時間的な推移などの情報を提供していただけると非常に助かります。

※初診は予約も受け付けておりますが、お急ぎの場合はその限りではありません。ただし、予約なしの当日受付はお待ちいただくことになります。

※再診は原則として予約制です。

当科で初診対応となる疾患は以下のものです。

健康診断で指摘された蛋白尿あるいは蛋白尿と血尿、原因不明の蛋白尿あるいは蛋白尿と血尿、慢性糸球体腎炎、急速進行性糸球体腎炎、急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、膠原病や血管炎による腎炎、感染症に伴う腎炎、間質性腎炎、遺伝性腎炎、多発性嚢胞腎、尿細管障害、原因不明の電解質異常、原因不明の酸塩基平衡異常、腎性高血圧、腎血管性高血圧、原因不明の腎機能障害、慢性腎不全（保存期と血液透析導入）。

上記検尿異常や腎炎、ネフローゼ症候群に対し、当科では治療方針決定のため特に腎生検を重視します。慎重に適応を判断した上で、入院により腎生検を施行、組織標本は病理医との定期的なカンファレンスにより最終的な診断を下します。さらに、個々の症例の年齢や合併症も考慮の上、治療方針を検討し患者さんに説明、同意をいただいた上で加療を開始します。

医師紹介



リウマチ・膠原病センター長  
リウマチ科部長

**北 靖彦** (きた やすひこ)

昭和 62 年 千葉大学 卒業

【専門分野】リウマチ・膠原病、一般内科

【学会専門医・認定医】

日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本リウマチ学会リウマチ専門医・指導医、日本リウマチ財団リウマチ登録医、日本臨床免疫学会免疫療法認定医、千葉大学臨床教授



膠原病内科部長

**藤原 道雄** (ふじわら みちお)

平成 10 年 宮崎医科大学 卒業

【専門分野】リウマチ・膠原病、一般内科

【学会専門医・認定医】

日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本リウマチ学会リウマチ指導医・専門医、日本臨床免疫学会免疫療法認定医、インフェクションコントロールドクター (ICD)、千葉大学臨床准教授

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
医師 高橋 達郎 (たかはし たつろう)	平成 31 年	千葉大学	リウマチ 膠原病 一般内科	

診療科紹介

リウマチ科・膠原病内科は、関節リウマチおよび膠原病・血管炎などの自己免疫疾患の診療を行っている部門です。臓器障害や治療の副作用に対応するため、多くの診療科と連携する必要があるため、平成 30 年度から新たにリウマチ・膠原病センターを設置しました。特に関節リウマチ診療において、整形外科 (人工関節外科)、リハビリテーション科と密接に連携してまいります。

関節リウマチ

関節リウマチは、診断技術の向上と、新たな抗リウマチ薬の登場により、寛解を目指すことが可能となりました。当科ではメトトレキサート (MTX) や生物学的製剤を用いた治療を積極的に行い、早期の寛解達成および維持を心がけております。難治例、高齢患者さん、合併症の多い患者さんの治療も行っております。

リウマチ・膠原病センター リウマチ科・膠原病内科

膠原病

膠原病は多臓器に障害が起こり、ステロイドや免疫抑制剤を用いた強力な免疫抑制療法を行うため、診療には膠原病の専門知識に加え、多くの専門科との協力が必要です。当院は総合病院ならではの他科専門医との共同作業が可能であり、ステロイドや免疫抑制剤、生物学的製剤を用いた最新の治療を行っています。また、感染症や骨粗鬆症などのステロイドの副作用に対する予防についても積極的に取り組んでおります。

施設認定

- 日本リウマチ学会教育認定施設に認定されております。

主な実績

臨床実績 (2020年4月～2021年3月)

項目	患者数
入院患者数 (名)	66
全身性エリテマトーデス	7
シェーグレン症候群	13
多発性筋炎・皮膚筋炎	5
内訳	
強皮症	2
関節リウマチ	13
顕微鏡的多発血管炎	9
リウマチ性多発筋痛症	13

項目	患者数
外来患者数 (名 / 月平均)	977
内訳	
関節リウマチ (名)	920
生物学的製剤使用患者 (名)	245

外来案内

リウマチ科・膠原病内科では、毎週月～金曜日の午前中新リウマチ・膠原病専門外来を設けております。当科は完全紹介予約制をとっております。初診時も事前に当院予約センター (TEL 045-474-8882) で予約をお取りいただきますようお願い致します。

		月	火	水	木	金
紹介予約	午前	★藤原	★北 ★藤原	★北	★北 高橋	★藤原

(注) ★印: 部長 ☆印: 副部長

受付時間 8:15～11:00 (予約の方は、予約時間に合わせて受付いたします)

関節痛、原因不明の発熱、自己抗体陽性など、関節リウマチや膠原病を疑う症例がありましたら、軽微でもご紹介頂きますと幸いです。

すでに診断がついている関節リウマチや膠原病・血管炎などの診療でお困りの症例についても、是非ご紹介くださいますようお願い致します。

紹介から受診までのおおよその期間は1～2週ですが、緊急時はお電話にてご相談頂きますと速やかに対応いたします。

なお、線維筋痛症の診療は行っておりません。

地域医療連携の取組

関節リウマチや膠原病の診断や治療、副作用対策などの勉強会を今後開催してまいります。病状が安定した患者さんの連携パスも今後、拡充していく予定です。

## 医師紹介



副院長  
内科部長、血液内科部長

**平澤 晃** (ひらさわ あきら)

昭和 60 年 千葉大学 卒業

【専門分野】 内科学、血液病学、輸血学、感染制御

【学会専門医・認定医】

日本内科学会認定総合内科専門医・指導医、日本血液学会認定血液専門医・指導医、日本輸血・細胞治療学会認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、インфекションコントロールドクター（日本感染症学会）、日本医師会認定産業医、千葉大学医学部臨床教授



臨床検査科部長  
輸血部長

**佐藤 忠嗣** (さとう ただつぐ)

昭和 60 年 産業医科大学 卒業

【専門分野】 内科学、血液病学、輸血学

【学会専門医・認定医】

日本内科学会認定総合内科専門医・指導医、日本血液学会認定血液専門医・指導医、日本輸血・細胞治療学会認定医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
血液内科 副部長 おおよぎひであき 大八木秀明	平成 15 年	秋田大学	内科学 血液病学 リウマチ・膠原病	日本内科学会認定総合内科専門医・指導医 日本血液学会認定血液専門医・指導医 日本リウマチ学会専門医
専修医 あらいしょうた 新井 翔太	平成 30 年	北里大学		

## 診療科紹介

血液内科では、血球異常の精査を通じて、鉄欠乏性貧血、悪性貧血、溶血性貧血などの貧血、再生不良性貧血、急性あるいは慢性白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、血小板減少症、血友病などの検査・治療にあたります。

スタッフの人数は少ないですが、医師は全員日本血液学会認定血液専門医であり、最新の標準的な治療に対応しております。また、看護師・薬剤師・理学療法士・MSW とも連携し、チーム医療を実践しております。

再生不良性貧血の治療は、免疫抑制療法が主体となりつつあります。当院でも、中等症・重症型再生不良性貧血の治療には、抗胸腺細胞免疫グロブリンやシクロスポリン等の免疫抑制剤を用いた治療を行っています。多くの方々がこの治療により、外来通院できるまでに軽快されています。

急性白血病の治療は、抗がん剤の多剤大量療法がまず行われ、その後約 1～2 年間にわたる入院・

## 血液内科

外来での維持療法が続きます。発症時や抗がん剤の大量療法を行う間は、細菌などに対する抵抗力が低下しているため、無菌室での治療が勧められます。当院は基準をみたした無菌室が12床（個室型4床・4人室型8床）あり、可能な限り無菌室を利用して急性白血病の初期治療を行うようにしています。慢性骨髄性白血病には、最近ではチロシンキナーゼ阻害剤（グリベック®、タシグナ®、スプリセル®）の内服治療が行われています。治療法は病状や希望により選択します。

経過により急性、慢性白血病は、同種造血細胞移植が行われることがあります。当院においては、同種移植は行っておりませんが、適応のある患者さんは近隣の移植施設にてご紹介しています。また、非血縁者間の骨髄移植についても、骨髄移植推進財団（骨髄バンク）と密接に連絡をとりながら進めています。

悪性リンパ腫の治療は、症状により抗がん剤治療、放射線治療を単独あるいは組み合わせて行います。抗がん剤療法は血液内科医が行いますが、放射線治療は当院の放射線科専門医と密接に連携を取りながら行っています。

多発性骨髄腫の治療は、年齢・症状に応じて化学療法を行います。比較的若い患者さんでは自己末梢血幹細胞移植を伴った抗がん剤大量法を行っております。また、いわゆる分子標的治療であるボルテゾミブ（ベルケイド®）やサリドマイド、レナリドミドを用いた治療や、そのほかの新規治療を積極的に取り入れ、治療効果の向上を図っています。

すべての治療は、患者さん・ご家族に説明の上、充分ご理解いただいた上で行うように心がけています（インフォームドコンセント）。また、悪性腫瘍の告知については、あらかじめ患者さんご家族の意思を確認するようし、ご希望に添うようにしています。

### 施設認定

- 無菌室12床（個室型4床・4人室型8床）

### 主な実績

項目	患者数				
	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
入院患者（実患者数）	206	251	191	178	243
疾患別入院患者数					
急性白血病	33	38	37	31	35
骨髄異形成症候群	6	25	14	17	8
悪性リンパ腫	52	122	92	90	152
多発性骨髄腫	10	30	24	20	22
再生不良性貧血	2	5	2	0	4
特発性血小板減少性紫斑病	6	11	10	7	3
その他	6	20	12	13	19

外来案内

			月	火	水	木	金
紹介 予約	午前	新患	○平澤		★佐藤	☆大八木	新井
		再来	○平澤 ★佐藤	○平澤 ★佐藤	★佐藤	○平澤 ☆大八木	☆大八木 新井
	午後						応援医師

(注) ○印: 副院長 ★印: 部長 ☆印: 副部長

受付時間 8:15 ~ 11:00 (予約の方は、予約時間に合わせて受付いたします)

※新患は事前予約と紹介状が必要です。

紹介患者さんについては、病状・疾患により緊急を要することもあります。その際には、直接診療科にお電話をいただき、受診日を調整することも可能です。

なお、医師数が少なく、状況により止むを得ず、他院受診をお願いすることもあることを、ご容赦ください。

医師紹介



腫瘍内科部長

**有岡 仁** (ありおか ひとし)

昭和 60 年 札幌医科大学 卒業

【専門分野】 内科、腫瘍内科、緩和医療

【学会専門医・認定医】

日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本緩和医療学会認定医・暫定指導医、日本内科学会認定総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医

	氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
医師	たけい さおり 竹井 紗織	平成 22 年	山口大学	内科 腫瘍内科 緩和医療	日本内科学会認定総合内科専門医
	やなぎはら たけし 柳原 武史	平成 22 年	北里大学	内科 腫瘍内科 緩和医療	日本内科学会認定内科医
	ゆかわ ひろこ 湯川 裕子	平成 22 年	高知大学	内科 腫瘍内科 緩和医療	日本内科学会認定総合内科専門医 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医

診療科紹介

1. 診療概要

がんはわが国の死因の第1位で死亡者数の約3割を占めています。日本人の2~3人に1人が生涯のうちにがんに罹患するとされており、がん患者数増加にともなって薬剤によるがん治療を受ける方も増えています。

抗がん剤に加えて、分子標的治療薬やオプジーボに代表されるがん免疫療法の登場など、めざましい薬剤開発により治療薬の種類も年々増えています。がん治療の可能性が広がる一方で薬物治療が複雑化してきており、がん薬物療法に関する専門家の役割が重要になっています。

当科ではがん薬物療法の専門的な知識や経験を持つ医師が診療にあたっており、個々の患者さんの病状やご希望に十分配慮し、最適な治療を提供するよう努めています。また、他のがん診療科と定期的にカンファレンスを行って院内横断的な診療体制の充実をはかり、質の高いがん診療を病院の総意としてめざしています。当院が総合病院であるメリットを活かし、さまざまな合併症を持つ患者さんの治療を安全に行える態勢を作っています。

治療の副作用やがんによる痛みなどのつらい症状を和らげるために行う、緩和治療にも力を入れています。

### 2. 診療内容・対象疾患

主に担当しているがん

- 消化器がん（食道がん、胃がん、大腸がん、膵臓がん、肝臓がん、胆道がん）
- 乳がん
- 泌尿器がん（精巣腫瘍、腎臓がん、前立腺がん）
- 原発性腹膜がん（卵巣がんに類似した組織で卵巣に原発腫瘍のない女性のがん）
- 軟部肉腫
- 神経内分泌腫瘍
- 悪性黒色腫
- 原発不明がん（がんと病理診断はされているが原発臓器が見つからないがん）

抗がん剤などの薬物治療や放射線治療など、病気やご本人の状況に応じて最も適切な治療を選択して提案し、治療を行っています。

新たな治療法を開発するために行われている全国規模の臨床試験に積極的に参加し、がん治療の進歩に貢献するよう努めています。

院外で治療を受けておられる方のセカンドオピニオンも随時お受けしています。

### 施設認定

- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設（がん薬物療法専門医）

### 外来案内

腫瘍内科で担当する患者さんの多くは直接当科を受診されるのではなく、院内他科から紹介された方です。検査の結果進行がんと診断された方や、手術後の再発に対して薬物療法の方針となった方の治療を行っており、地域の先生方から間接的にご紹介いただいています。

幅広い臓器がんを診療することや多くの患者さんが進行がんであるため、患者さんの情報を事前に入手して初診当日に明確な方針をていねいにお伝えしています。そのため完全予約・紹介制とさせていただいていますが、お急ぎの患者さんにはできるだけ対応するよう努めています。

当院のどの診療科に紹介して良いか判断が難しい患者さんでも、ご紹介いただいた診療科での検査の結果進行がんと診断されれば、院内で相談して当科が診療を担当しますので、安心して当院にご紹介ください。

### 地域医療連携の取組

院内の患者サポートセンター担当者と定期的に情報交換の場をもち、介護保険や訪問診療、訪問看護などの支援が必要な患者さんとそのご家族に対するサポート態勢を整え、患者さんのご希望に沿った療養環境の整備に努めています。

## 緩和支援治療科

### 医師紹介



緩和支援治療科部長（兼務）

**有岡 仁**（ありおか ひとし）

昭和 60 年 札幌医科大学 卒業

【専門分野】 内科、腫瘍内科、緩和医療

【学会専門医・認定医】

日本緩和医療学会認定医・暫定指導医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本内科学会認定総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
医師 ひろかわ さとる 廣川 智	平成 9 年	杏林大学	緩和医療 消化器内科 腫瘍内科	

### 診療科紹介

#### 1. 診療概要

がんの患者さんは年々増加し、また診断や治療の技術も進歩しています。しかしがんによる死亡者数も増加しており、痛みなどがんによるつらい身体症状や精神的、社会的な苦痛を持つ患者さんも数多くいます。

緩和ケアチームの一員として主に入院中の進行したがん患者さんを対象とし、がんに伴うさまざまな症状に対する適切な対処法を提案し、より苦痛の少ない生活を送っていただくためのサポートを行っています。

#### 2. 診療内容・対象疾患

入院中に緩和ケアチームの介入依頼のあった患者さんに対し、チームメンバーである緩和ケア認定看護師と協働して患者さんやご家族の身体的、精神的な苦痛に対する治療を行います。緩和ケアチームに加わっている心療内科医師、臨床心理士、看護師、薬剤師、管理栄養士などの助言を得て、最善の治療を主治医や病棟看護師に提案しています。

### 施設認定

- 日本緩和医療学会認定研修施設

## 主な実績

緩和ケアチーム介入患者数

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
154 件	157 件	154 件	158 件	139 件

平成 29 年度以降新規介入件数 診療科別状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
消化器内科	43	29	43	33
呼吸器内科	25	47	33	23
外科	21	8	19	20
乳腺外科	10	8	6	4
耳鼻咽喉科	9	10	11	7
整形外科	9	-	-	8
婦人科	8	7	7	14
泌尿器科	7	-	7	6
腫瘍内科	-	8	7	9
脳神経内科	-	8	-	5
他	25	29	15	10
合計	157	154	158	139

## 外来案内

ご希望日等、入院中に介入した患者さんに対して、外来での介入を継続しています。院外からの直接のご紹介は承っていません。

## 地域医療連携の取組

緩和ケアチームが介入している患者さんやご家族の希望や意向を確認しながら、療養の仕方や療養場所の相談などもお聴きしています。

# 呼吸器センター 呼吸器内科



## 医師紹介



呼吸器センター長  
呼吸器内科部長

**伊藤 優** (いとう まさる)

平成 4 年 新潟大学 卒業

【専門分野】呼吸器内科学

【学会専門医・認定医】

日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医、日本アレルギー学会アレルギー専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本化学療法学会抗菌化学療法認定医・指導医、日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症認定医、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会初級呼吸ケア指導士

呼吸器センター

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
副部長 石井 宏志	平成 20 年	長崎大学	呼吸器内科学	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会呼吸器専門医
医師 廣瀬 知文 長田 怜永子 阿部 白菜子 鈴木 祐一郎	平成 29 年	北里大学	呼吸器内科学	
	平成 30 年	鳥取大学	呼吸器内科学	
	令和元年	山形大学	呼吸器内科学	
	令和元年	横浜市立大学	呼吸器内科学	
アスベスト疾患 ブロック センター長 小澤 聡子	平成 10 年	秋田大学	呼吸器内科学	日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医 日本アレルギー学会アレルギー専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本化学療法学会抗菌化学療法認定医 日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症認定医 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会初級呼吸ケア指導士 日本職業・災害医学会 労災補償指導医

## 診療科紹介

### 1. 当科の診療体制（病床数は31床）

- 呼吸器内科 常勤医師 6名  
非常勤医師 1名（週1回専門外来診療を担当）
- カンファレンスの定期開催  
入院症例検討 週1回  
呼吸器内科・外科合同 週1回  
病理診断科・呼吸器内科・呼吸器外科合同 隔週1回

### 2. 当科の特色

当院では、呼吸器内科と呼吸器外科が呼吸器センターとして一体となった体制で呼吸器疾患診療にあたっており、内科・外科は同じ病棟と外来診療室で診療に従事していますので、相談・連携を滞りなく行うことができる環境が整っています。また、アスベスト疾患ブロックセンターと一体化し、胸膜中皮腫などのアスベストが関与する疾患の診断と治療にも積極的に取り組んでいます。

当科では、当地域の呼吸器診療レベルの向上に貢献するために、以下の取り組みを継続しています。

- ① 院内の各診療科、診療部門、医療チームとの診療、連携
  - ・感染管理室と連携した院内感染症対策と呼吸器感染診療の向上
  - ・地域がん診療連携拠点病院として、肺がんに対する集学的治療のレベルの向上
  - ・薬剤部と連携した吸入療法支援体制の確率
  - ・中央リハビリテーション部と連携した呼吸リハビリテーションの積極的な推進と地域への普及
  - ・院内の呼吸ケアサポートチームの一員として、呼吸不全管理の診療レベル向上
- ② 呼吸器内視鏡による検査・治療の技術向上
- ③ 新規呼吸器疾患専門治療薬の積極的な導入  
新規治療薬の迅速かつ適切な提供
- ④ 呼吸器感染症関連ワクチン接種の推進

### 3. 主な対象疾患と治療

主に担当する領域は、気管・気管支、肺、胸膜、縦隔の疾患です

肺がん、胸膜中皮腫

呼吸器感染症（高感染性の肺結核症を除く）

気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支拡張症

びまん性肺疾患（間質性肺炎、薬剤性肺障害、過敏性肺炎など）

サルコイドーシス

続発性気胸、膿胸、胸水貯留

慢性咳嗽

慢性呼吸不全

#### 4. 当院で可能な専門検査と治療

- ① 呼吸抵抗検査（モストグラフ）
- ② 呼気一酸化窒素測定検査（FeNO）
- ③ 6分間歩行負荷試験
- ④ 超音波呼吸器内視鏡検査
- ⑤ 難治性重症喘息に対する気管支サーモプラスティ
- ⑥ 難治性気胸や喀血に対する気管支充填術

### 施設認定

- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- 日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設

### 主な実績

#### 臨床実績

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
入院定床	22 床	27 床	27 床	27 床	30 床
のべ入院患者数（年間）	391 人	507 人	455 人	528 人	603 人
外来患者数（1日）	57.9 人	64.8 人	62.9 人	63.8 人	56.5 人
気管支鏡検査数（年間）	125 件	112 件	132 件	140 件	120 件

### 外来案内

- ・呼吸器疾患の原因は非常に多彩であるため、当科では適切な医療を行う上で初診時の詳細な医療面談を重視しております。このため、時間的・人力的な制約から制限なしに新患者さんを受け入れることが難しく、現在当科は完全紹介予約制とさせて頂いております。外来初診枠につきましては、より早い予約をお取りできますように、登録医の先生方には一般初診紹介枠とは別に登録医枠をご用意しておりますので、こちらをご利用頂けますと幸いです。
- ・緊急の対応が必要な方のご紹介につきましては、ご連絡を頂ければ当日の当科救急担当医師が対応させて頂きます。
- ・当科は呼吸器一般診療を広く行っておりますので、咳嗽、喀痰、息切れ等の呼吸器症状の精査、胸部異常陰影の精査、各呼吸器疾患の評価や管理のご相談、在宅酸素療法の導入依頼など、お気軽にご相談ください。
- ・なお、現在当院では睡眠時無呼吸症候群に対する PSG 検査は行っておりませんので、睡眠時無呼吸症候群の精査や新規導入が必要な患者さんにつきましては、予め他の専門施設へのご紹介をお願い致します。
- ・自然気胸につきましては、当院では呼吸器外科が初診対応となります。

		月	火	水	木	金
紹介予約	新患	★伊藤 ★小澤 ☆石井 長田	★伊藤 廣瀬	長田 高橋	★伊藤 ☆石井	★伊藤 廣瀬
	午前 再診	★伊藤 ★小澤 ☆石井 長田	★伊藤 廣瀬	長田 高橋 鈴川	★伊藤 ☆石井	★伊藤 ★小澤 廣瀬
	午後 再診	★伊藤 ☆石井	★伊藤	長田 高橋	★伊藤 ☆石井	★伊藤 廣瀬 阿部

(注) ★印：部長 ☆印：副部長

呼吸器内科は完全紹介予約制です。

受付時間 8：15～11：00（予約の方は予約時間に合わせて受付いたします）

### 地域医療連携の取組

- ご紹介を頂きました方は、肺がんや重症喘息等の呼吸器専門外来で管理させて頂いた方がよいと判断された場合を除き、病状安定後にご紹介元へ逆紹介をさせて頂くことを基本としております。
- 現在、薬剤部と協同し、当院近隣の横浜市6区と川崎市中原区の調剤薬局との吸入指導連携を行っています。
- 昨年度の呼吸器疾患の勉強会の開催は、新型コロナウイルス感染症流行に伴い中止しております。

## 呼吸器センター 呼吸器外科



### 医師紹介



#### 呼吸器外科部長

**山本 健嗣** (やまもと たけつぐ)

平成 9 年 名古屋市立大学 卒業

【専門分野】呼吸器外科

【学会専門医・認定医】

呼吸器外科専門医、外科専門医・日本外科学会指導医、がん治療専門医、  
日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医  
ロボット (da Vinci Si) 手術認定医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
副部長 かめだ ようへい 亀田 洋平	平成 23 年	横浜市立大学	呼吸器外科	外科専門医 呼吸器外科専門医 がん治療認定医
医師 かわはら みつえ 川原 光恵	平成 29 年	福井大学	呼吸器外科	
	しげた なおこ 繁田奈央子	平成 30 年	横浜市立大学	呼吸器外科
非常勤医師 まえはら たかみつ 前原 孝光	昭和 58 年	横浜市立大学		

### 診療科紹介

当院における呼吸器外科疾患の外科治療は、1999年4月に呼吸器外科として開設されて以来の19年間で、肺がん、縦隔腫瘍、気胸など約3100例の手術を行っています。現在では呼吸器センターの外科部門として、呼吸器内科と協力し、種々の呼吸器疾患の治療成績向上に努めています。

呼吸器外科の主な対象疾患は肺がん、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、良性肺腫瘍、胸壁腫瘍、自然気胸、肺のう胞症、びまん性肺疾患の肺生検、膿胸、胸部外傷 (外傷性血気胸、肺挫傷、肺破裂、多発性肋骨骨折など)、重症筋無力症に対する胸腺摘除術などがあります。

当科の特色は種々の疾患に対して胸腔鏡手術 (ビデオモニターを使用し、傷が小さく、体へのダメージが少ない手術) を積極的に導入していることです。胸腔鏡手術に関しては20年以上の経験がありますので、安心して診療を受けていただけたと思います。

また、当院は総合病院ですので、狭心症などの循環器疾患や透析などの腎疾患などの併存する患者さんにも十分対応可能です。

呼吸器疾患の治療方針は、呼吸器内科・病理診断部・放射線治療・診断部などと綿密に連絡をとり、カンファランスにて決定しております。

#### \*肺がん

存在部位にもよりますが、原則、胸腔鏡手術で行っております。早期から呼吸器リハビリを導入し、平均で術後1週間で退院となり、早期の社会復帰が可能です。

早期肺がんには慎重に検討したうえで、迅速診断応用し、積極的に肺を温存する区域切除や部分切除も施行しています。

また、放射線治療も最新式機器がありますので、進行肺がんに対する術前・術後治療も適切に行っています。

高齢者やいろいろな随伴疾患をもっている患者さんに対しても、術後の状態を考慮し、適切な手術を心掛けています。

**\*気胸**

原則、気胸はすべて初診より、呼吸器外科が担当しています。

若い人に多い原発性自然気胸は、肺の虚脱の程度によりけりですが、治療方針は入院治療ではなく、主に携帯型ベントチューブを前胸部に挿入し、外来にて管理しています（週2回程度）。

空気漏れが続く場合や、気胸再発時には胸腔鏡手術を施行しています。手術は2泊3日のクリニカルパスで行っています。

ほとんどのの方が手術翌日に退院できています。若い方には早期社会復帰でき、好評です。

**施設認定**

- 呼吸器外科修練基幹施設（呼吸器外科専門医合同委員会）
- 外科専門医修練施設（日本外科学会）
- 気管支鏡認定施設（日本呼吸器内視鏡学会）

**主な実績**

主な疾患	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全手術症例	212例 (うち胸腔鏡下手術 183例)	228例 (うち胸腔鏡下手術 210例)	238例(229例)
原発性肺がん	71例 (うち胸腔鏡手術64例)	100例 (うち胸腔鏡手術87例)	101例(99例)
気胸、のう胞性疾患	59例 (すべて胸腔鏡手術)	56例 (すべて胸腔鏡手術)	58例(58例)
転移性肺腫瘍	22例	14例	18例
縦隔腫瘍	22例	19例	31例
悪性胸膜中皮腫	4例	8例	0例
良性肺腫瘍、炎症性肺腫瘍	14例	15例	1例
膿胸	4例	2例	3例
外傷性疾患	1例	1例	0例
その他	15例	13例	29例

呼吸器センター 呼吸器外科

外来案内

		月	火	水	木	金
予約	午前	川原	★山本 ☆亀田	—	★山本 川原	前原 ☆亀田
	午後	—	—	—	繁田	★山本 (肺がん検診) 前原

(注) ★印: 部長 ☆印: 副部長

初診枠は火曜日の午前午後、木曜日の午前中、金曜日の午前後に設けてますので、予約お願いいたします。

登録医の先生方には、別に、登録医枠を設けていますのでご利用ください。

手術は月曜日、水曜日の午前午後に行っておりますが、緊急の場合は、毎日（土日は救急外来にて）対応いたしますので電話でご連絡ください。

肺がん疑いのある結節陰影や腫瘍陰影の場合は、呼吸器外科でも対応しておりますので気軽にご紹介ください。

地域医療連携の取組

毎週水曜日、病理診断部と呼吸器内科と手術症例の検討や、今後治療方針をきめるための検討を行っております。

また、毎週水曜日、夕方6時から呼吸器内科・呼吸器外科合同のカンファランスを催しています。

相談症例などございましたら、呼吸器外科 山本健嗣、あるいは呼吸器内科 伊藤優までご連絡ください。

## 医師紹介



### アスベスト疾患ブロックセンター長

**小澤 聡子** (こざわ さとこ)

平成 10 年 秋田大学 卒業

【専門分野】 呼吸器内科学

【学会専門医・認定医】

日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医、日本アレルギー学会アレルギー専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・気管支鏡指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本化学療法学会抗菌化学療法認定医、日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症認定医、日本職業・災害医学会労災補償指導医、日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医・指導医、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会初級呼吸ケア指導士

## 診療科紹介

### センター設置の趣旨

石綿にばく露された方、石綿関連疾患の方を対象に、地域医療機関と連携しながら健康相談、健康診断、診断・治療、症例の収集を行う医療機関として、2005年9月に全国の労災病院にアスベスト疾患センターが開設されました。その中で全国7ブロック（北海道・東北・関東・中部・関西・中四国・九州）の拠点となる労災病院には、アスベスト疾患ブロックセンターが開設され、労災指定医療機関などの地域医療機関の支援を行っています。

当院には関東ブロックの拠点としてアスベスト疾患ブロックセンターが設置され、石綿ばく露者や石綿関連疾患診療に対する支援を行っています。また、必要に応じて関東地方以外の方々にも対応しています。

### 業務紹介

#### 1. 主な業務内容

- ・石綿ばく露者の健康診断（個人健診、勤労者健診、石綿健康管理手帳健診など）
- ・石綿ばく露者・家族、事業所、産業医、医療機関、行政機関などからの相談に応じて、健康診断、情報提供、諸手続きの支援など
- ・石綿関連疾患に関する症例収集、情報の集積整理、臨床的医学研究
- ・医療機関への石綿に関する診療支援、診断研修
- ・石綿小体計測検査（他医療機関の測定依頼も随時受付）

#### 2. 石綿に関する相談・健診について

当センターでは、石綿健康診断、石綿に関する診療支援、診断研修、石綿小体計測検査などを行っています（石綿健康診断は2次健診のみの受付は行っておりません）。また、その他石綿関連のご相談は当センターまでお問い合わせください。事務担当が対応いたします。

（アスベスト疾患ブロックセンター窓口 045-474-8003 直通）

## アスベスト疾患ブロックセンター

### 主な実績

#### 臨床実績

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
石綿手帳健診受診件数 (件)	859	828	818	776	689
石綿健診受診件数 (件)	313	258	282	270	222
石綿健診有所見件数 (件)	65	51	48	51	32

### 外来案内

#### 石綿健康診断外来案内【完全予約制】

診療内容：問診・診察・胸部 X 線（必要時、胸部 CT）

	月	火	水	木	金
午前（9：00～11：30）		★小澤	★小澤	★小澤	
午後（13：00～15：30）				★小澤	

★印：センター長（部長）

### 地域の先生方へのメッセージ

石綿関連での疑問やお困りのことがありましたら、遠慮なくアスベスト疾患ブロックセンター窓口までお問い合わせください。

医師紹介



循環器センター長  
循環器内科部長

**柚本 和彦** (ゆもと かずひこ)

昭和 62 年 順天堂大学 卒業

【専門分野】 循環器内科、虚血性心疾患

【学会専門医・認定医】

日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定専門医・臨床研修指導医、身体障害者福祉法第 15 条指定医師



冠疾患集中治療部長

**青木 元** (あおき はじめ)

平成 9 年 東京慈恵医科大学 卒業

【専門分野】 循環器内科、虚血性心疾患、下肢動脈疾患

【学会専門医・認定医】

日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定専門医・臨床研修指導医



不整脈科部長

**小和瀬 晋弥** (こわせ しんや)

平成 13 年 信州大学 卒業

【専門分野】 不整脈、デバイス治療

【学会専門医・認定医】

日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医、植込み型除細動器 (ICD) / ペーシングによる心不全治療 (CRT) 研修終了医、臨床研修指導医、身体障害者福祉法第 15 条指定医師



不整脈治療科部長

**長田 淳** (おさだ じゅん)

平成 10 年 自治医科大学 卒業

【専門分野】 不整脈、カテーテルアブレーション、心エコー

【学会専門医・認定医】

日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本不整脈心電学会不整脈専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医、日本成人先天性心疾患学会暫定専門医、プライマリケア連合学会認定医・指導医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本体育協会認定スポーツドクター、植込み型除細動器 (ICD) / ペーシングによる心不全治療 (CRT) 研修終了医、臨床研修指導医、身体障害者福祉法第 15 条指定医師

**循環器センター 循環器内科・冠疾患集中治療部・不整脈科・不整脈治療科**

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
循環器内科 副部長 たなか しんご 田中 真吾	平成 18 年	秋田大学	虚血性心疾患	日本内科学会認定総合内科専門医 日本循環器学会認定循環器専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本禁煙学会禁煙認定指導医	
冠疾患 集中治療部 副部長 ふくざわ ともゆき 福澤 朋幸	平成 19 年	産業医科 大学	虚血性心疾患	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会専門医 日本医師会認定産業医	
循環器内科 医師 おおつ かずや 大津 和也	平成 25 年	筑波大学	循環器内科	認定内科医 日本心臓血管インターベンション認定医	
不整脈科 医師 あさの しゅんいち 浅野 駿逸	平成 27 年	横浜市立 大学	循環器内科		
循環器内科 医師	ほりごめ あきら 堀米 旭	平成 29 年	横浜市立 大学	循環器内科	
	たけうち まさと 竹内 幹人	平成 30 年	千葉大学		
	にしどう ひろかず 西堂 寛和	平成 31 年	東北大学	循環器内科	
	おきどのゆうたろう 沖殿祐太郎	平成 31 年	筑波大学	循環器内科	
	ふじむらこういちろう 藤村公一郎	平成 31 年	日本 医科大学	循環器内科	
	まなべ ゆうじ 真鍋 雄二	平成 31 年	順天堂 大学		
	ひさまつな みこ 久松菜未子	平成 31 年	埼玉 医科大学	循環器内科	
非常勤医師 (筑波大学 循環器不整脈学 寄付講座教授) のがみ あきひと 野上 昭彦	昭和 57 年	長崎大学	不整脈 カテーテル アブレーション	日本内科学会認定内科医 日本循環器学会認定循環器専門医 日本不整脈学会 - 日本心電学会認定不整脈専門医	

**診療科紹介**

循環器内科の対象疾患としては主に虚血性心疾患(狭心症・急性心筋梗塞)、閉塞性動脈硬化症、心不全、高血圧、不整脈、心臓弁膜症、心筋症などがあげられます。

当科ではこのような疾患に 24 時間対応できるよう常に待機しております。又、近隣の病院や医院の先生方とも連携し最善の治療を提供できるよう心がけております。

冠疾患集中治療部では主に虚血性心疾患(狭心症・急性心筋梗塞)、閉塞性動脈硬化症、重症心不全の診断及び治療を行っております。冠動脈狭窄による虚血性心疾患に対し、カテーテル治療(バルーン拡張術、ステント留置術)を行います。ステント治療に関しては従来型のステント(bare metal stent)が再狭窄予防のための薬剤溶出性ステントを用いる場合がありますが、治療後の内服薬に違いがあるため患者さんと相談し決定しております。血管の硬化が強い場合にはロータブレーターを用い血管壁を削る治療も積極的に行っております。又、近年心血管以外での血管治療もカテーテルで積極的に治療しております。カテーテル治療は安全かつ有効な治療ですが、侵襲性は低く患者さんの負担を軽減することができると考えております。2泊から3泊程度の入院で行うことができ、退院後は早期に日常生活に戻ることができます。

### 冠疾患集中治療部 診療内容

冠疾患集中治療部では主に虚血性心疾患（狭心症・急性心筋梗塞）、閉塞性動脈硬化症、重症心不全の診断及び治療を行っております。虚血性心疾患（狭心症・急性心筋梗塞）に対し、当院では2室の心血管造影専用のカテーテル室を有し診断及びカテーテル治療を行っております。特に急性期の診断・治療に力を入れており、心筋が壊死に陥る急性心筋梗塞などまさに一刻を争う病態には医師・看護師・コメディカルが24時間待機し、夜間・休日を問わず、緊急の検査・治療にあたっています。具体的には緊急の心臓カテーテル検査によって診断を迅速に行い、薬物療法やカテーテル治療（バルーン治療、ステント治療など）などの治療で狭窄あるいは完全に閉塞した冠動脈の血行再建術を行っております。また、より重症の心筋梗塞（ショック状態など）に対応するため大動脈バルーンパンピング（IABP）や経皮的な心肺補助装置（PCPS）といういわゆる補助循環の装置も導入しています。

動脈硬化は心臓の血管以外にも、頸動脈、鎖骨下動脈、腹部血管、腎血管、腸骨動脈、下肢動脈など全身の血管カテーテル治療を行っております。

虚血性心疾患の診断は、今までは入院の上でカテーテル検査で行ってききましたが、2006年9月からマルチスライスCTを導入し、初回冠動脈検査の多くがCT検査にて可能となり、患者さんの負担はさらに低下し外来でも検索が可能となりました。

### 不整脈科 診療概要

横浜労災病院・不整脈科は経験豊富な専門医によって最新の不整脈治療を提供させて頂いております。頻脈性不整脈に対する根治療法であるカテーテル・アブレーション（焼灼術）に関しては、特に、複雑で治療困難な心室頻拍（VT）・心室細動（VF）などの重症心室性不整脈に対して力を入れており、全国各地からも多くの不整脈患者さんが紹介されて来られています。心房細動においてはバルーンカテーテルによる冷凍凝固心筋焼灼術（クライオアブレーション）も取り入れています。

ペースメーカー、両心室ペースメーカー（CRT-P）、植込み型除細動器（ICD）、両心室ペーシング機能付き植込み型除細動器（CRT-D）、完全皮下植込み型除細動器（S-ICD）などの植込み型医療機器の手術や外来管理に関しても豊富な経験を有しています。また、不整脈に対する薬（抗不整脈薬）による治療に関してもエキスパートであり、近隣の病院や診療所の先生方からのご相談も数多くお受けしております。

私たちは不整脈患者さんが受けられるケアを改良できるように絶えず努力しており、また、そのことを誇りに感じています。

### 不整脈治療科 診療内容

私たちは不整脈治療専用の心臓カテーテル検査室（EPラボ）を有しています。この心臓カテーテル検査室では、診断や治療方針決定のための心臓電気生理学検査や、カテーテル・アブレーション治療、バルーンカテーテルによる冷凍凝固心筋焼灼術（クライオアブレーション）、それにペースメーカー、両心室ペースメーカー（CRT-P）、植込み型除細動器（ICD）、両心室ペーシング機能付き植込み型除細動器（CRT-D）、完全皮下植込み型除細動器（S-ICD）などの植込み型医療機器の手術が行われます。

対応している不整脈には、心房期外収縮（APC）、心室期外収縮（VPC）、心房細動（AF）、心房粗動（AFL）・心房頻拍（AT）、発作性上室性頻拍、WPW症候群（ウォルフ・パーキンソン・ホワイト症候群）、心室頻拍（VT）、心室細動（VF）などの頻脈性不整脈と、洞不全症候群、房室ブロックなどの徐脈性不整脈とがあります。また、Brugada（ブルガダ）症候群、QT延長症候群、特発性心室細動などの一部の遺伝性不整脈疾患に関する遺伝子検査も行っております。

## 施設認定

- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- 日本不整脈学会 - 日本心電学会認定不整脈専門医研修施設

## 主な実績

救急患者を断らないという科の方針のもと、入院患者数は年間 2,000 人前後を推移しています。虚血性心疾患や下肢閉塞性動脈硬化症など冠動脈や下肢動脈のカテーテル治療にも積極的に取り組んでいます。数年前より心臓リハビリを取り入れ、早期退院・社会復帰を目指しています。虚血性心疾患、不整脈疾患、心不全等すべての循環器疾患の専門医が包括的に対応できる体制となっています。

循環器内科における過去 5 年間の入院患者動向

循環器内科	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	
年間入院患者数	2,065	2,171	1,853	1,945	1,529	
平均在院日数	8.8	7.7	9.4	8.7	9.2	
急性心筋梗塞	93	101	151	169	130	
急性心不全	354	331	235	300	237	
冠動脈カテーテル治療（緊急治療）	494 (87)	540 (92)	464 (104)	450 (104)	356 (80)	
下肢動脈カテーテル治療	80	87	72	60	44	
心大血管リハビリ患者数	525	631	630	719	646	
ペースメーカー植え込み	(新規)	101	108	99	66	60
	(交換)	44	34	37	41	71
埋め込み型除細動器 植え込み (ICD)	(新規)	13	13	11	17	19
	(交換)	23	7	13	12	13
心臓再同期療法 (CRT および CRT-D)	(新規)	37	36	22	29	21
	(交換)	3	4	6	7	6

カテーテルアブレーションの内訳

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
WPW 症候群	18	11	8	11	12
房室結節リエントリー性頻拍	36	20	18	31	12
心房粗動	21	28	16	12	14
心房頻拍	28	27	24	25	13
心室頻拍	11	11	10	10	6
心室期外収縮	27	29	26	16	12
上室期外収縮	2	2	3	3	2
心房細動	228	202	214	225	182
心室細動	2	0	1	1	0
接合部離断術	5	1	0	0	0
合計	378	335	322	334	253

外来案内

初診では問診などに充分時間をとって対応いたします。このため半日程度の時間的余裕をもって受診されてください。

			月	火	水	木	金
予約	午前	新患	★柚本 ★長田 (不整脈外来)	★青木	★小和瀬	(第1・3・5週) ☆福澤 (第2・4週) ☆田中	★長田
		再来	★小和瀬 ★長田 浅野	★柚本 本道	★小和瀬 ★長田 ☆田中	★柚本 ★青木 ☆田中 ☆福澤	★小和瀬 (第2週) ICD 外来 (第1・3・4週) ペースメーカークリニック
	午後	再来	★柚本 ★小和瀬 ★長田	★青木 ☆福澤 大津	★安部 ★長田 (成人先天性 心疾患外来)	★柚本 ★青木 ☆田中 堀米	

(注) ★印: 部長 ☆印: 副部長

※手術・緊急呼び出し等により予告なく担当医に変更のある場合があります。ご了承ください。

## 循環器センター 心臓血管外科

### 医師紹介



#### 心臓血管外科部長

**竹田 誠** (たけだ まこと)

昭和 60 年 東京大学 卒業

【専門分野】 心臓血管外科全般

【学会専門医・認定医】

心臓血管外科専門医認定機構修練指導者・心臓血管外科専門医、日本胸部外科学会指導医、日本心臓血管外科学会国際会員、日本外科学会外科専門医、臨床研修指導医



#### 臨床工学部長

**安藤 敬** (あんどう たかし)

平成 9 年 日本医科大学 卒業

【専門分野】 心臓血管外科

【学会専門医・認定医】

心臓血管外科専門医認定機構修練指導者、心臓血管外科専門医  
日本心臓血管外科学会国際会員、日本外科学会外科認定医・外科専門医・指導医、臨床研修指導医、静脈瘤レーザー実施医、指導医

氏名		卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
医師	おかだ ひろし 岡田 拓	平成 17 年	三重大学	心臓血管外科	心臓血管外科専門医認定機構心臓血管外科専門医 日本外科学会外科専門医 日本救急医学会救急科専門医
	いもと かずよ 井元 和代	平成 26 年	東京大学	心臓血管外科	日本外科学会外科専門医
臨床工学 技士	わたなべ ひでき 渡辺 英樹	—	—	体外循環	体外循環技術認定士 体外循環技術医学会会員 日本人工臓器学会会員 日本臨床工学技士会会員
	いとう こういち 伊藤 浩一	—	—	体外循環	日本臨床工学技士会会員 日本人工臓器学会会員

## 診療科紹介

横浜市北東部中核施設として、循環器内科と密接に連携し成人循環器疾患全般の診療を行っています。成人心臓血管外科領域のほぼすべての手術に対応しており、常に最先端かつより安全な心臓外科手術を提供できるよう日々努めています。

5名の心臓血管外科医師とともに麻酔科医師、専任の臨床工学技士（含・体外循環技術認定士）、中央手術部看護師、集中治療部の医師・看護師がチームとなって心臓外科診療にあたらせていただきます。

心臓血管外科手術症例数は常に年間150例を上回っており、心臓血管外科専門医認定機構の指定する基幹施設に認定されています。

### 診療内容

当科ではほぼすべての種類の成人心臓外科及び血管外科手術を扱っています。

主なものとしては、狭心症に対する冠動脈バイパス術、弁膜症に対する弁置換術・弁形成術、大動脈解離・大動脈瘤に対する従来型の開胸開腹下での手術とより低侵襲なステントグラフト内挿術、成人の先天性心疾患に対する手術、重症心不全に対する手術治療等を行っています。末梢血管手術として、下肢静脈瘤や末梢動脈閉塞に対する手術、透析例に対するシャント作成も行っていきます。

#### ■ 狭心症に対する冠動脈バイパス術

体への負担が少なく成績が良好とされる、人工心肺を使用しない冠動脈バイパス術（OPCABと略して呼びます）を第一選択としています。OPCABで治療を完遂することができる症例も多いですが、透析例や心機能の不良な場合には人工心肺を用いて補助を行いながらのバイパス術（補助はしますが心停止とはせず拍動下でバイパスします）の方がより良い成績が見込まれることがあり、それぞれの症例に最適最善な方法を考慮して選択しています。バイパス材料としては、より良い長期成績を期待できる左右内胸動脈や橈骨動脈等の動脈グラフトを多用するようにしています。

#### ■ 弁膜症手術

近年、変性による僧帽弁閉鎖不全症と加齢による大動脈弁狭窄症の患者さんが増えています。僧帽弁閉鎖不全症では自己の弁を温存した弁形成術を第一選択として行っています。高齢の方の弁膜症には生体弁を使用することが多く、最近では80歳以上の超高齢者の方でも良好な手術成績が期待できるように進歩してきています。

さらに、従来の弁置換術が不適と評価されるような超ハイリスク症例では東京大学附属病院等への紹介によりTAVI（経カテーテル的大動脈弁留置術）を受けられるように手配いたします。

#### ■ 重症心不全に対する手術治療

当科は補助人工心臓の認定施設となっており、関東の心臓移植実施施設である東京大学附属病院を中心とするネットワーク下で重症心不全の手術治療にも取り組んでいます。当科で行う手術としては、左室形成術（SAVE手術・Dor手術）や補助人工心臓の植込等が挙げられます。

#### ■ 大動脈疾患

当院は救命救急センターも併設されており、急性大動脈解離等の緊急の大動脈疾患にも24時間体制で対応しています。また、放射線（IVR）科と協力してステントグラフトによる胸部大動脈瘤・腹部大動脈瘤の低侵襲血管内治療を行っています。ステントグラフトについては本邦への導入初期から先んじて積極的に取り組んでおり、近年手術数はますます増加する傾向です。

特に近年当科で力を入れている、腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療と下肢静脈瘤に対するレーザー治療につき下記に詳述いたします。

## 循環器センター 心臓血管外科

### ■ 腹部大動脈瘤の治療

腹部大動脈瘤の治療方法としては、人工血管置換術に加え、より低侵襲であるステントグラフト内挿術（血管内治療）を実施しています。

人工血管置換術では、15cm から 20cm 程度の皮膚切開のもと瘤の部分人工血管に置換する方法で、従来からの開腹アプローチに加え、可能であれば後腹膜アプローチを選択することで、開腹に伴う癒着性腸閉塞のリスクを減少させ、術後早期の食事開始をする工夫を行っています。麻酔科の協力を得て硬膜外麻酔の併用により術後疼痛のより少ない治療を心がけています。入院期間としては術後 2 週間程度です。

ステントグラフト治療では、創は両側（あるいは片側）鼠径部に 3cm 程度であり、全身麻酔施行困難な症例でも硬膜外麻酔や脊髄麻酔などで施行可能です。術日より経口摂取が可能で、術後 1 週間程度の入院期間です。

腹部大動脈瘤は、破裂する前に診断し、治療を行うことが重要と考えられています。腹部エコーなどで異常が認められた折には、ご紹介いただけましたら速やかに精査を実施し治療方針を決定させていただきます。

### ■ 下肢静脈瘤の治療

下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療は、保険収載された低侵襲治療です。当院も形成外科による全身麻酔下ストリッピング手術のみから、2014 年 1 月より心臓血管外科による局所麻酔下血管内レーザー治療（現在、波長 1470nm 半導体レーザーと全周性照射ファイバーを使用した最新レーザー機器使用）も行っております。特に、高齢者や他病合併例では、当院の 2 泊 3 日短期入院が安全でしょう。現状では、技術的に不適でなければ血管内レーザー治療が第一選択となっており、再発と合併症の少ない低侵襲治療のため、両側下肢の同時手術も増えております。さらに下腿の瘤も同時に切除します。毎週木曜日午後静脈瘤専門外来を開設しており、受診当日に下肢エコー精査まで行い、治療方針を決定します。下肢静脈瘤手術適応の有無にかかわらず、下肢浮腫精査目的などにもご相談ください。当日中に結果ご報告書を郵送させていただきます。

### ■ 下肢の動脈閉塞

急性期の血栓除去術や、慢性閉塞に対するバイパス術を行っています。自家静脈を用いて膝より末梢でのバイパス術にも取り組んでいます。

### ■ 透析症例に対するシャント作成

腎臓内科との連携により、局所麻酔下での内シャント作成を行っています。

### ■ 自己血輸血の積極的な適用

当科では、手術前に患者さんご自身の血液を採取して貯血しておき手術中に使用することで他人の血液を輸血する確率を減らすように努めています。

## 施設認定

- 胸部腹部ステントグラフト実施施設
- 下肢静脈瘤レーザー治療実施施設
- 補助人工心臓実施施設

## 主な実績

### 臨床実績

疾患別手術\年度	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
弁膜症手術	28	24	27	22	21
狭心症バイパス手術	14	17	17	12	9
先天性心疾患	0	1	0	0	0
不整脈手術（心房細動など）	4	10	14	8	10
大動脈解離	7	10	12	12	10
大動脈瘤（胸部）	32	42	39	48	41
大動脈瘤（腹部）	47	44	31	37	36
四肢の動脈手術	54	51	35	40	23
大動脈瘤のSTENT挿入術	35	36	37	36	29
下肢静脈瘤レーザー焼灼術	41	31	31	41	23
その他	0	3	2	1	1

## 外来案内

### 【なるべく紹介状をお持ちになり予約をお取りください】

紹介状や予約なしでも外来日には必ず拝見いたしますが、多少患者さんをおまたせすることになるかもしれません。なるべく予約をとってから来院するようにご指示ください。紹介状はごくごく簡単なものでも結構です。

	月	火	水	木	金
10:30～	—	★竹田 ★安藤 岡田 井元	—	★竹田 岡田 井元	—
13:30～	—	★竹田 ★安藤 井元	—	★竹田 岡田 井元	—

(注) ★印: 部長

静脈瘤のレーザー治療をご希望の患者さんは、木曜日午後の心臓血管外科初診枠または木曜日午後の形成外科・静脈瘤外来（諸般の事情により場所は形成外科ですが、木曜日午後は心臓血管外科医師・安藤が担当しています）に予約していただくと当日中に超音波検査まで行い、治療方針を決定することができます。

## 地域医療連携の取組

循環器科と共同で、港北区医師会等近隣医師会との勉強会を定期的に行っています。近隣の先生方にはご案内を差し上げますので、是非ご参加ください。

# 勤労者メンタルヘルスセンター 心療内科・精神科

完全紹介予約制

## 医師紹介



### 勤労者メンタルヘルスセンター長

**山本 晴義** (やまもと はるよし)

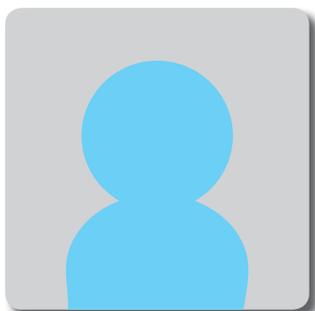
昭和 47 年 東北大学 卒業

【専門分野】心身医学、産業医学、健康教育

【学会専門医・認定医】

日本内科学会認定内科医

日本心身医学会心身医療「内科」専門医、日本心療内科学会専門医・指導医、日本精神神経学会専門医、社会医学系専門医協会認定専門医、埼玉学園大学客員教授



### 心療内科部長

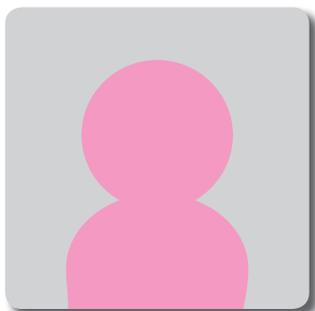
**柴山 修** (しばやま おさむ)

平成 16 年 東京大学 卒業

【専門分野】心身医学

【学会専門医・認定医】

日本内科学会総合内科専門医、日本心身医学会・日本心療内科学会認定心療内科専門医、日本医師会認定産業医、東京大学医学部心療内科非常勤講師



### 精神科部長

**古川 良子** (ふるかわ よしこ)

平成 6 年 横浜市立大学 卒業

【専門分野】精神医学、老年精神医学

【学会専門医・認定医】

日本精神神経学会専門医・指導医、日本老年精神医学会専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医、精神保健指導医・判定医、日本医師会認定産業医

氏名	専門	専門医・認定医等
医師	野原 久司 (のほら ひさし)	心身医学 日本医師会認定産業医、日本内科学会認定内科医
	宮部 大輔 (みやべ だいすけ)	心身医学 日本医師会認定産業医
	大澤 雄気 (おおさわ ゆうき)	心身医学 日本医師会認定産業医
	乗宗 麻衣 (のりむね まい)	心身医学 日本医師会認定産業医
心理判定員	秋庭 篤代 (あきば あつよ)	臨床心理 公認心理師 臨床心理士 神奈川糖尿病療養指導士
	塚野佳世子 (つかの かよこ)	臨床心理 公認心理師 臨床心理士・医療心理士 精神保健福祉士 がん・生殖医療専門心理士

勤労者メンタルヘルスセンター

## 診療科紹介

心療内科部門では、内科の一部として、主として内科系心身症を中心にした「ストレス関連疾患」を診療の対象としています。頭痛、呼吸苦、動悸、腹痛、食欲不振、下痢などの身体症状を主にした病状を扱う点は内科一般と同じですが、当科では、体の面からだけではなく、心の面からもアプローチする点が特色です。

精神科では、うつ病や認知症などの外来加療継続に加え、さまざまな精神疾患を抱えた患者さんの他科治療継続への協力を行っています。

また、労災病院では勤労者医療に重点をおいており、当科でも産業医と連携して「職場と関連したメンタルヘルス不調」に対する診療活動に力を入れています。勤労者メンタルヘルスセンターのバックアップも当科の活動の一環です。また、昨春より、心療内科とメンタルヘルスセンターの協働外来として「両立支援外来」を開設しています。

### 診療内容

診療においては薬物療法も行いますが、同時に対話によって患者本人がもつ自然治癒力（回復力）を十分活かすように心がけています。

対応疾患は上記のように「ストレス関連疾患」全般で、とくに内科系心身症に力を入れています。また、精神科疾患のプライマリ・ケア領域（軽症うつ病、軽症神経症など）も担当しています。一方、希死念慮の強い方や統合失調症、妄想性障害、躁うつ病、パーソナリティ障害、アルコール依存症、薬物依存など当科で対応困難なケースは、より専門的な治療をしていただける病院やクリニックと連携し、紹介を行っています。

入院病床では、心療内科入院対応に加え、精神科リエゾンチーム、認知症サポートチームが、他科入院患者さんの加療継続に協力を行っています。

## 施設認定

- 日本心療内科学会専門医研修施設

## 主な実績

開院以来 2020 年度末までに約 4 万名が新患として受診して頂いています。2020 年度は 776 名の新患受診がありました。診断名は主に、心身症、軽症うつ病、パニック障害、適応障害、摂食障害などです。

## 外来案内

初診では問診などに充分時間をとって対応いたします。このため半日程度の時間的余裕をもって受診されてください。

		月	火	水	木	金
紹介 予約	新患	★柴山 野原	★古川 野原	津久井	★古川	宮部
	午前 再来	★山本	★山本 ★柴山	★山本 ★柴山 野原	★山本 ★古川	★山本 ★柴山 野原
	午後 再来	野原 宮部	—	—	★柴山 野原	宮部

(注) ★印：部長 ☆印：副部長

## 地域の先生方へのメッセージ

身体疾患をベースとした心身症、低体重・電解質異常など伴う摂食障害などの症例がございましたら是非ご紹介をお願いします。

# 脳卒中センター 脳神経内科・神経筋疾患部

完全紹介予約制

## 医師紹介



脳卒中センター長  
脳神経内科部長、神経内科部長

**今福 一郎** (いまふく いちろう)

昭和63年 東京大学 卒業

【専門分野】臨床神経学、神経心理学、脳卒中学

【学会専門医・認定医】

日本内科学会認定医・指導医、神経内科専門医・指導医、脳卒中専門医



神経筋疾患部長

**中山 貴博** (なかやま たかひろ)

平成6年 筑波大学 卒業

【専門分野】臨床神経学、画像解析、筋画像

【学会専門医・認定医】

日本内科学会認定総合内科専門医・指導医、神経内科専門医・指導医、脳卒中専門医

脳卒中センター

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
医師	北村 美月 (きたむら みづき)	平成11年	旭川医科大学	臨床神経学	総合内科専門医・指導医 神経内科専門医
	佐々木拓也 (ささきたくや)	平成21年	東京大学	臨床神経学 臨床生理学	総合内科専門医 神経内科専門医 脳卒中専門医 臨床神経生理学会専門医 (脳波分野、筋電図、神経伝導分野)
	田村 崇行 (たむら たかゆき)	平成29年	東京大学	脳神経内科	
	國分 達 (くくぶん たつ)	平成30年	東京慈恵会医科大学	脳神経内科	
	山田 一貴 (やまだ かずき)	平成31年	東京大学	脳神経内科	
総合診療部長 救急災害医療部長	なかもり ともき 中森 知毅	平成2年	山口大学	救急医学 神経内科学 脳卒中学 災害医学	日本救急医学会救急科専門医・指導医、評議員 日本内科学会認定内科医・指導医 日本神経学会専門医・指導医 日本脳卒中学会専門医・指導医 社会医学系専門医・指導医 慶應義塾大学医学部客員講師 (救急医学) 日本神経救急医学会評議員 日本災害医学会評議員 防災学術連携体委員

## 診療科紹介

横浜労災病院脳神経内科は日本神経学会認定教育施設かつ日本脳卒中学会認定脳卒中教育施設であり、2021年度の正規医師（常勤医）は4名（4名は神経内科専門医、3名は脳卒中専門医）、専攻医（後期研修医）は3名（東京大学脳神経内科医局と東京慈恵会医科大学脳神経内科医局より赴任）で構成されています。また当院の救命災害医療部部長にも脳神経内科専門医、脳卒中専門医の資格があります。さらに脳神経外科の正規医師2名が脳卒中専門医であり、脳神経血管内治療科の戸村九月（とむらながつき）副部長には脳神経血管内治療学会専門医、脳神経外科専門医、救急専門医の資格があります。脳卒中診療を行っていくうえで神経内科専門医5名、脳神経外科専門医5名、脳卒中専門医6名、脳神経血管内治療学会専門医1名が対応しており、当院のスタッフは非常に充実しています。虚血性脳卒中（脳梗塞、一過性脳虚血発作）超急性期の治療には脳神経血管内治療科の戸村九月副部長をチームリーダーとして神経系医師全員の協力体制のもと24時間365日診療にあたっています。

当院の特徴は脳神経内科と脳神経外科・脳神経血管内治療科が協力して脳血管障害はもちろんありとあらゆる神経救急疾患を診療しているということです。この診療体制は全国でも極めて数少ない存在です。加えて脳神経内科はパーキンソン病や多発性硬化症など従来の神経難病をひとりひとり丁寧に長い経過で診療しており、これもまた当科の使命でもあると考えています。

## 施設認定

- 日本神経学会認定教育施設
- 日本脳卒中学会認定脳卒中教育施設
- 日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター（Primary Stroke Center：PSC）

## 主な実績

2020年度病床数30床に対する年間入院数

項目	入院数
入院総数	499
脳梗塞	194
心原性脳塞栓症	58
アテローム血栓性脳梗塞	76
ラクナ梗塞	21
その他	39
TIA	19
脳出血	48
多発性硬化症関連疾患	16

項目	入院数
ALS	9
てんかん（症候性も含む）	14
パーキンソン関連疾患	5
脳・髄膜炎	5
脊髄小脳変性症＋多系統萎縮症	3
重症筋無力症	5
GBS 関連疾患	4
末梢神経障害・CIDP	6
その他	171

脳卒中センター 脳神経内科・神経筋疾患部

外来案内

		月	火	水	木	金
紹介 予約	新患	北村		★中山	★中山	★今福
	午前 再来	★中山	★中森	★今福 北村		★中山
	午後 再来	★中山	★中森		★中山	★中山

(注) ★印: 部長

地域の先生方へのメッセージ

他院からの紹介患者さんを優先して診療しています。他院紹介枠は1~2ヶ月先まで埋まってしまうことが多いのですが、登録医紹介枠は数日~1週間先も空いていることが多く、地域連携室を介してご予約ください。

地域医療連携の取組

開業医・プライマリケア医との病診連携（神経症候テーマカンファランスなど）、横浜労災病院や急性期脳卒中病院と回復期リハビリテーション病院との病病連携にも力をいれています（Yokohama Stroke Net (YS-net)、神奈川脳卒中広域シームレス医療研究会など）。

# 脳卒中センター 脳神経血管内治療科

## 医師紹介



責任医師 副部長

戸村 九月 (とむら ながつき)

平成 19 年 産業医科大学 卒業

【専門分野】脳血管内治療、脳神経外科、救急医学

【学会専門医・認定医】

日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、日本救急医学会救急科専門医、日本医師会認定産業医

## 診療科紹介

脳神経血管内治療科は、脳梗塞に対する急性期再開通療法を中心とした緊急性の高い脳血管疾患に対応するため、平成 29 年度 7 月より新設されました。当院の脳神経内科医・脳神経外科医と協力し、24 時間体制で救急患者への対応を行っております。治療を開始して今年で 4 年目に入り、前述の急性期再開通療法に加え、くも膜下出血や未破裂脳動脈瘤に対するコイル塞栓術、内頸動脈狭窄症に対するステント留置術などの治療を行っています。その他の対象疾患として、脳腫瘍や頭頸部腫瘍に対する術前栄養血管塞栓術や脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻などがあり、適応を判断して治療を行っております。

急性期高度救急医療を実践する地域機関病院としての役割を果たすと共に、地域医療のニーズに応じて近隣の住民や医療機関から認知頂ける様に精進して参ります。

### 主な対象疾患

#### ■ 急性期血栓回収療法

心房細動に代表される不整脈を原因とした脳梗塞は心原性脳塞栓症と呼ばれ、脳主幹動脈閉塞の主要原因とされています。心原性脳塞栓症を発症した場合、多くは高度の麻痺や意識障害、発語ができない(失語症)といった重篤な神経症状が出現するため、可能な限り速やかに閉塞を解除しなければ、後遺症が残ることがあります。

近年、主幹動脈閉塞に対する治療に使用する種々の医療機器(デバイス)が開発されており、大口径の血栓吸引カテーテルとステントリトリーバーと呼ばれる金属製の網目が入った筒状のデバイスの 2 つに大別されます。前者は非常に柔軟な構造であるため、閉塞血管への到達性が高く、血栓を高率に吸引して閉塞を解除することが可能であり、後者は閉塞部分へ誘導して展開することで血栓を効率良く捕捉して回収することができるため、これらを単独あるいは組み合わせて使用することで、当施設では 80-90% の確率で再開通を得ることができます。

脳塞栓症に対して血栓回収療法が行われ、再開通に至った場合でも、必ずしも予後が伴わないことがあり、理由として発症から再開通までの時間経過の影響が大きいと考えられています。当院では治療マニュアルや院内フローチャートの作成と見直し、院内勉強会などを行なって、救急搬送から再開通療法まで速やかに行えるように日々取り組んで



ペナンブラシステム



ステントリトリーバー (Trepo XP)

## 脳卒中センター 脳神経血管内治療科

おります。現在、国内のガイドラインにおいても条件を満たせば発症から 24 時間までの閉塞血管への血栓回収療法が認められており、治療適応患者の拡大と予後改善が期待されています。

### ■ 脳動脈瘤コイル塞栓術

脳動脈瘤とは、脳血管の一部が膨らんでコブ（瘤）を形成している状態をいいます。膨らんで大きくなると、水風船のように壁が薄くなることにより、耐えられなくなった部位が破裂を起こし、くも膜下出血という重篤な病態を起こします。そのため、破裂動脈瘤に対しては急性期の再破裂を防ぐために、未破裂動脈瘤に対しては将来的な破裂を予防するために外科的治療が行われています。

高血圧症や喫煙などの動脈硬化因子を抑える内科的治療は、根本的治療となり得ないことが背景にあるため、脳動脈瘤に対しては外科的治療の適応を判断することが一般的です。外科的治療としては開頭クリッピング術とコイル塞栓術があり、当科で行なっている治療は後者となります。

コイル塞栓術は全身麻酔で行い、1mm に満たない細いカテーテルを動脈瘤内へ挿入してプラチナ製のコイルを充填していきます。安全に効果的な塞栓術を行うために、風船のついたカテーテルを動脈瘤の入り口に留置する（バルーンアシスト）、あるいは金属製のステントを動脈瘤の母血管に展開する（ステントアシスト）手法を症例に応じて検討します。コイル塞栓術は、開頭クリッピング術と比較して低侵襲であり手術時間が短いこと、また未破裂動脈瘤の治療においては退院後に普通の生活にすぐに復帰できることから、将来性の高い治療法と言えます。

### ■ 硬膜動静脈瘻に対する塞栓術

頭蓋内の血管には脳へ血流を送る内頸動脈と椎骨動脈、また顔面や頭皮に血流を送る外頸動脈があり、通常はそれぞれの組織に酸素を供給したのちに静脈洞と言われる硬膜で囲まれた血管（静脈）へ集束して心臓へ戻っていくという循環が存在しています。本疾患では、原因は複数ありますが、一部の静脈洞を形成する硬膜に向かう動脈が発達することで、動脈から静脈洞へ直接血流が流れ込む、『シャント』と呼ばれる状態を生じており、本疾患においては、この『シャント』の繋がりを「（硬膜動静脈）瘻」と表現しています。

『シャント』が形成されることで、連続した動脈と静脈の部分で、血圧に変化が生じますが、多くの場合、静脈洞から連続する静脈圧が上昇することが問題になります。静脈圧の上昇は静脈洞の狭窄や閉塞を生じるため、静脈洞を通じて流れにくくなった血流は元々の流れを逆流して、脳表の静脈などに流れます。その結果、脳表静脈の血流が鬱滞し、脳循環不全を引き起こしてしまうため、意識障害や手足の麻痺症状を生じ、時には脳出血を伴うことで後遺症を残したり、生命に関わる状態へ繋がってしまいます。

本治療の目的は、動静脈瘻を閉塞もしくは『シャント』血流量を減少させることで、脳表への血液の逆流を減らして出血や症状が出現するリスクを抑えることにあります。カテーテルを使用した血管内治療の他に、放射線治療や開頭手術ができる部位もありますが、近年ではカテーテル治療が安全性や速効性の観点から第一選択となっています。

血管内治療には、静脈洞へ向かって流入する動脈をコイルや液体塞栓物質で塞栓することにより『シャント』を減少あるいは消失を目的とした経動脈的塞栓術と、流出する静脈側をコイルで塞栓することによって危険な静脈の逆流を止める経静脈的塞栓術があります。いずれも治療直後からの効果が期待できる治療ですが、どちらの治療がより効果的であるかは、『シャント』を形成している部位によって異なり、また選択した治療が根治的な治療となりうるかは、流入する動脈の本数や動脈の役割などによって異なります。

- 上記以外にも対象疾患は様々ですが、詳細は当院脳神経外科のHPを参照頂ければ幸いです。

<https://www.yokohamah.johas.go.jp/medical/specialty/neurosurgery/>

## 主な実績

### 主な治療と診断撮影実績

	平成 30 年度 (2018.4 ~ 2019.3)	令和元年度 (2019.4 ~ 2020.3)	令和 2 年度 (2020.4 ~ 2021.3)
急性期血栓回収療法	25 件	35 件	27 件
頭蓋内血管形成術	6 件	2 件	2 件
脳動脈瘤コイル塞栓術 (破裂・未破裂)	20 件	28 件	25 件
硬膜動静脈瘻、脳動静脈奇形塞栓術	6 件	4 件	10 件
頸動脈ステント留置術	10 件	20 件	19 件
その他	6 件	13 件	9 件
治療症例 累計	73 件	102 件	92 件
診断血管撮影	199 件	220 件	163 件

## 外来案内

毎週金曜日の午前中に紹介枠を確保しており、午後にも外来通院枠を設けております。予約センター (045-474-8882) からご予約下さい。

## 脳卒中センター 脳神経外科



### 医師紹介



副院長  
脳神経外科部長

**周藤 高** (しゅうとう たかし)

平成元年 佐賀医科大学 卒業

【専門分野】脳定位放射線治療、脳腫瘍手術、脳血管障害手術

【学会専門医・認定医】

日本脳神経外科学会指導医、日本脳卒中の外科学会技術指導医、  
日本脳卒中学会指導医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
副部長 まつなが しげお 松永 成生	平成 10 年	横浜市立大学	脳定位放射線治療 神経内視鏡手術	日本脳神経外科学会指導医 日本脳卒中の外科学会技術指導医 日本脳卒中学会指導医 日本神経内視鏡学会認定医	
医師 ふくやま りゅうたろう 福山龍太郎	平成 26 年	横浜市立大学	脳神経外科一般	日本脳神経外科学会専門医	
	ふじい けいた 藤井 啓太	平成 28 年	金沢大学	脳神経外科一般	
	まつもと しゅうたろう 松本修太郎	平成 28 年	産業医科大学	脳神経外科一般	
	かみがわ みさき 鴨川 美咲	平成 30 年	秋田大学	脳神経外科一般	

### 診療科紹介

脳神経外科では頭蓋内疾患に対する手術と放射線治療を行っています。一般当直以外に神経系として神経内科と脳神経外科とのいずれかが毎日当直し、くも膜下出血や外傷をはじめとして神経疾患一般に対応しています。くも膜下出血にも 24 時間対応し、原則として早期の積極的治療を行っています。当科では開頭術および血管内治療による塞栓術の両方が可能であり、症例ごとに適切な治療法を選択しています。くも膜下出血や未破裂脳動脈瘤等の血管障害や頭部外傷に加え、脳腫瘍症例が多いことが当科の大きな特徴です。頭蓋底腫瘍や悪性脳腫瘍などの治療困難な腫瘍に対しても、手術とともに最新の高精度放射線治療を組み合わせた治療を行っています。

当院は脳定位放射線治療装置ガンマナイフを有し、これは当科の大きな特色といえます。適応疾患は聴神経腫瘍、髄膜腫、転移性脳腫瘍、神経膠腫、下垂体腫瘍、三叉神経鞘腫、脳動静脈奇形、三叉神経痛など多岐にわたっています。当院のガンマナイフ治療件数は 2021 年 4 月に総数 13,000 例を超えました。更に当院では新たな定位放射線治療装置であるノバリスの最新機種「ノバリス STx」が日本第 1 号機として 2014 年 4 月から稼働しています。ノバリス STx は定位放射線照射専用が開発されたリニアック照射装置です。多方向から照射される放射線をビームごとに強度を変化させて照射する強度変調照射 (IMRT) などの多様な治療計画を可能とするソフトウェアと、精度の高い照射技術、赤外線と X 線の監視システムによる体動追跡、微修正機能などのハードウェアが最適に融合した非常に優れた装置と言えます。従来から行っているガンマナイフ治療に加えノバリス STx での照射を開始することにより数ミリ大の微小病変から 3 センチを超えるような比較的大きな病変までの放射線治療が可能

となり、開頭手術と同様の治療効果が期待され、かつ副作用や体の負担が極めて少ない最先端の治療を提供できると考えております。当科では転移性脳腫瘍をはじめとするあらゆる良・悪性脳腫瘍に対して、手術・化学療法・ガンマナイフやノバリス STx による定位放射線治療や IMRT、全脳照射等を駆使した集学的治療が可能です。

### (1) 脳腫瘍

脳原発腫瘍、転移性脳腫瘍のいずれにも積極的な治療を行っています。当科では多くの脳腫瘍に対する開頭手術を行っており、脳腫瘍症例が非常に多いことが特徴の一つです。開頭手術に加え、リニアックやガンマナイフといった放射線治療、抗腫瘍剤による化学療法を適宜組み合わせ、カンファレンスの中で各患者さんについて最も適切な治療法を決定しています。下垂体腫瘍に対しては、開頭手術よりもむしろ内視鏡下経蝶形骨洞腫瘍摘出術により腫瘍の全摘出を目指し、更に摘出困難な例に対してはガンマナイフ治療を組み合わせ、より高い治療効果を得ています。なお、ガンマナイフは当科の持つ非常に有力な武器であることに間違いありませんが、我々は安易にガンマナイフ治療に委ねてしまうことは厳に慎むべきと考えています。脳腫瘍治療の原則は手術による摘出であり、可能な限り手術により全摘出を目指します。

### (2) 脳血管障害

脳出血や脳梗塞に対しては神経内科とともに治療にあたります。クモ膜下出血に対しては患者さんの状態が許せば可能な限り急性期に手術（クリッピング術）を行っていますが、必要に応じてコイル塞栓術も考慮します。未破裂脳動脈瘤の患者さんに対しては、患者さんごとに動脈瘤の部位・大きさ・形状、年齢や全身状態等を慎重に判断し、患者さんとも充分にお話をしながら方針を決定しています。

また、頸部頸動脈狭窄症も増加傾向にあり、当科では開院当初より内膜剥離術を積極的に行っていますが、全身麻酔のリスクが高い患者さんにはステント留置（CAS）を選択しています。

### (3) 頭部外傷

頭部外傷の患者さんは緊急性が高いことが多く、随時対応しています。開頭術による血腫除去や外減圧術等の外科的処置のみならず、ICUにおける集中管理や早期からのリハビリを行っています。また、慢性硬膜下血腫症例も多く、大部分の患者さんが1週間程度で退院されています。

### (4) 機能的脳神経外科

顔面痙攣や三叉神経痛に対する手術も行っています。これらの疾患は頭蓋内で血管と神経が接触することにより起こることがわかっています。このため神経と血管の接触部位を注意深く確認して両者を引き離す微小血管減圧術を行っています。この手術においては合併症として手術側の聴力低下のリスクがあります。当科ではこのリスクをできるだけ軽減するために本手術の際には ABR（聴性脳幹反応）のモニタリングを行っています。

### (5) その他

先天奇形やくも膜下出血後、あるいは原因の明らかなでない特発性の水頭症に対してはシャント手術を行っています。治療可能な痴呆症の原因疾患として知られる特発性正常圧水頭症に対しては神経内科と協力しながら積極的に治療しています。当科では年間 20 例以上の水頭症に対するシャント手術を行っています。

いずれの疾患の治療においても、患者さんご本人やご家族のインフォームド・コンセントを重視し、治療方針を決定しています。

### (6) 脳定位放射線治療

当院は頭蓋内病変に対する定位放射線（ピンポイント照射）治療装置として、ガンマナイフとノバリス STx の 2 台を有しています。

ガンマナイフは半球状に配置された 192 個のコバルト線源から出たガンマ線を頭蓋内病変に極めて正確に集束し高線量として照射します。病変周囲の脳実質や血管などには照射線量は極めて少

## 脳卒中センター 脳神経外科

なく、放射線の影響が最小限になります。従来の手術では到達困難な脳深部や危険な部位でも治療が可能です。なお、現在当科ではフレーム固定の際は鎮静下に無痛で行っておりますので、固定時の痛みを感じることはありません。

ノバルリス STx は定位放射線照射専用を開発されたりニアック照射装置です。多方向から照射される放射線をビームごとに強度を変化させて照射する強度変調照射 (IMRT) などの多様な治療計画が可能です。患者さんの頭部を固定する際のヘッドピンは不要で、マスクによる非侵襲的な固定で照射が可能です。治療適応としては腫瘍体積の大きな病変 (転移性脳腫瘍や髄膜腫、下垂体腺腫、頭蓋咽頭腫などの良性腫瘍) や神経膠腫のようなびまん性に浸潤する腫瘍などが対象となります。ノバルリス STx によりこれらの病変に対して複数回での分割照射が可能となり、高率な腫瘍制御効果が期待できます。

### 主な実績

#### 2020 年手術実績

脳腫瘍摘出術	56 件
開頭クリッピング術	16 件
脳動静脈奇形摘出術	3 件
頸動脈内膜剥離術	2 件
開頭血腫除去術等	10 件
頭部外傷に対する手術	9 件
バイパス手術	2 件

慢性硬膜下血腫	49 件
水頭症に対する手術	34 件
脳神経減圧術	17 件
血管内手術	71 件
脳定位放射線治療	606 件
その他	38 件

### 外来案内

診療科	月	火	水	木	金
午前	☆松永 松本	—	○周藤 藤井	—	福山
午後	(ガンマナイフ) ☆松永	—	(ガンマナイフ) ○周藤	—	(ガンマナイフ) ○周藤

(注) ○印: 副院長 ★印: 部長 ☆印: 副部長

一般外来は月・水・金曜日で原則として午前中ですが、緊急を要する場合は随時受け付けております。火・木曜日は手術日のため一般外来診療は行っていません。

ガンマナイフやノバルリス STx による放射線治療に関するご紹介は、午後の「脳定位センター紹介枠」でのご予約をお願いいたします。いずれの紹介枠も概ね一週間以内には予約が可能となっております。万が一、予約可能日までお待たせしてしまう場合や緊急の際には、遠慮なく周藤 (部長) あるいは松永 (副部長) までお電話ください。

### 地域医療連携の取組

地域の先生方からのご紹介につきましては、24 時間体制で対応させていただいております。脳血管障害の患者さんは神経内科の先生方と協力して治療にあたっています。

# 脳定位放射線治療センター



副院長  
脳定位放射線治療センター長

**周藤 高** (しゅうとう たかし)

平成元年 佐賀医科大学 卒業

【専門分野】 脳定位放射線治療、脳腫瘍手術、脳血管障害手術

【学会専門医・認定医】

日本脳神経外科学会指導医、日本脳卒中の外科学会技術指導医、  
日本脳卒中学会指導医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
副部長 まつなが しげお 松永 成生	平成 10 年	横浜市立大学	脳定位放射線治療 神経内視鏡手術	日本脳神経外科学会指導医 日本脳卒中の外科学会技術指導医 日本脳卒中学会指導医 日本神経内視鏡学会認定医	
医師 ふくやまりゅうたろう 福山龍太郎	平成 26 年	横浜市立大学	脳神経外科一般	日本脳神経外科学会専門医	
	ふじい けいた 藤井 啓太	平成 28 年	金沢大学	脳神経外科一般	
	まつもと しゅうたろう 松本修太郎	平成 28 年	産業医科大学	脳神経外科一般	
	かもがわ みさき 鴨川 美咲	平成 30 年	秋田大学	脳神経外科一般	

## 診療科紹介

定位放射線治療とは、治療を必要とする病変（腫瘍や脳動静脈奇形）に対して多くの方向から微弱な放射線を集中させて照射し、結果的に病変部に集中した放射線照射を行う方法です。従来からの一般的な放射線治療に比較し、周囲の正常組織にあたる線量を極力減少させることが可能となる、いわゆる「切らずに治すピンポイントの放射線治療」です。病変が小さい場合には一回だけの照射で済む場合も多くありますが、病変が大きい時や、病変の近くにとっても重要な神経組織（視神経や脳幹など）がある場合には複数回に分けて照射する（分割照射）こともあります。

いずれにしても定位放射線治療とは、周囲脳組織の被爆を極力少なくしつつ病変には強い放射線を照射する技術であり、理想的な放射線治療と言えます。もちろん、定位放射線治療ではなく、従来からの一般的な放射線治療が望ましいこともあります。

### 脳定位放射線治療センターの治療方針

定位放射線治療は、「切らずに治すピンポイント治療」です。手術をしないで放射線治療だけで治せれば、それが一番良いことは明かです。脳定位放射線治療センターは以下に述べるガンマナイフ、ノバリス STx という高精度定位放射線治療装置 2 台を有するとともに、当院脳神経外科は様々な最新の手術支援システムを用いた直達手術（全身麻酔下に行う開頭手術）も行っています。つまり切らずに治す治療のみならず、切ることが必要な治療も数多く行っており、放射線治療・手術の両方において多くの治療経験とノウハウを有しています。切らずに治すという方針が、長期的に考えて患者さんにとってベストであるとは限りません。脳定位放射線治療センターでは医学的に様々な観点から検討し、患者さんにとって最良と思われる治療方針を提示いたします。

また、転移性脳腫瘍の患者さんにおきましては、当院のがん治療センターと緊密な関係を保ち診療

## 脳定位放射線治療センター

科の枠を越えた横断的な体制のもと、適宜複数診療科の専門医と相談しつつ治療方針を検討します。

### 脳定位放射線治療センターの放射線治療装置

#### ガンマナイフ

ガンマナイフは半球状に配置された 192 個の線源（コバルト 60）から出たガンマ線を病変部に極めて正確に集束し高線量として照射します。192 個から出るガンマ線は一つ一つは微弱でこれらのビームが集中して高線量となり病巣に正確に当たるようになっており、誤差はミリメートル以下です。192 本のガンマ線のビームがレンズの焦点のように一点に集まります。したがって、病変周辺の脳実質や血管などには照射線量は極めて少なく、放射線の影響を最小限に抑えることが可能です。従来の手術では到達困難であった脳深部や危険な部位でも安全に治療できるようになりました。治療に際しては、レクセルフレームと呼ばれる特殊なフレームを局所麻酔下に頭部に装着して治療します。また、フレームを装着しないマスクでの治療も可能です。

#### ノバリス STx

ノバリス STx は定位放射線照射専用開発されたリニアック照射装置です。多方向から照射される放射線をビームごとに強度を変化させて照射する強度変調照射（IMRT）などの多様な治療計画を可能とするソフトウェアと、精度の高い照射技術、赤外線と X 線の監視システムによる体動追跡、微修正機能などのハードウェアが最適に融合した非常に優れた装置と言えます。頭蓋内病変の治療においては患者さんの頭部を固定する際のヘッドピンは不要で、マスクによる非侵襲的な固定で照射が可能です。治療適応としては腫瘍体積の大きな病変（転移性脳腫瘍や髄膜腫、下垂体腺腫、頭蓋咽頭腫などの良性腫瘍）や神経膠腫のようなびまん性に浸潤する腫瘍などが対象となります。ノバリス STx によりこれらの病変に対して複数回での分割照射が可能となり、高率な腫瘍制御効果が期待できます。

### 主な実績

#### 2020 年診療実績

ガンマナイフによる定位放射線治療		519 件
脳腫瘍	転移性脳腫瘍	342 件
	聴神経腫瘍	37 件
	その他	75 件
脳血管障害	脳動静脈奇形	45 件
	硬膜動静脈瘻その他	2 件
三叉神経痛		5 件
その他		15 件

ノバリス STx による定位放射線治療		87 件
脳腫瘍	転移性脳腫瘍	61 件
	神経膠腫	15 件
	髄膜腫	4 件
	その他	7 件

### 外来案内【紹介制】

当センターの外来診療は月・水・金曜日（14時～16時30分）に3階の脳神経外科外来（A6ブース）で行っています。原則として電話による受診予約をお願い致します。（当院予約センター：電話番号：045-474-8882にて承っております）その際は、「脳定位センター紹介枠」という枠での予約をお願いします。この専門外来では、ガンマナイフに限らずノバルリス STx も含めて各患者さんにとって最適な治療を検討しています。概ね一週間以内には予約が可能となっております。万が一、予約可能日までお待たせしてしまう場合や緊急の際には、遠慮なく周藤（部長）あるいは松永（副部長）までお電話ください。

### 地域医療連携の取組

地域の先生方からのご紹介につきましては、24時間体制で対応させていただいております。

# 消化器病センター 消化器内科・内視鏡部



## 医師紹介



**副院長**  
消化器病センター長  
内視鏡部長

**永瀬 肇** (ながせ はじめ)  
昭和 61 年 横浜市立大学 卒業  
【専門分野】 消化器全般  
【学会専門医・認定医】  
日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、  
日本内科学会認定医・研修指導医、日本肝臓学会専門医・指導医  
日本カプセル内視鏡学会指導医、社会医学系専門医・指導医



**消化器内科部長**

**関野 雄典** (せきの ゆうすけ)  
平成 17 年 山梨大学 卒業  
【専門分野】 消化器全般、胆膵系内視鏡診断・治療、超音波内視鏡診断・治療  
【学会専門医・認定医】  
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、  
日本肝臓学会肝臓専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、  
日本胆道学会指導医、日本膵臓学会指導医、日本超音波医学会超音波専門医

消化器病センター

氏名		卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
健康診断部 副部長	たに谷 理恵	平成 8 年	横浜市立大学	消化器全般	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本肝臓学会肝臓専門医 日本人間ドッグ学会人間ドッグ認定医 日本医師会認定産業医
消化器内科 副部長	うちやま 内山 詩織	平成 19 年	横浜市立大学	消化器全般 消化管治療内視鏡	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本消化管学会胃腸科専門医 日本カプセル内視鏡学会認定医・指導医
内視鏡部 副部長	かなざわ 金沢 のりよし 憲由	平成 19 年	秋田大学	消化器全般 消化管治療内視鏡	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本肝臓学会肝臓専門医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
こみや やすひこ 小宮 靖彦	平成 22 年	聖マリアンナ 医科大学	消化器全般 消化器内視鏡	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医
たかやなぎ たくや 高柳 卓矢	平成 25 年	浜松医科大学	消化器全般	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医
いながき じゅんた 稲垣 淳太	平成 28 年	昭和大学	消化器全般	
かすが のりき 春日 範樹	平成 28 年	横浜市立大学	消化器全般	
せりざわ かなで 芹澤 奏	平成 28 年	千葉大学	消化器全般	
いまい ゆりか 今井友里加	平成 29 年	福島県 医科大学	消化器全般	
じょうの つむぎ 城野 紡	平成 30 年	横浜市立大学	消化器全般	
にへい しんいち 二瓶 真一	平成 30 年	岩手医科大学	消化器全般	
おだ たかゆき 小田 貴之	平成 31 年	岡山大学	消化器全般	
さいき ゆみ 佐伯 優美	平成 31 年	東邦大学	消化器全般	
はやし あきみち 林 映道	平成 31 年	横浜市立大学	消化器全般	
ちぐち たく 地口 学	平成 9 年	山形大学	消化器全般 消化管間質腫瘍 (GIST) 専門外来	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化管学会胃腸科専門医 日本救急医学会救急科専門医 日本プライマリ・ケア連合学会認定医 日本内科学会認定総合内科専門医 日本医師会認定産業医 がん治療認定医

## 診療科紹介

消化管、肝胆膵のすべての消化器系にわたる疾患を扱い、急性期治療から高度医療に至るまで高いレベルの診療を目指しています。

食道・胃・大腸の早期がんに対する内視鏡的切除治療は粘膜下層剥離術 (ESD) を基本とし、治療件数は市内の一般病院の中で上位クラスであり、重篤な治療合併症もほとんどなく、安全・確実な治療を実践しています。

胆膵系においては、内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査 (ERCP) を基本とし、胆管結石、膵石に対する十二指腸乳頭筋切開術 (EST)、大口徑バルーン拡張術 (EPLBD) などを施行、胆管狭窄症例や胃術後などの治療困難例では、超音波内視鏡 (EUS) 下胆管穿刺ドレナージやステント留置など、極めて高度な治療を行っています。ERCP、EUS 下穿刺生検 (EUS-FNA) を含めた EUS 検査とも年間約 700 件と、東京、神奈川の病院の中でも最上位クラスの件数を誇っており、早期膵がんの診断に力を入れています。

ヘリコバクター・ピロリ除菌治療、C 型肝炎に対する直接作用型経口抗ウイルス薬 (DAA) 治療、B 型肝炎に対する核酸アナログ製剤経口治療、逆流性食道炎、炎症性腸疾患、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) などほとんどの消化器系疾患における診断・治療も行っていきます。

巨大肝嚢胞、原発性肝がん、放射線性直腸炎などの治療に困る症例も、経皮的穿刺治療やアルゴンブ

## 消化器病センター 消化器内科・内視鏡部

ラズマ凝固法（APC）など、良好な治療成績をあげています。

イレウス、急性胆嚢炎などは治療開始初期から外科と綿密な連携を取って、外科的治療が必要な場合には遅滞なく対応できるようにしています。

進行がんに対する化学療法、放射線療法においては、腫瘍内科や放射線治療部と密接に連携し、肝がんの肝動脈化学塞栓療法や出血性胃十二指腸疾患の内視鏡治療難渋例では放射線 IVR 科と密接に連携し、それぞれ最適な治療を行っています。

以上のように、一般的な消化器疾患から救急症例、高度治療症例まで、あらゆる症例を積極的に受け入れて地域医療支援病院としての貢献に努めています。

### 施設認定

- 日本消化器病学会
- 日本消化器内視鏡学会
- 日本カプセル内視鏡学会
- 日本肝臓学会
- 日本膵臓学会
- 日本胆道学会

### 主な実績

#### 臨床実績

	件数			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
上部内視鏡検査	5,307	5,392	5,275	5,354
下部内視鏡検査	3,134	3,184	3,241	3,295
逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）	523	607	705	689
超音波内視鏡検査（EUS）	542	661	761	736
内視鏡的ポリープ切除術 粘膜切除術（EMR）	580	542	617	513
内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）	95	94	119	122
食道静脈瘤結紮術、硬化療法	12	9	8	2
消化管ステント留置術	20	18	16	7
超音波内視鏡下吸引針生検（EUS-FNA）	76	93	111	91
超音波内視鏡下治療（interventional EUS）	8	10	24	26

外来案内

		月	火	水	木	金
紹介予約	新患	稲垣 春日 小田	★関野 小宮 佐伯	☆内山 高柳 今井	○永瀬 城野	☆金沢 二瓶 林
	午前 再診	☆内山	○永瀬	稲垣	春日	☆谷
	午後 再診	★関野 今井 城野	☆金沢 高柳 小田	佐伯 林 地口	二瓶	☆谷 小宮

(注) ○印：副院長兼部長 ★印：部長 ☆印：副部長

受付時間 8:15～11:00 (予約の方は、予約時間に合わせて受付いたします)

※手術・緊急呼び出し等により予告なく担当医に変更のある場合があります。ご了承ください。

※初診の方では原則的に診察医を指定することはできません。ご了承ください。

当科ではすべての医師が消化器系全般の疾患に対応します。

月曜日～金曜日まで、部長、または副部長が初診外来を担当・指導しており、どの医師が診療にあたってもしっかりとした対応ができる体制を整えていますので、曜日にこだわらずご紹介頂くようお願いしております。専門性の高い対応が必要な場合には、医師の専門性に合わせて診療担当医を調整させて頂くことがあります。

消化管間葉系腫瘍 (GIST) においては、水曜日午後の地口医師が神奈川県でも屈指の症例数を経験し極めて専門性が高いため、ご紹介頂く場合月～金曜日 9:00～16:00 に消化器内科外来看護師にお問合せ頂き、受診予定日をご相談ください。

紹介初診枠は随時枠数を調整し1週間以内に予約枠が取得できるように心がけています。緊急対応が必要な場合には、病状に応じて消化器内科救急担当医師か、救急部にて対応致します。医師の診療状況により対応が異なるため、日中は消化器内科外来、17:00 以後の夜間や休日は救急外来にご連絡頂けると幸いです。

地域医療連携の取組

状態が安定した患者さんは診療所の先生に継続治療をお願いしており、症例毎に適切な診療連携を行っております。これにより、当院で対応すべき急性期症例や診断・治療困難な初診症例を少しでも多く受け入れる体制を取っています。

「消化器病センターカンファレンス」を開催し、消化器内科と外科からの症例提示やトピックス、特徴的診療などをご紹介しております。開催に先立って登録医の先生方を含めて広くご案内させて頂いておりますので、是非ご参加ください。

# 消化器病センター 外科・消化器外科



## 医師紹介



### 外科部長

**篠藤 浩一** (しのとう こういち)

平成 4 年 千葉大学 卒業

【専門分野】 消化器外科一般、肝胆膵手術

【学会専門医・認定医】

日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本肝臓学会専門医、日本肝胆膵外科高度技能指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本腹部救急学会暫定教育医、日本腹部救急医学会救急認定医



### 消化器外科部長

**岡崎 靖史** (おかざき やすし)

平成 5 年 弘前大学 卒業

【専門分野】 消化器外科一般、内視鏡外科手術

【学会専門医・認定医】

日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医 (消化器・一般外科領域)、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本腹部救急医学会認定医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
消化器外科 チーフコンサルタント おざき まさひこ 尾崎 正彦	昭和 52 年	千葉大学	消化器外科 一般 肝胆膵手術	日本外科学会指導医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器病学会指導医	
医 師	なるもと そういち 成本 壮一	平成 13 年	千葉大学	消化器外科 一般 肝胆膵手術	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本肝臓学会専門医・暫定指導医
	はなおか としはる 花岡 俊晴	平成 19 年	慈恵 医科大学	消化器外科 一般	日本外科学会専門医
	さわだ なおと 澤田 尚人	平成 23 年	千葉大学	消化器外科 一般	日本外科学会専門医
	りゅうざき たかひろ 龍崎 貴寛	平成 26 年	佐賀大学	消化器外科 一般	日本外科学会専門医 検診マンモグラフィ読影認定医
	ひ けしゅうたろう 比毛修太郎	平成 29 年	新潟大学	消化器外科 一般	

## 診療科紹介

当科では消化器疾患、腹部救急疾患の診断と治療を主に扱っています。特に手術を必要とする消化器がん（食道がん、胃がん、大腸がん、直腸がん、肝胆膵悪性腫瘍）、急性腹症（急性虫垂炎、急性胆嚢炎、消化管穿孔、腸閉塞など）および腹部外傷がその中心となっています。

がん診療連携拠点病院として適切にがんを診断し、消化器病センターカンファレンスを通して、消化器内科と合同で最終的な治療方針を決定して行きます。内視鏡的治療から鏡視下手術、開腹手術に至るまで、患者さんに最も適した根治性と QOL（Quality of Life）の得られる治療法を選択していきます。近年、キズの小さな低侵襲手術である腹腔鏡手術を各領域で積極的に取り入れており、早期退院、早期社会復帰に役立てています。全ての消化器症に対する高難度手術や難治性のがん（特に肝胆膵悪性腫瘍）に対する超拡大手術（血管合併切除兼血行再建術）も麻酔科等との協力により施行可能な体制を整えており、集中治療室を活用することで、かなり難しい手術でも安全に術後管理を行うことができます。また手術前後に腫瘍内科、放射線科と協力して、化学療法や放射線療法などの周術期補助療法を適切に行い、がんに関する集学的治療を実践しております。

腹部救急疾患では、救急部を中心とした 24 時間診療体制により、日々迅速に診断、治療を行っています。手術後の合併症に対する速やかな対応も可能であり、地域に根ざした総合的な外科診療体制を整えています。

当院の特徴として併存疾患を持たれている患者さんが多く来院されますが、各診療科と綿密な連携をとりながら各個人の病状に応じた最適な医療を提供するテーラーメイド治療を行うことができますので、安心してご紹介ください。

## 施設認定

当院は以下の学会の認定施設を取得しております。

- 日本外科学会
- 日本消化器外科学会
- 日本食道学会
- 日本腹部救急医学会
- 日本消化器病学会

消化器病センター 外科・消化器外科

主な実績

主な疾患	件数 (1～12月)				
	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
食道がん	6 (2)	4 (3)	8 (6)	7 (5)	3 (3)
胃がん	57 (21)	50 (13)	58 (13)	42 (15)	40 (13)
結腸がん	61 (26)	73 (49)	59 (32)	88 (36)	81 (31)
直腸がん	26 (14)	43 (29)	45 (33)	45 (18)	33 (18)
肝がん	18	13	26	17	11
膵がん	11	17	13	26	4
胆道がん	1	12	8	10	4
胆石症	163 (132)	165 (121)	108 (91)	157 (108)	128 (93)
腸閉塞	52 (3)	22 (2)	27 (3)	25 (0)	36
虫垂炎	76 (62)	63 (56)	72 (61)	65 (59)	60 (43)
鼠径ヘルニア	172 (64)	159 (50)	159 (45)	141 (29)	114 (16)
その他	107	128	80 (9)	118	99 (12)
総手術件数	750	749	663	741 (270)	613 (229)

( ) 腹腔鏡・胸腔鏡下手術数

外来案内

	月	火	水	木	金
午前	★岡崎 花岡	※尾崎 成本 龍崎	★岡崎 比毛	★篠藤 澤田	★篠藤 花岡

(注) ※：チーフコンサルタント ★印：部長

※新患外来は月曜～金曜まで毎日行っています。原則は紹介予約制ですが、お急ぎの症例は当日診察も行います。

※手術・救急対応等で予告なく担当医に変更のある場合がありますので、ご了承ください。

地域医療連携の取組

消化器病センターを設置しており、消化器内科と同じ部署で外来診療を行っております。手術適応が分からない症例など消化器病センター宛てにご紹介いただければ、こちらで判断させて頂き各診療科で診察していきます。

診療内容の他、地域の診療科の先生方にも参加頂く、消化器病センターカンファレンスを不定期で開催しております。当院における消化器系診療の取り組み、トピックス、紹介頂いた症例の報告などを行います。また、消化器病センター・ニュースを発行し、新しいスタッフの紹介、先端的な診療の紹介などを行ってまいります。

## 医師紹介



院長  
運動器センター長

**三上 容司** (みかみ ようじ)

昭和 58 年 東京大学 卒業・医学博士

【専門分野】

末梢神経外科、腕神経叢外科、マイクロサージャリー、手外科、機能再建外科

【学会専門医・認定医】

日本整形外科学会専門医、日本臨床倫理学会上級臨床倫理認定士、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本手外科学会認定手外科専門医



副院長  
整形外科部長  
脊椎脊髄外科部長

**三好 光太** (みよし こうた)

昭和 62 年 山梨大学 卒業・医学博士

【専門分野】

脊椎・脊髄外科、脊髄脊椎腫瘍、小児脊椎、側弯、マイクロサージャリー

【学会専門医・認定医】

日本整形外科学会専門医、日本脊椎脊髄病学会認定指導医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医



運動器外傷センター長

**小林 誠** (こばやし まこと)

平成元年 東京大学 卒業・医学博士

【専門分野】

四肢骨折、最小侵襲骨接合

【学会専門医・認定医】

日本整形外科学会専門医



手・末梢神経外科部長

**山本 真一** (やまもと しんいち)

平成 2 年 東京大学 卒業・医学博士

【専門分野】

末梢神経外科、マイクロサージャリー、手外科、脊椎・脊髄外科、運動器外傷

【学会専門医・認定医】

日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本手外科学会認定手外科専門医、日本整形外科学会運動器リハビリテーション医

## 運動器センター・運動器外傷センター 整形外科、手・末梢神経外科、脊椎脊髄外科、人工関節外科

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
整形外科副部長 人工関節外科 副部長 こいずみ やすひこ 小泉 泰彦	平成 14 年	山梨大学	関節外科 人工関節外科 リウマチ治療	日本整形外科学会専門医 日本リウマチ学会専門医 日本人工関節学会認定医	
整形外科副部長 脊椎脊髄外科 副部長 たけしたゆうじろう 竹下祐次郎	平成 14 年	京都大学	脊椎・脊髄外科 小児脊椎・側弯 脊柱変形	日本整形外科学会専門医 日本脊椎脊髄病学会認定指導医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医	
整形外科副部長 脊椎脊髄外科 副部長 さいき ふみこ 齊木 文子	平成 17 年	信州大学	脊椎・脊髄外科 脊椎内視鏡 外傷・一般整形	日本整形外科学会専門医 日本脊椎脊髄病学会認定指導医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医	
医 師	かわばた けんすけ 川畑 謙介	平成 18 年	群馬大学	関節外科 人工関節外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定リウマチ医
	ささ きかつゆき 佐々木克幸	平成 24 年	北海道大学	脊椎・脊髄外科 外傷・一般整形	日本整形外科学会専門医
	すなやま ともみ 砂山 智未	平成 26 年	岐阜大学	脊椎・脊髄外科 外傷・一般整形	日本整形外科学会専門医
	きりやま まなみ 桐山 真美	平成 26 年	山口大学	外傷・一般整形	
	こまつ なおと 小松 直人	平成 28 年	浜松医大	脊椎・脊髄外科 外傷・一般整形	
	きはら そう 木原 走	平成 29 年	岡山大学	脊椎・脊髄外科 外傷・一般整形	
	さとう としみつ 佐藤 寿充	平成 29 年	札幌医大	外傷・一般整形	
	い だ ひろし 井田 寛	平成 30 年	愛知医大	脊椎・脊髄外科 外傷・一般整形	
	うえだ おねたか 上田 宗貴	令和元年	東京大学	外傷・一般整形	
	やまぐち りさ 山口 莉沙	令和元年	産業医大	外傷・一般整形	

## 診療科紹介

整形外科は、四肢・骨盤や脊椎・脊髄（運動器）の疾患・外傷を扱う診療科です。四肢の運動器とは、肩・肘・手・指・股・膝・足などの関節、これらを支えている骨・軟骨・筋肉・神経・血管などを指します。脊椎は、体を支えている背骨であり、背骨の障害や背骨の中を通っている脊髄や神経根も対象としています。

脊椎脊髄外科は、整形外科の分野のなかでも、高度な技術と専門性を要求される分野で、主として背骨（脊椎）および背骨の中を通る神経（脊髄）の疾患、外傷、腫瘍を取り扱います。手・末梢神経外科（平成 26 年 4 月より名称変更）では、疾患や外傷による上肢（肩・肘・手・手指）機能障害に対する機能再建を図るべく、専門的診療を行っています。人工関節外科では、変形性関節症・関節リウマチ・骨壊死など関節疾患治療に重点を置いています。

当科では現在 17 名の医師が、診断・治療にあたりますが、特に脊椎・脊髄、手・末梢神経、股・膝関節、リウマチの疾患や外傷が非常に多く、それぞれの専門医が治療にあたります。頸髄症、頸椎後縦靱帯骨化症、脊髄腫瘍、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腕神経叢損傷、肘部管症候群、手根管症候群、変形性股関節症、変形性膝関節症、膝半月板損傷、リウマチ性関節疾患などが当科の非常に多い代表的疾患です。また、労働災害・交通事故などに伴う外傷は多くが四肢・骨盤・脊椎の外傷を合併しており、運動器外傷センター（平成 26 年 4 月より開設）として対応する緊急手術が多いのも特徴です。

いずれの分野も、十分な説明・低侵襲・高い安全性を心がけ、早期離床・早期機能回復に努めています。

当科では、急性期病院として手術を要する疾患・外傷をその主たる治療対象としており、ロコモティブシンドローム・骨粗鬆症など慢性疾患で薬物療法・理学療法の対象となる方や、外傷であっても手術を要しない場合、近隣の医療機関と連携を図った上で、治療を行っています。

また、平成20年1月からは午前の「整形外科一般外来」に加え、午後には「脊椎脊髄外科」、「手・末梢神経外科」、「リウマチ・人工関節外科」の専門外来を開設しました。これらの専門外来は、初診からそれぞれの専門医のみが診察にあたり、午前の一般整形外科外来と同様に予約が可能です。さらに三好副院長・整形外科部長・脊椎脊髄外科部長については指名初診予約が可能です。

## 施設認定

- 日本整形外科学会認定医制度研修施設
- 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設
- 日本手外科学会基幹認定施設

## 主な実績

### 手術実績

	平成29年	平成30年	令和元年
整形外科年間総手術件数	2,163	2,016	1,993
脊椎脊髄外科	398	454	528
頸椎	86	120	134
胸椎	67	20	66
腰椎	213	314	328
靱帯骨化症	13	30	22
脊髄・脊椎腫瘍	22	28	24
側弯症・脊柱変形	35	27	37
脊椎外傷	29	35	62
インストルメンテーション	196	147	225
脊椎内視鏡手術	37	80	71
末梢神経外科	52	53	61
腕神経叢損傷	7	13	10
手根管症候群	29	21	25
肘部管症候群	4	4	6
手外科	334	324	291
人工関節外科	181	181	187
人工股関節置換	84	69	80
人工膝関節置換	95	110	106
人工肘・指関節置換	2	2	1
人工骨頭置換	55	55	46
関節外科・スポーツ整形外科			
関節鏡視下手術	20	34	2

運動器センター・運動器外傷センター 整形外科、手・末梢神経外科、脊椎脊髄外科、人工関節外科

入院治療実績

(2018年度、全国DPC対象4764病院統計より)

	年間入院治療患者数	神奈川県内順位	全国順位
頸部脊柱管狭窄症	131人	2位	15位
腰部脊柱管狭窄症	494人	1位	10位
椎間板ヘルニア	152人	3位	25位
脊椎脊髄腫瘍	28人	1位	15位
脊椎変形(側弯・脊柱変形)	68人	3位	17位
頸椎頸髄損傷	36人	3位	15位
上肢末梢神経麻痺	23人	6位	134位
股関節症	55人	13位	207位
膝関節症	93人	12位	120位
肘関節周辺の骨折	44人	9位	60位
下腿足関節周辺の骨折	32人	7位	26位
骨盤損傷	24人	6位	83位

外来案内

	月	火	水	木	金	
紹介	8:30～	★小林 ☆小泉	○三好	◎三上 ★山本 ☆小泉	★山本 ☆竹下	○三好 ☆竹下
	9:00～	川畑 桐山 佐藤	川畑 ☆齊木 佐々木 井田 砂山	桐山 佐藤 山口	☆齊木 砂山 木原 小松	佐々木 木原 小松 上田
	専門外来 14:00～	リウマチ・ 人工関節外科	脊椎脊髄外科 足の外科(第4週)	リウマチ・ 人工関節外科 手・末梢神経外科	(午前) 脊椎脊髄外科 手・末梢神経外科	脊椎脊髄外科
	装具	京王義肢	田沢製作所	京王義肢	鉄道弘済会(午前)	田沢製作所

(注) ◎印:院長 ○印:副院長 ★印:部長 ☆印:副部長

「整形外科一般外来」、専門医による「脊椎脊髄外科」、「手・末梢神経外科」、「リウマチ・人工関節外科」、さらに「三好副院長・整形外科部長・脊椎脊髄外科部長」、それぞれの初診予約が可能です。

また、外傷などの急患は救急部での受け入れも可能ですが、外傷・強い痛み・感染・麻痺などの患者さんを急ぎで紹介したい場合は

横浜労災整形外科医 24H ダイレクトコール 070-6528-1257 (医療機関専用)

へご連絡ください。迅速な受け入れなどの対応をいたします。

地域医療連携の取組

「新横浜整形外科懇話会」(毎年4月と11月)、「新横浜運動器セミナー」(毎年5月)、そのほか複数の医療連携の会を開催しています。参加希望は地域医療連携室または三好までご連絡ください。

運動器センター・運動器外傷センター

# こどもセンター 小児科・小児外科・新生児内科

## 医師紹介



こどもセンター長  
小児科部長

**菊池 信行** (きくち のぶゆき)

昭和 61 年 横浜市立大学 卒業

【専門分野】 糖尿病、内分泌・代謝

【学会専門医・認定医】

日本小児科学会専門医・指導医、日本糖尿病学会専門医、横浜市立大学医学部臨床教授



周産期センター長  
新生児内科部長

**堀口 晴子** (ほりぐち はるこ)

昭和 61 年 横浜市立大学 卒業

【専門分野】 新生児

【学会専門医・認定医】

日本小児科学会専門医・指導医、周産期専門医 (新生児)・指導医



小児外科部長

**菅沼 理江** (すがぬま りえ)

平成 12 年 昭和大学 卒業

【専門分野】 小児外科

【学会専門医・認定医】

日本外科学会専門医・指導医、日本小児外科学会専門医、昭和大学医学部 (昭和大学病院小児外科) 兼任講師

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
新生児内科 副部長 にし だいすけ 西 大介	平成 15 年	横浜市立大学	新生児	小児科専門医・指導医
小児科 副部長 さくま ひろゆき 咲間 裕之	平成 17 年	北海道大学	循環器	小児科専門医・指導医 小児循環器専門医
	平成 17 年	横浜市立大学	アレルギー	小児科専門医・指導医 アレルギー専門医
周産期 チーム コンサル タント しろ 城 ひろゆき 城 裕之	昭和 54 年	慶應義塾大学	新生児、感染症	日本小児科学会専門医・指導医、感染症専門 医・指導医、インфекションコントロール ドクター (ICD)、周産期 (新生児) 専門医暫 定指導医、NCPR インストラクター、慶應義 塾大学医学部小児科学教室客員准教授、医療 ビジネス経営学修士 (h-MBA)

こどもセンター 小児科・小児外科・新生児内科

小児科	よしみ まりあ 吉見 鞠亜	平成 28 年	横浜市立大学		
	みなみさわ ゆき 南澤 有紀	平成 28 年	横浜市立大学	神経	
	ひらた なおや 平田 尚也	平成 28 年	山形大学	小児救急	
	みやの まきこ 宮野真木子	平成 29 年	産業医科大学	小児科一般	
	やすい まさき 安井 正貴	平成 29 年	横浜市立大学		
	つぼくら しん 坪倉 慎	平成 30 年	慶応大学	小児科一般	
	おおた けいこ 太田 慧子	平成 30 年	横浜市立大学	小児科一般	
	はらぐちしょうたろう 原口翔太郎	平成 31 年	横浜市立大学		
新生児 内科	おのぼり あきら 尾登 央	平成 31 年	横浜市立大学		
	うちだ ようこ 内田 陽子	平成 12 年	筑波大学	新生児・ 小児保健	小児科専門医・指導医
	ふるたに ともち 古谷 智子	平成 16 年	弘前大学	新生児	小児科専門医・指導医、周産期専門医（新生児） NCPR インストラクター
	さかい りさ 境 里彩	平成 27 年	東京医科大学	新生児	

診療科紹介

当院は横浜市北東部中核施設として平成 3 年に開院した病院です。当センターは「最良の小児プライマリーケアの提供」、「母と子に優しい周産期医療」、「総合診療マインドを持った小児科医の育成」をモットーとして診療を行っています。小児精神疾患、小児悪性腫瘍を除くほとんどの分野の 2 次～ 2.5 次の小児医療に対応することのできる体制を整えており、入院が必要な患者さんについては 2 南病棟（小児科 26 床）で治療を行っています。平成 27 年 4 月からは小児外科が配属され、多くの小児外科疾患への対応も可能になりました。

当院は横浜市小児救急拠点病院に指定されており、小児救急疾患については救急救命センターで 24 時間 365 日小児科医が対応しています。患者さんの重症度を問わず、他の医療機関からの紹介のあるなしを問わず診療していますが、医療安全の観点から、看護師による診察前トリアージを実施し、緊急性に応じた適切なタイミングでの診察を心がけています。病状がきわめて重症で、高次施設での小児集中治療管理が必要なケースでは、当科で適切な初期対応を行ったのちに搬送しています。

小児総合診療を実践する観点から、専門外来も充実させています。とくに、神経、内分泌、アレルギー、腎臓、循環器外来には沢山の患者さんをご紹介頂いています。平成 30 年度からは小児糖尿病と内分泌・代謝を専門とする部長があらたに赴任したため、これらの疾患を受け入れることも常時可能となりました。さらに、アレルギー専門医の赴任にともないアレルギー外来を拡充し、経口負荷試験の入院待ち期間が短縮されました。また、小児保健活動にも力を入れており、乳児健診（育児相談）、予防接種、結核検診、発育・発達外来、乳幼児心理発達外来を行っています。

病診連携の一環として、平成 18 年 1 月から、横浜市東部小児科医会の開業小児科の先生方を中心に協力頂き、24 時間 365 日の小児救急医療体制を支援して頂くこととなり、「地域連携小児夜間・休日診療」の施設基準が承認されました。

開院以来、未熟児・新生児医療にも力をいれ、県の周産期救急システムの中核病院の役割を担ってきましたが、平成 30 年度は新生児内科医師不足のため、母体搬送・新生児の受け入れを一部制限していました。平成 31 年度からは、新生児内科医の不足が解消されましたので、母体搬送、新生児の受け入れ制限は解除しました。

## 施設認定

- 小児科専門研修支援施設
- 周産期（新生児）専門医研修基幹指定施設
- アレルギー専門医教育研修施設
- 小児入院医療管理料加算 1 算定施設
- 新生児特定集中治療室管理料 1 算定施設
- 横浜市小児救急拠点病院
- 神奈川県周産期救急事業横浜地区中核病院
- 横浜市メディカルショートステイ制度協力施設
- 神奈川県先天性代謝異常検査地域協力病院

## 主な実績

2020年1月～12月小児科・小児外科入院患者実績

疾患名	入院患者数	疾患名	入院患者数
呼吸器感染症	78	アナフィラキシー	17
気管支喘息	76	腸重積	2
けいれん	79	IgA 血管炎	4
食物負荷試験	111	ITP（免疫性血小板減少病） （特発性血小板減少性紫斑病）	2
川崎病	45	その他	140
消化器感染症	17	合計	663
尿路感染症	37		
その他感染症	55		

新生児内科臨床実績（過去5年間）

年 度	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	
NICU	251	229	209	202	162	
亜急性期転院を含む	29週以下	15	17	1	5	10
	30～33週	20	11	5	30	23
	34～36週	61	54	48	46	39
	37週以上	155	147	155	121	90
GCU	174	246	153	186	166	
超低出生体重児 < 1000g 院内発生	4	6	0	6	5	
極低出生体重児 1000～1499g 院内発生	8	9	2	14	11	
人工換気症例（nDPAPを除く）	42	34	8	26	21	
低体温療法実施症例	7	5	0	3	1	

## こどもセンター 小児科・小児外科・新生児内科

### 小児外科手術実績（2020年度）

疾患名	手術症例数
鼠径ヘルニア	30例（腹腔鏡18例、鼠径部切開法12例）
虫垂炎	12例（全例腹腔鏡）
臍ヘルニア	6例
停留精巣	3例
精巣捻転	2例
腸重積症（観血的修復術）	1例
良性腫瘍	1例

### 専門外来

午前中は紹介および一般外来を行っています。受付時間は、午前8時15分から11時までです。再来は原則として予約制です。初診の患者さんは、できるだけかかりつけの医療機関からの紹介状を持参してください（紹介状はファックスでも結構です。小児科外来ファックス 045-474-8293）。

午後は専門外来を行っています。専門外来は全て予約制となっています。予防接種外来と育児相談は電話予約が可能です。その他の専門外来は、一度、午前中の一般外来を受診して頂いてからの予約となります。

#### 予防接種外来：内田医師 他

毎週月曜日～金曜日午後（変更となることがありますので確認して下さい）。

ご希望の方は、小児科外来までお電話を下さい（電話受付時間：平日午後3時から4時30分まで）。また、卵アレルギー等のアレルギーの既往があり、かかりつけ医で予防接種を行うことのできなかつた場合もご相談下さい（できるだけ紹介状をご持参下さい）。

#### アレルギー外来：小笹 浩二医師

毎週木曜日。日本アレルギー学会認定アレルギー専門医を含む医師が食物アレルギー患者と気管支喘息患者を中心にフォローしています。食物アレルギー負荷試験の相談も行っています。

#### 神経外来：大山 宜孝医師（横浜市立大学市民総合医療センター 小児総合医療センター）

第2・4火曜日午前。てんかん・精神運動発達遅滞の患者を中心にフォローしています。

#### 内分泌・代謝外来：菊池 信行医師

毎週火曜日。低身長、小陰茎、甲状腺疾患、糖尿病など幅広く診療を行っています。内分泌負荷試験の相談も行っています。

#### 小児外科外来：菅沼 理江医師

毎週火、水、木曜日午前。鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、停留精巣、包茎、臍ヘルニア等の診療を行います。月曜日には手術も行っています。

**育児相談（乳児健診）：交代**

毎週月曜日・火曜日午後（変更となることがありますので確認して下さい）。

横浜市の方は母子手帳の無料券を使用することができますのでご持参下さい。無料券がない場合は自費診療となります。ご希望の方は予約センターへ電話して下さい。対象は当院の診察券を持っている方のみとさせていただきます。

電話受付時間：平日 8:15 から 17:00 まで

予約センター電話番号：045-474-8882

**心理発達外来：三宅 篤子臨床心理士（東京経営短期大学こども教育学科教授、他）**

第1、3水曜日。新生児期にNICUで集中治療を受けられた方、現在成長発達に課題をもっていらっしゃる方に心理発達検査を受けていただく外来です。当科常勤医師の診察をまず受けていただいてから、ご予約をお取りすることになります。

**NICU フォローアップ外来：城医師、古谷医師**

毎週木曜日午後。

**心臓外来：咲間医師**

毎週金曜日。

**腎臓外来：内村 暢医師（横浜市立市民総合医療センター）**

第1、第3水曜日午後。学校検尿、3歳時検尿で要精査になった方と慢性腎疾患の方を中心に診療を行っています。

**シナジス外来：内田医師、交代制**

毎週金曜日午後。RSウイルス感染流行期の6月～3月頃に実施しています。

※発達・発育のフォローは、行っておりません。

**病棟**

**小児病棟（2階南病棟）**

ベッド数：34床（個室：4室、2人部屋：3室、4人部屋：4室、8床1室）

面会時間：午後12時30分から午後8時まで

## 救急外来受診について

### 受診をご希望の方

当科救急外来は、当科に受診したことのあるなしにかかわらず、どなたでも受診できます。1階救急外来で当科医師が診察いたします。

平日午前11時以降、および夜間・休日に受診をご希望の方は、当院代表電話番号より救急外来へ電話をして、病状とお持ちの場合は診察券の番号をお伝え下さい。なお、平日11時までは小児科外来で通常の診察を受け付けておりますが、病状が重い場合は救急外来で診察いたしますので、ご連絡ください。

### 救急外来について

救急外来は、救急治療・救命処置を必要とする患者さんを対象としています。受付後、まず看護師によってトリアージ（緊急性の評価）をさせていただき、その結果によっては他のより重症な患者さんの診療を優先させていただくことがあります。投薬は、原則として必要最低限のみとなりますので、あらかじめご了承下さい。

## 医療機関からの患者さん紹介

病診連携を円滑に行うため、当科初診の場合には紹介状を患者さんにお渡しいただくようお願い致します。直接、患者さんに紹介状を手渡す時間的余裕のない場合は、小児科外来（045-474-8293）または救急外来（045-474-8166）へファックスをお送り下さい。

夜間帯または休日に患者さんを紹介される場合には小児救急担当医へ前もって電話連絡をお願いします。

病状が改善した場合には、ご紹介頂いたかかりつけの医療機関に戻っていただく方針（逆紹介）ですので、ご協力をお願い致します。

平日に患者さんを紹介される場合、あらかじめ予約を取ることも可能です。その際には、予約センター（045-474-8523）へ、医師会で定められた書式の紹介状をFAXでお送り下さい。予約日時をご連絡します。

外来案内

	月	火	水	木	金
午前	★菊池 ☆小笹 交代制	☆咲間 交代制 (神経)(第1・3週) 南澤 (神経)(第2・4週) 大山 ★菅沼(小児外科)	☆小笹 交代制 (心理発達) (第1・3週) 三宅 ★菅沼(小児外科)	★菊池 ☆咲間 交代制 (アレルギー) ☆小笹 ★菅沼(小児外科)	★菊池 交代制 (神経 第4週) 石塚 (循環器外来) ☆咲間
午後	(1ヶ月健診) 交代制 (アレルギー) ☆小笹 (育児相談) 交代制	(内分泌) ★菊池 (NICU フォロー) ☆西 (育児相談 第1・2・ 3・4週) 交代制	(予防接種)内田 交代制 (内分泌)★菊池 (腎臓 第1・3週) 内村 (1ヶ月健診) 交代制 (発育発達 第2・4・5週) ★堀口 ☆西	(NICUフォロー) 城 (第4週) 交代制 (予防接種:14:00～) 交代制 (アレルギー) ☆小笹	(予防接種) 内田 交代制 (循環器外来) ☆咲間 (NICU フォロー) ★堀口

(注) ○印: 副院長 ★印: 部長 ☆印: 副部長

小児科外来の受付時間は、午前8時15分から11時までです。再来は、原則として予約制です。初診の患者さんは、原則として紹介状を持参してください。紹介状は、かかりつけの医療機関からのFAXでも結構です(小児科外来のFAX番号は、045-474-8293です)。初診で受診する場合には、患者さんに紹介状を渡した後、患者さん自身に予約センターに電話をして予約を取って頂いても結構です。登録医の先生方が地域連携室に電話をして登録医枠を予約して頂いても結構です。予約なしで紹介状を持参された場合にも、できるだけ待ち時間が発生しないように診察を致しますが、出来るだけ事前の予約をお勧めします。

アレルギー、内分泌、循環器、小児外科疾患の紹介は、それぞれの専門医が一般外来に出ている曜日に紹介して頂くとスムーズです。神経、腎外来は、外部から専門家に来て頂いていますので、一度、午前中の一般外来へご紹介ください。

頭部・四肢外傷などの明らかに小児内科では対応困難な症状については、当該診療科への紹介をお願いします。

緊急性のある場合や小児外科の外来日以外の日に小児外科疾患をご紹介頂く場合には、平日はこどもセンター長または小児科部長に、夜間・休日は小児科当直医までご連絡ください。

地域医療連携の取組

病診連携の一環として、平成18年1月から、横浜市東部小児科医会の開業小児科の先生方を中心にご協力頂き、365日24時間の小児救急医療体制を支援して頂くこととなり、「地域連携小児夜間・休日診療」の施設基準が承認されました。

横浜市東部小児科医会が年に4回開催されており、うち2回は当院で開催されています。参加希望の方は地域連携室までご連絡ください。こどもセンターでは、地域医療連携強化の一環として、出張市民公開講座を積極的に行っています。テーマは当センターで対応可能なものであれば、ご希望に沿うものとさせていただきます。費用は発生しませんのでお気軽にご連絡ください。詳細は地域連携室までお問い合わせください。

# 周産期センター 新生児内科・産婦人科・分娩部



## 医師紹介



周産期センター長  
新生児内科部長

**堀口 晴子** (ほりぐち はるこ)  
昭和 61 年 横浜市立大学 卒業  
【専門分野】 新生児  
【学会専門医・認定医】  
日本小児科学会専門医・指導医、周産期専門医 (新生児)・指導医、医学博士



産婦人科部長

**松永 竜也** (まつなが たつや)  
平成 10 年 日本大学 卒業  
【専門分野】 婦人科悪性腫瘍  
【学会専門医・認定医】  
日本産科婦人科学会専門医・指導医、婦人科腫瘍専門医・指導医、細胞診断医、がん治療認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、新生児蘇生法インストラクター、横浜市立大学産婦人科講座非常勤講師、医学博士



分娩部長

**笠井 絢子** (かさい じゅんこ)  
平成 14 年 弘前大学 卒業  
【専門分野】 周産期、遺伝  
【学会専門医・認定医】  
日本産科婦人科学会専門医・指導医、周産期専門医 (母体・胎児)、日本産科婦人科遺伝診療学会認定医、横浜市立大学産婦人科講座非常勤講師、医学博士

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
副部長 おおい ゆか 大井 由佳	平成 15 年	浜松医科大学	婦人科腫瘍	産婦人科学会指導医 婦人科腫瘍専門医 産婦人科遺伝診療学会認定医 がん治療認定医 産婦人科内視鏡学会技術認定医 医学博士
せがわ けいこ 瀬川 恵子	平成 20 年	信州大学		産婦人科学会指導医 産婦人科内視鏡技術認定医 がん治療認定医
道佛美帆子	平成 26 年	川崎医科大学		産婦人科学会専門医 がん治療認定医
うつのみや まりこ 宇都宮真理子	平成 26 年	神戸大学		産婦人科学会専門医

周産期センター

さとう 佐藤	りほ 理穂	平成 29 年	山梨大学		産婦人科学会専攻医
まなべ 眞鍋	しずえ 静恵	平成 28 年	東京女子医科大学		産婦人科学会専攻医
あいほら 相原	隆充	平成 27 年	富山大学		産婦人科学会専攻医 産業医

## 診療科紹介

当院は 1991 年の開院以来、横浜市北部の中核病院として、地域医療に貢献してまいりました。スタッフは全部で 10 名、全員専門職トレーニングカリキュラムを受けており、うち 7 名が日本産婦人科学会公認認定医取得済みでさらに 5 名は同指導医資格を有しています。精鋭部隊で産科も婦人科も救急疾患に日夜対応しています。また、悪性腫瘍の治療は、手術療法に加え、近年産婦人科疾患にも適応が拡大されている分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤を含む化学療法にも力を入れております。加えて、腹腔（内視）鏡手術も症例数、手術内容も充実してきており、腹腔鏡下広汎子宮全摘諸手続終了済みです。さらに、子宮体癌に対しては、通常の腹腔鏡手術に加え、ロボット支援下手術（ダ・ビンチ）も行っており、手術方法の選択肢を拡大しています。

2019年4月より新たに新生児科医師2名が赴任しており、妊娠26週以降母体搬送受け入れ可能です。

内科（特に内分泌・代謝内科）のバックアップの下、合併症妊婦診療が充実しているのも当院の特徴です。糖尿病、喘息、甲状腺疾患合併妊娠の管理は日常的に行われています。産科合併症管理特に高血圧、タンパク尿といった妊娠後半の産科合併症にも母児共に最も安全な解決法を見つけて良好な実績を上げています。

麻酔科のご支援の下、緊急帝王切開術 24 時間対応可能で概ね手術決定より 30 分以内に児娩出が可能となっております。

なお、近年の社会状況を鑑みて、当院で分娩を希望される方には基本的に対応しており、分娩予約の上限は設けておらず、またリスクの低い方の“妊婦健診は周辺のクリニックで、分娩は当院で”という形態（セミオープンシステム）も可能ですのでお気軽にご相談ください。もちろんその場合も救急母体搬送や緊急時、夜間休日は、当院で対応しますのでご安心ください。

## 施設認定

- 産婦人科学会認定総合型専攻医指導施設
- 周産期・新生児学会母胎・胎児認定基幹病院
- 婦人科腫瘍学会認定修練病院
- 産婦人科内視鏡学会認定研修施設
- 女性医学会認定研修施設
- 神奈川県地域周産期母子医療センター
- 神奈川県周産期救急システム中核病院
- 母体保護法指定研修機関

周産期センター 新生児内科・産婦人科・分娩部

主な実績

婦人科

手術件数	450 件 (うち悪性腫瘍手術 44 件)
緊急手術	20 件
内視鏡手術	254 件

悪性腫瘍登録実績

	子宮頸がん	子宮体がん	卵巣がん	その他の悪性腫瘍	計
計	6	33	26	0	65

産科

分娩数	685 例
産科救急 (母体搬送) 受け入れ	79 症例
帝王切開手術	157 件 (うち緊急帝王切開 70 件)

外来案内

		月	火	水	木	金	
婦人科	紹介	新患	道佛	瀬川	★笠井	☆大井	★松永
		再来	★笠井 ☆大井	★茶木 宇都宮	佐藤 道佛	★松永 瀬川	相原 眞鍋
産科		14 週以降	産科担当医	産科担当医	産科担当医	産科担当医	産科担当医

(注) ★印: 部長 ☆印: 副部長

紹介状が必要です。予約センターへ連絡していただければ概ね 2 日以内に予約が取れるはずですが、なお、予約無しで来院された患者さんは待ち時間が多少長くなる場合もございますが、必ず当日中に診察いたします。

妊娠初診予約については、web 予約が可能です。

地域医療連携の取組

周産期地域連携症例検討会年 2 回開催、NCPR 新生児蘇生法講習会専門 A コース年 3 回開催、登録医専用枠 1 枠/日、地域連携妊婦登録枠 2 枠/日

## 医師紹介



包括的乳腺先進医療センター長  
乳腺外科部長

**千島 隆司** (ちしま たかし) 博士 (医学)  
平成 3 年 福島県立医科大学 卒業  
平成 9 年 横浜市立大学大学院医学研究科 修了  
(平成 7 年-9 年 米国 カリフォルニア大学サンディエゴ校 外科学研究員)  
横浜市立大学 客員教授

【専門分野】 乳腺疾患一般、乳がん検診

【学会評議員等】

日本乳癌学会評議員、日本乳癌検診学会評議員、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会評議員、米国癌学会 (AACR) Active Member、米国臨床腫瘍学会 (ASCO) Active Member

【学会専門医・認定医】

日本乳癌学会乳腺専門医・指導医、日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会認定登録医・日本消化器外科学会指導医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、日本オンコプラスチックサージャリー学会乳房再建責任登録医、日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医 (講習会講師)、日本乳がん検診精度管理中央委員会乳房超音波検診読影医、日本医師会認定産業医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
医師	しばた ゆかこ 柴田侑華子	平成 27 年	愛媛大学	乳腺疾患一般 乳がん検診	日本外科学会外科専門医 日本乳がん検診精度管理中央委員会検診 マンモグラフィ読影認定医
	いのうえ しおり 井上 しおり	平成 27 年	横浜市立 大学	乳腺疾患一般 乳がん検診	日本外科学会外科専門医 日本乳がん検診精度管理中央委員会検診 マンモグラフィ読影認定医
非常勤 医師	たけうち ひでき 竹内 英樹	平成 11 年	防衛医科 大学校	乳腺疾患一般 乳がん検診	日本乳癌学会指導医 日本乳癌学会乳腺専門医 日本外科学会指導医 日本外科学会外科専門医 日本乳がん検診精度管理中央委員会検診 マンモグラフィ読影認定医
	やまもと しんや 山本 晋也	平成 16 年	横浜市立 大学	乳腺疾患一般 乳がん検診	日本乳癌学会乳腺専門医 日本外科学会指導医 日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本乳がん検診精度管理中央委員会検診 マンモグラフィ読影認定医
	はらだ ふう 原田 郁	平成 20 年	横浜市立 大学	乳腺疾患一般 乳がん検診	日本乳癌学会乳腺認定医 日本外科学会外科専門医 日本乳がん検診精度管理中央委員会検診 マンモグラフィ読影認定医

## 診療科紹介

現在、日本における乳がんの罹患者数は年間 10 万人とされています。特に、乳がんは 40 歳後半から 50 歳代で罹患率が高く、職場でも家庭でも中心的な役割を担う世代で発症するのが特徴です。その一方で、85%の乳がん患者さんは病気を克服して「もとの人生」へ戻るできるようになりました。これからの乳がん診療は、治療だけではなく「がんが治った後の生活」も考えた患者支援が必要となってきます。横浜労災病院では「がん看護専門看護師によるがん看護外来」、「がん化学療法認定薬剤師による服薬・副作用支援外来」、「リンパ浮腫療法士によるリンパ浮腫外来」、「専門相談員によるがん治療と就労の両立支援相談室」、「神奈川県との協働事業による乳がん体験者（ピアサポート）相談室」などを設置して、患者さんが安心して乳がん治療を受けられるような環境作りに取り組んできました。さらに 2017 年 4 月からは、「患者中心の医療」を実践するための包括的乳腺先進医療センターの運用を開始しました。本センターは、横浜市が推し進める「総合的ながん対策推進事業」の一つに位置づけられており、横浜市が指定する 5ヶ所の「横浜市乳がん連携病院」に認定されています。名称の由来として、「包括的」という言葉には「医師による治療だけではなく、看護師・薬剤師をはじめとしたメディカルスタッフによる支援の充実」、「先進」という言葉には「最先端の治療だけではなく、他の地域にはない一歩進んだ患者支援の実践」、「医療」という言葉には「治療を受ける“ひと”に寄り添った患者目線での診療」という思いが込められています。

現在、包括的乳腺先進医療センターは、

1. 乳房再建などを中心に患者 QOL を重視した診療の実践
  2. 国内外の臨床試験や新薬治験などの臨床研究の推進
  3. 就労問題・遺伝相談・がんの生殖医療・アピランス相談・メンタルヘルスなど患者支援の充実
  4. 乳がん診療に携わる全国の医療スタッフを対象としたチーム医療教育の推進
  5. 病診連携の充実と高齢・併存疾患を持つ患者さんに対する地域包括ケアの構築
- を 5 本柱に据えて日々の診療に取り組んでいます。

### 診療の特徴・特色

包括的乳腺先進医療センターでは、乳がんなどの悪性疾患だけではなく、乳腺炎や乳腺症など乳腺疾患全般の診断と治療を行っています。本センターにおける乳がん診療の特徴は、乳腺専門医（乳腺外科）、がん薬物療法専門医（腫瘍内科）、放射線治療専門医（放射線治療科）、形成外科専門医（形成外科）が連携して「集学的（専門家集団による）治療」が行なわれていることです。手術治療では乳房再建術にも力を入れており、人工乳房（シリコンインプラント）再建だけではなく、顕微鏡下血管吻合を駆使した自家組織（腹部脂肪皮弁）再建も積極的に行なっています。

また、第 1・3・5 火曜日には Breast Cancer Board を開催しています。治療に難渋する進行再発乳がん症例に対しては、医師、看護師、薬剤師、作業療法士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーなど、多職種の見点で包括的な患者支援を計画していきます。

※上記〔 〕内はコロナ禍で中断しております。

### 対象疾患

- 悪性疾患：乳がん（男性乳がんも含む）、間質肉腫、血管肉腫などの乳腺悪性腫瘍
- 良性疾患：線維腺腫、葉状腫瘍などの乳腺良性腫瘍、乳腺炎、乳輪下膿瘍、乳腺症、乳頭異常分泌、ホルモン異常による乳房痛、女性化乳房症、腋窩リンパ節腫大
- 一次・二次乳がん検診（精密検査）：腫瘍病変、石灰化病変に対する吸引組織診断

## 施設認定

- 日本乳癌学会認定施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本形成外科学会認定・教育施設
- 乳房再建用エキスパンダー実施施設
- 乳房再建用インプラント実施施設
- 日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診施設画像認定施設

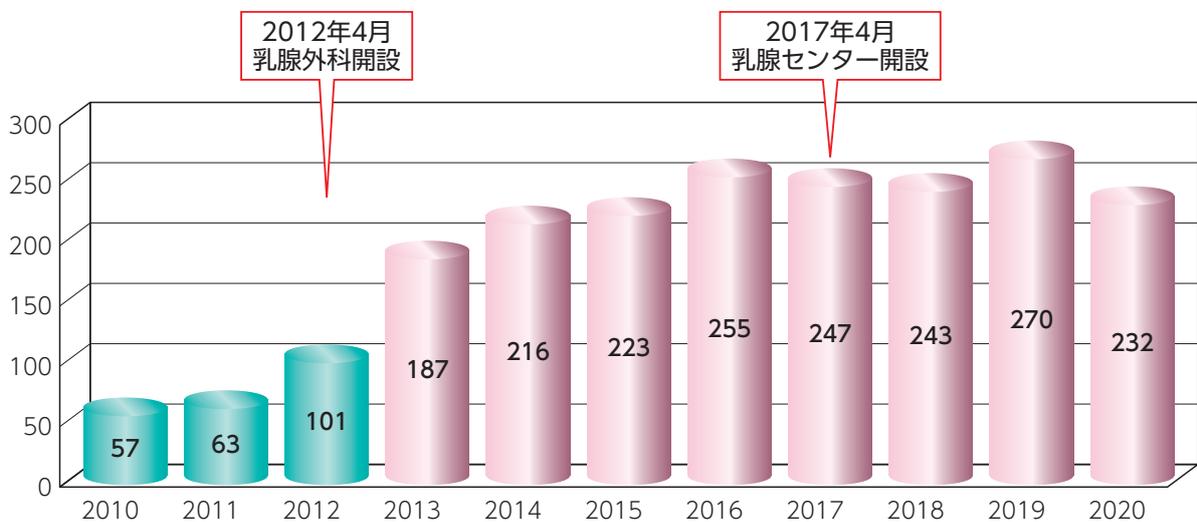
## 主な実績

2020年の手術件数は、悪性腫瘍の根治手術が232件、良性腫瘍やリンパ節生検などが35件、一次乳房再建術が10件（そのうち、自家組織再建術が8件）でした。

手術実績

	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
悪性腫瘍根治手術（乳がん等）	84	187	217	223	255	247	243	270	232
良性腫瘍やリンパ節生検等	41	54	57	81	74	68	52	39	35
一次乳房再建術（自家組織）	1	11	6	12	6	9	2	13	8
一次乳房再建術（人工乳房）	0	9	19	40	57	61	45	22	2
二次乳房再建術	0	0	2	2	1	4	3	1	0
シリコンインプラント入替術	0	0	10	18	45	57	55	20	1
画像ガイド下組織生検術	54	90	78	113	90	127	105	80	52
計	180	351	389	489	528	573	505	445	330

乳房悪性腫瘍根治手術件数



包括的乳腺先進医療センター 乳腺外科

外来案内

		月	火	水	木	金
午前	新患	★千島	◇柴田	◇井上 ★千島※	山本	当番医
	再診	◇柴田 ◇井上	★千島 ◇井上 ◇原田	◇原田	竹内 山本	—
午後	再診	—	★千島 ◇柴田 ◇原田	★千島 ◇柴田 ◇井上 ◇原田	竹内 山本	—

(注) ★印: 部長 ◇印: 女性医師

★部長新患: 月曜日

◇女性新患: 火曜日・水曜日

※セカンドオピニオン専用

悪性腫瘍の診断がついている症例、発熱・疼痛を伴う乳腺炎など、急を要する症例、治療・診断に関するセカンドオピニオンについては、お電話を頂けば随時対応いたします。

地域医療連携の取組

包括的乳腺先進医療センターでは地域医療連携を推進しています。初期治療（手術、化学療法、放射線療法）が終了した患者さんで、生活習慣病など併存疾患のある場合、高齢者や遠隔地で通院が困難な場合には、近隣の医療施設やかかりつけ医と連携した「2人主治医制度」を導入しています。2人主治医制度とは、かかりつけ医（主治医1）に通常の健康管理と乳がん治療薬（内服薬）の処方をしていただき、当院（主治医2）では年1・2回の診察（乳房検査）のみを行う地域連携の手法です。進行再発症例においては、在宅診療、訪問看護、福祉介護などの支援が不可欠となるため、多職種で構成するBreast Cancer Board（前述）を開催しております。オープンカンファレンス形式をとっているため、事前にご連絡いただければ地域の医師、看護師、薬剤師の先生方にもご参加いただけます。

また、乳腺症をはじめとした良性疾患に関しては、地域で信頼出来る専門クリニックと連携を取りながら、生活に密着した通院しやすい環境で検診を受けることも可能です。詳しくは乳腺外科医師、看護師までお問い合わせください。

- お問い合わせ先:** 乳腺外科部長…………… 千島（ちしま）  
 がん看護専門看護師… 大花（おおなぎ）  
 地域医療連携室…………… 福井（ふくい）

包括的乳腺先進医療センター

## 形成外科・小児形成外科



形成外科部長  
小児形成外科部長

**山本 康** (やまもと やすし)

平成6年 横浜市立大学 卒業

【専門分野】 形成外科一般 小児形成外科 乳房再建 熱傷・外傷

【学会専門医・認定医】

日本形成外科学会専門医、日本形成外科学会小児形成外科分野指導医、日本熱傷学会熱傷専門医、日本救急医学会救急科専門医、日本形成外科学会再建・マイクロサージャリー分野指導医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
田村詩保子 <small>たむらしほこ</small>	平成26年	山梨大学	形成外科一般	日本形成外科学会専門医
梅田 龍 <small>うめだ りゅう</small>	平成27年	横浜市立大学	形成外科一般	—
澤井祐美加 <small>さわい ゆみか</small>	平成30年	筑波大学	形成外科一般	—

### 診療科紹介

#### 診療概要

形成外科とは、“よく傷を治すことを追求した診療科”です。外科の基本である創傷治癒についての知識と技術を更に専門的に発展させ、患者さんの傷が早く・正しく治癒するためのお手伝いをしてゆきます。そして、その延長線上に整容や機能が存在するため、一般には美容をはじめとした“きれいにする治療”を担当する科であるという認識が定着しているといえるでしょう。

私たちが当院で担当するのは体の表面に関するさまざまな変化、たとえば外傷・腫瘍・先天疾患・その他後天的に生じた変形などの治療です。また、それらの治療によって生じた組織の欠損を修復する“再建”も私たちの重要な仕事です。患者さんの健常な部分の皮膚・筋肉・骨などを移植することで、欠損した組織を元の形態に近いところまで作り直したり、機能の喪失を回避したりすることが可能です。

形成外科は、これらの治療の多くをその疾患部位・臓器を専門とする診療科と合同で行うことも多く、さまざまなチーム医療に参加していることも大きな特徴です。

#### 担当する主な疾患

##### ■先天疾患

漏斗胸、手足の異常（多指症、合指症など）、耳介の変形（小耳症、埋没耳、副耳、耳瘻孔など）、口唇裂・口蓋裂（チーム医療）、ほくろ、腫瘍など

##### ■外傷

顔面骨骨折、指の切断や軟部組織損傷、その他体表の切創・挫創、熱傷

##### ■皮膚腫瘍

##### ■再建

乳房再建（自家組織・インプラント）、その他悪性腫瘍切除後の組織欠損（チーム医療）外傷後の組織欠損

##### ■その他

静脈瘤、眼瞼下垂、床ずれ（褥瘡）・皮膚潰瘍、巻き爪（陥入爪）、手術や外傷後のキズあと

形成外科・小児形成外科

施設認定

- 日本形成外科学会教育関連施設
- 乳房再建用エキスパンダー・インプラント実施施設

主な実績

手術実績

		平成 26年 (1月~12月末まで)	平成 27年 (1月~12月末まで)	平成 28年 (1月~12月末まで)	平成 29年 (1月~12月末まで)	平成 30年 (1月~12月末まで)	令和 元年 (1月~12月末まで)	令和 2年 (1月~12月末まで)
皮膚外科	体表のできもの(腫瘍)、母斑、あざ、血管腫、キズあと・ケロイド・瘢痕拘縮の手術	301件	267件	309件	356件	301件	384件	210件
顔面・手足の外傷	顔面骨骨折の整復術、皮膚欠損の再建	58件	41件	34件	23件	20件	20件	30件
熱傷	やけど、凍傷、化学傷	12件	1件	7件	4件	6件	3件	1件
小児先天異常	漏斗胸・口唇裂・口蓋裂、多合指症、耳介変形等	24件	10件	28件	32件	24件	11件	25件
悪性腫瘍	皮膚・皮下軟部組織悪性腫瘍	57件	43件	36件	49件	55件	44件	56件
	悪性腫瘍手術後の再建術(カッコ内は乳房再建数)	36件	72件	101件	122件(113件)	103件(97件)	95件(84件)	21件(16件)
難治性皮膚潰瘍	褥瘡、糖尿病壊疽、うっ滞性潰瘍等	17件	42件	30件	25件	24件	28件	13件
その他	眼瞼下垂、下肢静脈瘤、巻き爪、腎不全内シャント	73件	85件	105件	105件	59件	186件	77件
年間総手術件数		578件	561件	650件	716件	592件	676件	433件

外来案内

		月	火	水	木	金
午前	新患	—	—	北山 (非常勤医師)	梅田	田村
	再来	—	—	北山 (非常勤医師)	★山本(康) 田村	★山本(康) 梅田 澤井
午後	新患 再来	★山本(康) 梅田 田村 澤井	—	—	(静脈瘤レーザー) ★安藤(心外科)	★山本(康) (静脈瘤)

(注) ★印: 部長

初診予約枠は多めに設けてありますので、学会による休診を除けば曜日・時間帯の指定がない限り遅くとも翌週には予約が可能なが殆どです。外傷や痛み・腫れを伴うために早めの受診を希望の方は、お問い合わせを頂ければできる限り対応いたします。

形成外科・小児形成外科



## 皮膚科部長

佐藤 勘治 (さとう かんじ)

平成9年 獨協医科大学 卒業

【専門分野】皮膚一般

【学会専門医・認定医】日本皮膚科学会専門医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
皆川 大輔 <small>みながわ だいすけ</small>	平成23年	鹿児島大学	皮膚一般	—
青木 周平 <small>あおき しゅうへい</small>	平成27年	群馬大学	皮膚一般	—
玉森 巴里 <small>たまもり まり</small>	令和元年	北里大学	皮膚一般	—

## 診療科紹介

特に専門分野はなく、広く一般的な皮膚疾患をみております。入院治療や手術、検査に特化した皮膚科を目指してはいますが、すべての皮膚疾患に対し、満足していただけるような診療を行いたいと思っています。

検査は、パッチテストやスクラッチテスト、治療は小手術、紫外線治療（全身型ナローバンド UVB 照射装置）、アトピー性皮膚炎の治療薬であるデュピクセント<sup>®</sup> や、難治性慢性蕁麻疹の治療薬であるゾレア<sup>®</sup> の導入、尋常性乾癬の生物学的製剤も使用できます。また、自費診療にはなりますが、Qスイッチルビーレーザー（茶または青あざ治療）、炭酸ガスレーザー、5%ハイドロキノン軟膏、レチノイン酸軟膏でのシミ治療も行っています。

エキシマ治療、巻き爪のワイヤー治療、赤あざの治療や神経ブロック、ポツリヌス治療、減感作治療はできません。褥瘡などの慢性皮膚潰瘍も近医での治療をお願いしています。

できるだけ他の科や検査部とともに総合的に診療できるよう心がけています。

## 施設認定

日本皮膚科学会認定の研修施設であり、乾癬に対する生物学的製剤による治療を許可されています。

皮膚科

主な実績

臨床実績

	外 来			入 院		
	平成30年	令和元年	令和2年	平成30年	令和元年	令和2年
1日平均患者数	88.4人	84.6人	41.4人	8.7人	6.1人	4.0人
年間手術件数	188件	158件	81件	82件	74件	18件
アトピー性皮膚炎	352人	326人	254人	27人	16人	6人
丹毒・蜂窩織炎	54人	43人	37人	28人	37人	11人
脱毛症	471人	538人	555人	20人	15人	4人
帯状疱疹	71人	37人	24人	38人	52人	4人
熱傷	20人	8人	4人	4人	4人	0人

外来案内

診療科		月	火	水	木	金	
紹介 予約	午前	新患	青木	★佐藤	—	玉森	皆川
		再来	★佐藤 皆川	皆川 玉森	検査 レーザー	★佐藤 青木	★佐藤 青木
	午後	手術	検査	回診	褥瘡回診	手術	

(注) ★印: 部長

外来診療は、総合病院の皮膚科としての責務を果たすべく極力丁寧に行うよう心掛けております。そのため、しばしば予約が取りにくかったり、待ち時間が長くなることもあります。改善するために積極的に逆紹介も行っておりますので、恐れ入りますが、ご理解のうえご協力いただけますようお願いいたします。

今後も地域の方々、また関連医療機関の皆様にとってお役に立てればと考えております。皮膚疾患で命に関わることは少ないですが、治りにくい病気もあり、目に見えやすいことからお互いに納得ができる診療を行っていききたいと思います。

当科への受診をご希望される方は、当科あての紹介状をご用意のうえ、予約センターにてご予約をお願いいたします。

地域医療連携の取組

年2回、6月と12月に病診連携の会として横浜北部皮膚科臨床懇話会を開催しております。昨年はコロナウイルスの影響もあり開催しませんでした。今年には行えるよう検討しております。



## 泌尿器科部長

**永田 眞樹** (ながた まき)

平成 3 年 千葉大学 卒業

【専門分野】泌尿器科一般、エンドウロロジー

【学会専門医・認定医】

泌尿器科学会認定指導医・専門医、泌尿器科学会腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡学会技術認定医（泌尿器腹腔鏡）、ロボット（da Vinci Si）手術認定医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
副部長 井上 淳 <small>いのうえ あつし</small>	平成 10 年	千葉大学	泌尿器科一般 エンドウロロジー	泌尿器科学会認定指導医・専門医 泌尿器科学会腹腔鏡技術認定医 ロボット（da Vinci Si.Xi）手術認定医 ロボット（da Vinci Si.Xi）プロクター認定医	
医師	宮崎 兼考 <small>みやざき かねたか</small>	平成 14 年	千葉大学	泌尿器科悪性腫瘍一般 エンドウロロジー 男性機能	泌尿器科学会認定指導医・専門医 泌尿器科学会腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡学会技術認定医（泌尿器腹腔鏡） ロボット（da Vinci Si）手術認定医 ロボット（da Vinci Si）プロクター認定医
	千葉 量人 <small>ちば かずと</small>	平成 14 年	山形大学	泌尿器科悪性腫瘍一般 エンドウロロジー 尿路外傷	泌尿器科学会認定指導医・専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 泌尿器科学会腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡学会技術認定医（泌尿器腹腔鏡） ロボット（da Vinci Si）手術認定医 ロボット（da Vinci Si）プロクター認定医
	五島 悠介 <small>ごとう ゆうすけ</small>	平成 19 年	千葉大学	泌尿器科一般	泌尿器科学会認定指導医・専門医 泌尿器科学会腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡学会技術認定医（泌尿器腹腔鏡） 米国医師臨床資格（ECFMG） ロボット（da Vinci Si）手術認定医
	菅原 翔 <small>すがわら しょう</small>	平成 23 年	千葉大学	泌尿器科一般	泌尿器科学会認定専門医 ロボット（da Vinci Si）手術認定医
後期 研修医	丸尾 匡史 <small>まるお まさひみ</small>	平成 30 年	北海道大学	泌尿器科一般	
	田中 慧樹 <small>たなか ともき</small>	平成 31 年	札幌医科大学	泌尿器科一般	

## 診療科紹介

治療方針として、『可能な限り低侵襲で最大の効果を得る』を第一にしています。

2013年9月より「ダヴィンチ Si」を導入し、ロボット支援下前立腺全摘術を行っております。2018年は123例にロボット支援下前立腺全摘術を施行しました。適応がある場合には積極的に男性機能温存を行っております。

腎臓・副腎・尿管の悪性疾患に対しては開腹手術ではなく、ほぼ全例で腹腔鏡手術を行っており、年間約150件の腹腔鏡手術を行っております。また、腎臓の悪性腫瘍については、新たに2017年2月よりロボット支援下腎部分切除術を開始しました。従来の腹腔鏡下手術では困難であった症例も腎部分切

## 泌尿器科

除術が無理なく行えるようになりました。

浸潤性膀胱がんに対しては2017年6月より腹腔鏡下膀胱全摘術を開始しました。開放手術と比較して術中の出血量が圧倒的に少ないので術後の早期回復が期待できます。また、更なる発展として2018年4月より保険収載が認められるロボット支援下膀胱全摘術を導入しました。尿路変更術として、適応があり、かつ希望のある患者さんに対してはストーマ（尿の人工肛門）にはならない代用膀胱造設術を施行しています。

それ以外にも尿路結石症に対する体外衝撃波結石砕石術・軟性尿管鏡/レーザーを用いた内視鏡治療（TUL/f-TUL）、および前立腺肥大症に対する内視鏡手術（TUR-P HoLEP）など良性疾患に対する様々な治療も同時に行っています。

常勤泌尿器科医師8名、月曜から金曜日まで毎日手術を行っています。

近在の開業している泌尿器科専門医（連携泌尿器科 病院・クリニック 一覧を参照ください）と連携し、術後安定した患者さんや内服治療などで経過観察を行っている患者さんには近医開業泌尿器科専門医に紹介し、継続加療を行う病診連携を積極的に行っています。

急性期病院としての役割を全うするため、入院期間が長くなったり、緩和ケアが必要になった患者さんの場合には地域連携室と密に連携し近隣の病院・往診医を紹介し、緩和ケアや在宅診療を積極的に進めています。入院期間をできるだけ短縮し、より多くの患者さんに当院での入院治療を受けていただきたいと思います。

当科でのがん治療については根本的に全告知を基本としております。

当院泌尿器科は完全予約制のため、受診には必ず医師の紹介状と事前予約が必要です。

### 主な実績

#### 臨床実績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
<b>副腎疾患</b>					
腹腔鏡下副腎摘除術	60	73	85	67	56
（うち単孔式腹腔鏡下副腎摘除術）	7	24	8	14	18
副腎摘除術（開腹術）	1	1	0	0	0
<b>腎疾患</b>					
<b>腎細胞がん</b>					
腹腔鏡下腎摘除術	10	20	16	5	7
根治的腎摘除術（開腹術）	1	1	0	0	0
腹腔鏡下腎部分切除術	19	2	0	1	0
ロボット支援下腎部分切除術	0	27	33	29	23
腎部分切除術（開腹術）	0	0	0	0	0
<b>腎盂・尿管疾患</b>					
後腹膜鏡下腎尿管全摘除術	14	13	18	17	12
腎尿管全摘除術（開腹術）	0	0	0	0	0
腹腔（後腹膜）鏡下腎盂形術	3	2	1	0	4
腎盂形術（開腹術）	0	0	0	0	1
PNL	5	4	3	1	7
TUL（f-TULも含む）	59	70	83	124	60
尿管鏡	45	45	35	37	33
尿管ステント留置	13	54	64	69	61
腎瘻造設術	23	26	31	27	10

## 泌尿器科

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
<b>膀 胱</b>					
膀胱がん					
膀胱全摘＋新膀胱造設術	1	0	0	0	0
腹腔鏡下膀胱全摘＋新膀胱造設術	0	4	0	0	0
ロボット支援下膀胱全摘 ＋新膀胱造設術	-	-	1	1	3
膀胱全摘＋回腸導管造設術	8	0	0	0	0
腹腔鏡下膀胱全摘 ＋回腸導管造設術	0	15	8	0	0
ロボット支援下膀胱全摘 ＋回腸導管造設術	-	-	4	9	6
膀胱全摘＋尿管皮膚瘻造設術	4	1	0	0	0
腹腔鏡下膀胱全摘 ＋尿管皮膚瘻造設術	0	1	3	1	0
ロボット支援下膀胱全摘 ＋尿管皮膚瘻造設術	-	-	1	6	3
TUR-BT	151	157	159	134	137
良性疾患					
経尿道の膀胱碎石術	13	12	12	18	16
経尿道の膀胱水圧拡張術	4	5	1	2	1
<b>前立腺</b>					
前立腺生検	371	427	420	452	325
TUR-P	18	10	16	18	13
HoLEP	37	33	24	29	20
前立腺全摘除術	7	1	0	0	0
(うち神経温存前立腺全摘)	(2)	0	0	0	0
ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘出	93	135	123	89	95
(うち神経温存前立腺全摘)	(32)	60	82	(61)	51
<b>尿 道</b>					
内視尿道切開術	8	9	12	9	8
尿道脱・カルンクル切除術	0	0	3	1	1
陰茎切断術	0	0	0	0	0
環状切除術	4	6	5	2	1
<b>精 巢</b>					
高位摘除術	5	10	10	7	5
去勢術	3	9	5	2	12
精巣固定術	4	1	5	6	2
陰嚢水腫根治術	6	3	3	11	5
精索静脈瘤手術	2	0	2	3	2
<b>その他</b>					
ESWL (体外衝撃波結石破碎術)	294	126	67	86	36



泌尿器科

外来案内

			月	火	水	木	金
紹介予約	午前	新患	当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
		再来	—	千葉 田中	★永田 丸尾	宮崎 五島	☆井上 (淳) 菅原
	午後	再来	—	千葉 田中	★永田 丸尾	宮崎 五島	☆井上 (淳) 菅原

(注) ★印：部長 ☆印：副部長

医師紹介



責任医師 副部長

**佐藤 美紗子** (さとう みさこ)

平成 19 年 日本大学 卒業

【専門分野】 網膜硝子体・白内障

【学会専門医・認定医】

日本眼科学会専門医、PDT 認定医、労災協力医、身体障害者福祉法第 15 条指定医、難病指定医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
さこの たくと 迫野 卓士	平成 24 年	鹿児島大学	網膜硝子体・白内障	日本眼科学会専門医 PDT 認定医 視覚障害者用補装具適合判定医師 身体障害者福祉法第 15 条指定医 難病指定医
なかにしる みこ 中西瑠美子	平成 24 年	日本大学	網膜硝子体・白内障	日本眼科学会専門医 身体障害者福祉法第 15 条指定医 難病指定医
すみとも さおり 住友 沙織	平成 26 年	金沢医科大学	眼科一般・神経眼科	日本眼科学会専門医
たけぼやし きょうこ 武林 響子	平成 29 年	浜松医科大学	眼科一般	

診療科紹介

当科では地域の中核病院として、白内障、網膜硝子体疾患、緑内障をはじめとした幅広い領域の眼科疾患の治療にあたっております。地域医療機関と緊密な連携の下に、主に手術治療が必要な急性期疾患の治療に専念しており、慢性期には近医のホームドクター（かかりつけ医）に治療をお願いしておりますので、当院初診の方は紹介状をご持参くださいますようお願いいたします。

治療を行う上では十分な説明を最も重視し、またセカンドオピニオンや他の専門医への紹介には躊躇なく取り組んでいます。

診療内容

■ 網膜硝子体疾患

当院は網膜硝子体疾患を専門（得意分野）としております。増殖糖尿病網膜症、裂孔原性網膜剥離、黄斑上膜、黄斑円孔、硝子体出血などの疾患に対して、硝子体手術を行っています。

コンステレーション® ビジョンシステムを使用し、27 ゲージシステムという創口の大きさが 0.4 mm と非常に小さな方法で低侵襲な手術を行っています。

緊急手術が必要な方をご紹介頂く際には、眼科外来にお電話を頂けるとスムーズに対応が可能です。

## 眼 科

加齢黄斑変性、糖尿病網膜症による黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症による黄斑浮腫、近視性脈絡膜新生血管、血管新生緑内障に対して、抗 VEGF 治療を行っています。

### ■ 白内障

当院では、入院による白内障手術（水晶体再建術）を行っています。全身疾患のある方、体の不自由な方、ご高齢の方、その他の事情で日帰り手術困難な方だけでなく、それ以外の方でも入院手術は可能です。年間手術件数は約 1,000 件です。特殊な白内障関係の手術にも対応しております。小瞳孔、チン小帯脆弱例、成熟白内障、強度近視等の難症例にも対応します。（小児の白内障手術は行っておりません）

以前に白内障手術を受けられた方で、眼内レンズの位置がずれたり、眼の中に落下したりした症例に対して、眼内レンズ摘出と眼内レンズの強膜内固定術を行っています。

### 多焦点眼内レンズ手術について

当院では「多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術」を行っています。従来の白内障手術は単焦点眼内レンズとあって、ピントの合う距離が 1 か所であったのに対して、この多焦点眼内レンズは遠方と近方など複数箇所にピントを合わせることが出来ます。その結果、手術後に眼鏡をかける必要性がかなり低くなります。眼鏡をかけたり外したりするのがわずらわしいと感じる方はご相談ください。当院で取り扱っている多焦点レンズは、国内承認レンズに限ります。国内未承認レンズは取り扱っておりません。

多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術は令和 2 年 4 月より先進医療から保険外併用療養費（選定療養費）となりました。レンズ代の差額が自費で、手術前後の診察・検査・投薬・入院料・手術料等は保険診療となります。

- 2 焦点（乱視矯正なし） 片眼 180,000 円、両眼 360,000 円（レンズ代差額・税込）
- 2 焦点（乱視矯正あり） 片眼 200,000 円、両眼 400,000 円（レンズ代差額・税込）
- 3 焦点（乱視矯正なし） 片眼 280,000 円、両眼 460,000 円（レンズ代差額・税込）
- 3 焦点（乱視矯正あり） 片眼 300,000 円、両眼 600,000 円（レンズ代差額・税込）

（2021 年 4 月現在）

※通常の保険診療における白内障手術（単焦点）の費用に上記金額が追加となります。

### ■ 緑内障

静的量的視野検査、動的量的視野検査、光干渉断層計（OCT）での経過観察が可能です。点眼治療だけでは緑内障の進行が抑えられない場合には各種レーザー治療（虹彩切開術、選択的線維柱帯形成術（SLT）、冷凍毛様体凝固、各種手術（線維柱帯切除術、隅角癒着解離術、周辺虹彩切除術、緑内障チューブシャント手術（Express、アーメド緑内障バルブ））を行っています。

■ 小児・斜視・眼瞼の専門外来は、現在行っておりません。

### 主な外来手術・処置

網膜光凝固術、虹彩・隅角光凝固術、後発白内障手術、抗 VEGF 抗体硝子体内注射

### 主な検査・医療機器

蛍光眼底造影検査（FA） 脈絡膜蛍光眼底造影検査（IA） マルチカラーレーザー光凝固装置 YAG レーザー手術装置 動的・静的視野検査 網膜電図検査（ERG） 眼球運動検査（Hess） 超音波断層検査（A.B モード） 角膜内皮細胞顕微鏡検査（角膜厚計測） 屈折視力検査 両眼視機能検査 精

密眼圧検査 中心フリッカー検査 眼底3次元画像検査(OCT) 調節機能検査(アコモドメーター)  
斜視シノプト検査 光学式眼軸長測定装置 角膜形状解析装置などです。

主な実績

臨床実績

		平成 28年度	平成 29年 (1月~12月)	平成 30年 (1月~12月)	令和 元年 (1月~12月)	令和 2年 (1月~12月)
白内障手術		840件	961件	987件	1,070件	922件
	(再掲) うち、多焦点眼内レンズを用いた手術	-	45件	102件	115件	76件
硝子体手術	糖尿病網膜症 黄斑上膜 黄斑円孔 網膜剥離 など	107件	179件	182件	173件	174件
緑内障手術	濾過手術 チューブシャント手術 など	2件	5件	10件	13件	13件
その他手術	霰粒腫 翼状片 など	6件	9件	8件	9件	36件
レーザー手術	網膜光凝固 緑内障など	143件	147件	155件	102件	99件
抗 VEGF 抗体硝子体内注射	加齢黄斑変性 糖尿病黄斑浮腫 網膜静脈閉塞性黄斑浮腫 など	474件	550件	593件	648件	587件

外来案内

			月	火	水	木	金
紹介 予約	午前	新患	☆佐藤 中西	迫野 新患担当医	☆佐藤 迫野 新患担当医	迫野	☆佐藤 中西 新患担当医
		再来	☆佐藤 中西 武林	迫野 住友	迫野	迫野 住友 武林	☆佐藤 中西
	午後	新患 再来	(硝子体注射)	-	住友 (再診) (硝子体注射)	中西 (新患・再診)	武林 (再診)

(注) ★印: 部長 ☆印: 副部長

## 耳鼻咽喉科



### 医師紹介



#### 耳鼻咽喉科部長

**塩野 理** (しおの おさむ)

平成 10 年 横浜市立大学 卒業

【専門分野】 アレルギー・鼻副鼻腔疾患、頭頸部腫瘍

【学会専門医・認定医】

日本耳鼻咽喉科学会専門医・専門指導医、

日本気管食道科学会専門医、

横浜市立大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科客員講師

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
副部長 田辺 輝彦 <small>たなべ てるひこ</small>	平成 20 年	新潟大学	頭頸部腫瘍	日本耳鼻咽喉科学会専門医
医師 二宮 啓彰 <small>にのみや よしあき</small>	平成 28 年	横浜市立大学	耳鼻咽喉科一般	
金子 光裕 <small>かねこ みつひろ</small>	平成 29 年	産業医科大学	耳鼻咽喉科一般	
佐久間 巴 <small>さくま ともえ</small>	平成 29 年	獨協医科大学	耳鼻咽喉科一般	

### 診療科紹介

耳鼻咽喉科は頭蓋底から鎖骨までの領域のうち、眼球を除いた部分すべてを扱います。耳、鼻、のどだけでなく、顔面神経、唾液腺、甲状腺のような臓器も含まれます。対象となる患者さんは老若男女を問いません。治療にはお薬を使う内科的な治療と、手術を行う外科的な治療の両方を行います。そのため耳鼻咽喉科診療では幅広い知識と技術が必要です。当院には高度な設備があり、検査や治療に際して大学病院レベルを目標とした診療を行っています。完全紹介制、病診連携、病病連携を進めております。いったん病気が落ち着いた状態となれば、かかりつけ医で治療や経過観察の継続をお勧めしています。耳、鼻、のどは感覚が敏感な部位であり、患者さんはつらい症状に悩まされています。患者さんのつらい症状を理解し、ともに病気を治療していくことを心掛け、診療に当たっています。

#### 検査、治療の紹介

高気圧酸素治療室 (突発性難聴治療)、聴力検査 (新生児スクリーニング後の ABR 検査)、T&T による基準嗅力検査、舌下免疫によるアレルギー性鼻炎治療、「ナビゲーションシステムを用いた精度の高い鼻・副鼻腔手術」、好酸球性副鼻腔炎治療、ろ紙ディスク法による味覚検査、嚥下障害に対する嚥下改善・誤嚥防止手術、鼻咽喉軟性電子内視鏡 (NBI による早期がんの診断)、放射線治療科・形成外科・口腔外科・外来化学療法室と連携した頭頸部がん治療、再発腫瘍に対する定位放射線治療

## 主な実績

## 2020年度手術件数

鼓室形成術（I型）	2	直達鏡下喉頭微細手術	3
鼓室形成術（それ以外）	6	顎下腺良性腫瘍手術	4
乳突削開術	5	顎下腺悪性腫瘍手術	2
鼓膜換気チューブ留置術	15	耳下腺良性腫瘍手術	12
鼓膜切開術	0	耳下腺悪性腫瘍手術	2
鼓膜形成術	0	バセドウ病手術	1
顔面神経減荷術	3	甲状腺良性腫瘍手術	12
耳瘻孔摘出術	7	甲状腺悪性腫瘍手術	15
外耳道腫瘍摘出術	0	副甲状腺手術	7
内視鏡下鼻内副鼻腔手術	94	頸部のう胞摘出手術	1
鼻中隔湾曲矯正術	50	リンパ節摘出術	16
下鼻甲介手術	86	気管切開	24
後鼻神経切断術	20	気管孔狭窄拡大術	0
鼻出血止血術	0	気管切開孔閉鎖術	5
鼻腔良性腫瘍手術	12	喉頭悪性腫瘍手術（全摘）	3
鼻腔悪性腫瘍手術	3	喉頭悪性腫瘍手術（切除）	5
経鼻腔眼窩内腫瘍摘出術	0	頸部郭清術	43
口蓋扁桃摘出術	90	デブリードマン	0
口蓋扁桃術後出血止血術	0	頸部術後出血止血術	0
アデノイド切除術	7	喉頭粘膜下異物挿入術	0
舌良性腫瘍手術	4	誤嚥防止術	5
舌悪性腫瘍手術	15	嚥下改善術	1
口腔良性腫瘍摘出術	2	声帯内転術（筋膜移植）	0
口腔悪性腫瘍摘出術	8	皮膚・皮下腫瘍	2
咽頭良性腫瘍摘出術	5	咽頭・気管皮膚瘻作製術	2
咽頭悪性腫瘍手術	16	合計	615

## 外来案内

## 外来のスケジュール

	月	火	水	木	金
午前	☆田辺 金子 応援医師	★塩野 佐久間	★塩野 ☆田辺 二宮 金子	二宮 応援医師（2名）	★塩野 佐久間 応援医師
午後	交代制	★塩野 （補聴器）	★塩野 （腫瘍、アレルギー 第1・3・5週）	交代制	★塩野 （補聴器 第1・3週）

(注) ★印：部長 ☆印：副部長

## 専門外来案内

① 補聴器 ② アレルギー ③ 頭頸部腫瘍

### 地域医療連携の取組

当院は横浜北部エリアの中核病院として重要な役割を担っています。病診連携や病病連携を推進し、スムーズなやり取りを実現するよう努力します。「初診患者さんは完全紹介予約制ではありますが、緊急性のある場合にはご一報ください。可能な限り早急な対応を検討いたします。」

当科の特徴として、耳鼻咽喉科全般の手術を行っていることや甲状腺・副甲状腺症例が多いことが挙げられます。難易度の高い症例の場合、大学病院やがん専門病院の先生にご指導いただきながら手術を行うこともあります。患者さんをはじめ地域の先生方からも信頼されるような医療を提供できるよう、日々研鑽を積んで参りますのでよろしくお願いいたします。

# リハビリテーション科

## 医師紹介



### リハビリテーション科部長（兼務）

**山本 真一**（やまもと しんいち）【兼務】

平成 2 年 東京大学 卒業

【専門分野】 手・末梢神経外科

【学会専門医・認定医】

日本整形外科学会整形外科専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本手外科学会認定手外科専門医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医、日本職業災害医学会認定労働補償指導医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
副部長 よしかわ 吉川 ふたば 二葉	平成 16 年	浜松医科大学	一般整形 ・リハビリテ ーション	日本整形外科学会専門医 日本リハビリテーション学会専門医・指導医
まつもと 松本 けんじ 健司	平成 28 年	東京大学	リハビリ テーション	

## 診療科紹介

当院にて急性期医療を受けられている患者さんに対して、発症・手術後早期からリハビリテーションを行っています。受診には治療を行っている当院各診療科からの紹介が必要です。紹介元の診療科に入院したままリハビリテーションを行うので、リハビリテーション科の入院ベッドはありません。

ベッド上で安静にしている患者さんには、早くから車いすにすわって移動できるように、また自分で食事やトイレ動作ができるように、病状や安全に気を配りながら病室でリハビリテーションを行います。全身状態がおちついた患者さんには、訓練室に来ていただき、自宅での生活へ早く安心して復帰できるよう体のコンディション作り、日常生活動作の訓練を行います。

## 施設認定

- 心大血管疾患リハビリテーション（1）
- 脳血管疾患等リハビリテーション（1）
- 廃用症候群リハビリテーション（1）
- 運動器リハビリテーション（1）
- 呼吸器リハビリテーション（1）
- がん患者リハビリテーション

## リハビリテーション科

### 主な実績

新規患者数（2019年度）

整形外科	1,118人
循環器内科	593人
脳神経内科	404人
外科	246人
乳腺外科	245人
消化器内科	239人
脳神経外科	214人
呼吸器内科	200人
心臓血管外科	123人
血液内科	120人

### 外来案内

	月	火	水	木	金
午前	☆吉川 松本	☆吉川 松本	☆吉川 松本	☆吉川 松本	☆吉川 松本
午後	☆吉川 松本	松本	☆吉川 松本	☆吉川 松本	☆吉川

(注) ★印：部長 ☆印：副部長

通院でのリハビリテーションは原則として当院で急性期の治療を受けている方を除き行っておりません。

### 地域医療連携の取組

脳卒中や大腿骨頸部骨折などで、急性期治療が終わった後もリハビリテーションが必要な患者さんには、近隣の回復期リハビリテーション病棟のある病院で、スムーズにリハビリテーションを継続できるような協力体制を作っています。

医師紹介



歯科口腔外科・歯科・顎口腔機能再建外科部長

**亀井 和利** (かめい かずとし)

平成 3 年 鶴見大学 卒業

【専門分野】 口腔外科全般・顎変形症・外傷・顎関節症

【学会専門医・認定医】

国際口腔顎顔面外科専門医、日本口腔外科学会専門医・指導医、歯科医師臨床研修指導医、埼玉医科大学非常勤講師、日本口腔外科学会代議員、日本口腔顎顔面外傷学会評議員、日本顎変形症学会代議員

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
副部長 高橋 康輔 (たかはし こうすけ)	平成 20 年	日本大学	口腔外科全般 再生医療	歯学博士 日本口腔外科学会専門医 日本口腔科学会指導医・認定医 日本歯周病学会認定医 歯科医師臨床研修指導医	
医局長 鈴木 雄祐 (すずき ゆうすけ)	平成 24 年	日本大学	口腔外科全般	歯学博士 日本口腔外科学会認定医 日本口腔科学会認定医 歯科医師臨床研修指導医	
医局員	田島 麻衣 (たじま まい)	平成 26 年	日本大学	口腔外科全般	日本口腔外科学会認定医 日本口腔科学会認定医
	渡辺 駿 (わたなべ しゅん)	平成 28 年	昭和大学	口腔外科全般	日本口腔外科学会認定医 日本口腔ケア学会認定資格制度 4 級
研修医	大村 由季 (おおむら ゆうき)	令和 2 年	日本大学		
	有松 真央 (ありまつ まひろ)	令和 3 年	九州歯科大学		
非常勤 医師	近藤 壽郎 (こんどう としろう)	昭和 55 年	鶴見大学	顎外科・ 顎関節外科	鶴見大学客員教授 日本口腔外科学会代議員 歯学博士 日本口腔外科学会指導医・専門医 日本口腔科学会指導医・認定医 日本顎関節学会指導医・専門医
	小早川 元博 (こばやかわもとひろ)	昭和 59 年	鶴見大学	口腔外科全般	歯学博士 日本口腔外科学会指導医・専門医 日本顎関節学会指導医・専門医
	日下 輝雄 (くさか てるお)	平成 4 年	鶴見大学	歯科保存領域	経済産業省診療所副所長・副健康支援センター長 北海道大学客員教授 東京医科歯科大学臨床教授 高月病院客員講師 鶴見大学非常勤講師 歯学博士 日本歯科医学会連合大型研究推進委員 日本歯科保存学会専門医・評議員 他

歯科口腔外科・歯科・顎口腔機能再建外科

非常勤 医師	いとう 耕 伊藤 耕	平成 12 年	東北大学	口腔外科全般 顎変形症	歯学博士 埼玉医科大学歯科口腔外科准教授 日本口腔外科学会指導医・専門医 日本口腔科学会指導医・認定医 日本顎関節学会専門医 日本有病者歯科学会指導医・認定医 歯科医師臨床研修指導医
	はやし みえ 林 美恵	平成 15 年	鶴見大学	インプラント	歯科医師臨床研修指導医
	えだ たかし 枝 卓志	平成 22 年	日本大学	歯科放射線 口腔外科全般	鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像 診断学講座助教 日本口腔外科学会認定医 日本口腔科学会指導医・認定医
	うざわ たかし 宇澤 匡俊	平成 25 年	鶴見大学	有病者歯科	

**診療科紹介**

当科は（公社）日本口腔外科学会研修指定施設で智歯の抜歯をはじめとした、あらゆる口腔外科疾患に対応できる技術と設備を有しています。

**1 ■ 顎変形症**

県内のみならず全国の歯科医院から紹介頂き、矯正科医の先生と連携し顎変形症手術を行っています。理想的な咬合の獲得はもちろん、審美的な顔貌改善に配慮して手術方法を立案します。顎変形症の合併症の一つである術後の後戻りは、顎関節の形態や関節円板の状態把握が重要です。当院では顎変形症術後の後戻りを予防するために、患者さんによっては顎関節鏡を用いて検査を行います。顎関節の状態を十分に評価することで、顎関節症の治療を顎変形症手術前に追加する場合があります。当科では術前に患者さんと十分に話し合い、可能な限り親切にわかりやすく説明することが一番大切であると考えます。当科では、術後患者さんや矯正科医の先生が満足していただける手術を常に心がけています。開院してから約1,200件の顎変形症手術を行っており、当院の代表的な手術の一つとなっています。保険診療および自費診療に対応しています。

**2 ■ 顎関節症**

患者さんの状態に応じてスプリント治療などの保存的治療から顎関節外科・顎関節の再建まで幅広い症例に対応しています。当院ではより顎関節症の状態を適確に評価するため、高性能顎関節鏡を導入しています。従来のMRI検査では検出できない関節円板の穿孔などを評価した上で適切な治療方法を選択することが可能です。当院では顎関節鏡視下洗浄療法にも対応しています。

**3 ■ 顎顔面外傷**

当院救命救急センターと連携して顔面外傷を24時間体制で対応しています。歯の脱臼、歯槽骨骨折および顔面裂創をはじめとする1次救急から、顎骨骨折などの2次救急、生命予後にかかわる緊急手術が必要な脳頭蓋を含む顔面多発骨折などの3次救急に対しても対応します。顔面外傷はおもに形成外科医と連携して対応し、3次救急では脳神経外科、整形外科、形成外科および口腔外科が連携し緊急体制を整えております。

#### 4 ■ 顎骨骨髓炎

抜歯等外科処置後に生じた骨吸収抑制薬関連顎骨壊死(BP製剤関連顎骨壊死等)や放射線性顎骨壊死に対応しています。一般的な外科的手術治療をはじめ、当院では治療が困難である難治性顎骨壊死に対して、神奈川県でも導入数が少ない大型高気圧酸素治療装置を設置しております。高気圧酸素治療は難治性顎骨骨髓炎に有用な治療方法です。入院下または外来通院での加療が可能です。

#### 5 ■ 頭頸部腫瘍および顎骨再建

耳鼻咽喉科・形成外科・腫瘍内科・放射線科と共同治療体制を組んでいます。なかでも耳鼻咽喉科が主体となり顎顔面頭頸部外科手術を行います。化学療法や放射線治療など歯科単科では対応が困難な患者さんにも治療が可能です。術後の顔貌や機能再建は形成外科が主体となり、顎骨再建は歯科口腔外科が主体となり咬合機能の再建を目指します。当院では広範囲顎骨支持型装置埋入手術の施設基準を満たしており、保険によるインプラント治療が可能です。

### 施設認定

- 研修施設認定
  - ・厚生労働省 単独型歯科医師臨床研修施設
  - ・(公社) 日本口腔外科学会認定「研修施設」
- 基本診療料の施設基準
  - ・地域歯科診療支援病院歯科初診料
- 特掲診療料の施設基準
  - ・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）  
（歯科診療に係るものに限る。）
  - ・下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）  
（歯科診療に係るものに限る。）
  - ・歯科口腔リハビリテーション料 2
  - ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
  - ・クラウン・ブリッジ維持管理料

### 主な実績

中央手術部での手術	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
顎変形症	60	56	75	67	73
顎骨骨折	16	9	13	9	15
プレート・スクリュー除去	31	24	30	31	28
顎骨嚢胞・良性腫瘍	37	35	18	16	26
抜歯	29	35	15	38	24
インプラント	31	21	15	19	24
顎関節症	0	0	3	19	52
悪性腫瘍および顎骨再建 (耳鼻科合同手術を含む)	6	26	7	6	7
その他	33	20	30	11	7
計	243	226	206	216	256

## 外来案内

		月	火	水	木	金	
紹介 予約	午前	新患	交替制	交替制	田島 渡辺	交替制	☆高橋 鈴木
		再診	(手術日) (第4週 インプラント外来)	(手術日) ★亀井 ☆高橋 鈴木 田島 渡辺 大村 有松	★亀井 ☆高橋 鈴木 田島 渡辺 大村 有松 (第2,3週 顎変形症外来)	(手術日) 小早川	★亀井 ☆高橋 鈴木 田島 渡辺 大村 有松 (第2週 インプラント外来) (第4週 顎変形症外来)
	午後	(手術日) (第1, 4週 インプラント外来)	(外来手術日)	(外来手術日) (第2,3週 顎変形症外来)	(手術日) (有病者歯科外来)	(第1,3,4,5週 外来手術日) (第4週 顎変形症外来) (インプラント外来)	

(注) ★印: 部長 ☆印: 副部長

### 特殊外来

インプラント外来: 月曜日 (第1は午後、第4は1日) 金曜日 (第1・3・4は午後、第2は1日)

有病者歯科外来: 毎週木曜日午後

顎変形症外来: 第2・3水曜日、第4金曜日

### 初診予約枠の特徴

#### ■一般診療の予約

初診予約は診察まで日数や時間をいただく場合がある事をご了承ください。

担当医を指名したい場合は医師名を記載してご紹介ください。指名された医師が診察いたします。口腔外科外来宛の紹介は新患担当医が診察いたします。

#### ■インプラント治療の予約

インプラント外来での診療予約になります。上部構造に関しても補綴専門医が対応いたします。特掲診療科の広範囲顎骨支持型装置埋入手術の施設基準を満たしております。

#### ■顎変形症外来の予約

顎変形症に対する専門外来を増設し診療にあたっています。治療方針につきましては矯正医と各々ディスカッションを行い治療方針を決定いたします。

### 紹介をいただく先生方へ

現在、紹介をいただいた患者さんの診察までにお時間をいただいております。現在診療体制を整えてなるべくお待たせする期間が少なくなるように体制作りをしております。緊急時の紹介につきましては予約センターでの予約は受診がかなり先になる可能性もありますので直接お電話をいただき、医師と相談の上、緊急受診の必要性がある方の受け入れは行うようにしております。

症例に応じて予約枠をご検討いただければ幸甚であります。

## 地域医療連携の取組

顎顔面外傷は形成外科と連携し24時間受け入れ体制を確立しています。ビスフォスフォネート関連顎骨壊死、薬剤関連顎骨壊死および放射線性顎骨壊死など難治性骨髄炎治療に力を入れており、神奈川県でも数カ所しか設置されていない大型高気圧酸素療法が可能な設備が整っています。また耳鼻咽喉科、形成外科、放射線治療科および外来化学療法室と連携した口腔癌の治療や腫瘍切除後の広範囲顎骨欠損に対して保険でのインプラント治療を行っております。診断に苦慮するような症例の相談も随時承ります。上記に限らずどのような症例についてもお気軽にご紹介ください。

# 放射線診断科・放射線 IVR 科

## 医師紹介



### 放射線診断科部長

**館野 円** (たての まどか)

昭和 61 年 群馬大学 卒業

【専門分野】 画像診断

【学会専門医・認定医】

日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本核医学会核医学専門医



### 放射線 IVR 科部長

**松井 青史** (まつい せいし)

昭和 60 年 昭和大学 卒業

【専門分野】 IVR、腹部画像診断

【学会専門医・認定医】

日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本 IVR 学会専門医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
放射線 IVR 科 副部長 かわまた ひろし 川俣 博志	昭和 63 年	日本医科大学	IVR	日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本 IVR 学会専門医 日本脈管学会脈管専門医 大動脈ステントグラフト指導医	
放射線診断科 副部長 こいけ しげおみ 小池 繁臣	平成 4 年	鳥取大学	画像診断	日本医学放射線学会放射線診断専門医 検診マンモグラフィー読影認定医	
放射線診断科 医師	ながた のぶえ 永田 延江	平成 8 年	山形大学	画像診断	日本医学放射線学会放射線診断専門医 検診マンモグラフィー読影認定医 日本 IVR 学会専門医
	まついけんたろう 松井健太郎	平成 22 年	三重大学	画像診断	日本医学放射線学会放射線診断専門医
	キシュ ボルバーラ Kiss Borbala	平成 18 年	ハンガリー国立 ペーチ大学	画像診断	検診マンモグラフィー読影認定医

## 診療科紹介

### 放射線診断科・放射線 IVR 科

放射線診断科・放射線 IVR 科は、ともに中央サービス部門に位置付けられます。

他の診療科からの依頼により、CT、MRI、核医学検査の実施及び診断を行っております。2021年度の検査件数は、CT (64列3台) およそ 33,000 件、MRI (3.0T 2台、1.5T 1台) およそ 13,000 件、核医学 (ガンマカメラ 1台、SPECT 装置 1台) 1,200 件ほどです。

IVR (interventional radiology) としては、2名の IVR 専門医を中心に、副腎支脈静脈採血 (146 件、本邦最多)、大動脈ステントグラフト留置、中心静脈ポート留置、肝がんの血管塞栓術、膀胱がんに対する動注化学療法、高エネルギー骨盤外傷や消化管出血、産科危機的出血などに対する塞栓止血術、BRTO (胃静脈瘤塞栓術)、血管拡張術 (PTA とステント留置)、CT ガイド下あるいは透視下で行う生検やドレナージなど、多岐にわたる治療・検査に対応しております。

## 施設認定

- 放射線科専門医総合修練機関
- 胸部・腹部大動脈ステントグラフト実施施設
- 日本 IVR 学会修練認定施設
- 医療被ばく低減施設

## 外来案内

当科は外来診療を行っておりません。

院外の先生方からの CT、MRI、核医学検査のお申し込みは地域連携室を介して承り、画像の CDR および放射線診断専門医による報告書をお送りいたします。「共同利用のご案内」(P.158) をご参照ください。

## 医師紹介



責任医師 副部長

**松井 とにか** (まつい とにか)

平成 17 年 長崎大学 卒業

【専門分野】 放射線治療

【学会専門医・認定医】

日本医学放射線学会放射線治療専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
日本医師会認定産業医

## 診療科紹介

### 放射線治療科について

放射線治療は手術や化学療法とならぶ標準的ながん治療法の 1 つです。放射線治療はほぼすべてのがんに対して適応があります。

以前は手術や化学療法を受けられない人が「仕方なく受ける治らない治療」というイメージが強かった時代もありましたが、近年では治療機器性能の飛躍的向上により一部の早期がんであれば放射線治療単独で治癒可能なものもあります。また、ある程度進行したがんの場合も、手術や化学療法と組み合わせることで再発予防や機能温存をはかることができます。残念ながら根治不能になった場合も、鎮痛薬で制御困難な腫瘍による痛みや通過障害を放射線治療で緩和することで患者さんの QOL 維持に役立ちます。

このように、放射線治療科は常のがんを扱う他診療科と連携しながら、1 人 1 人の患者さんにとって最適な治療を提供できるよう努めています。

## 放射線治療科

### 診療の特徴

#### ①チーム医療

放射線治療科では放射線治療専門医、看護師、診療放射線技師、医学物理士などの職種が連携して診療にあたっています。スタッフは定期的にカンファレンスを行い、現在放射線治療中の患者さんの治療状況、身体及び精神状態、家庭や職場などの社会的背景についても情報を共有するよう努めています。

現在最も多いのは乳がんの患者さんですが、医師、看護師の他毎日の治療に直接携わる放射線技師にも女性スタッフを配置して、安心して治療をうけていただけるよう配慮しています。

#### ②生活と治療の両立

放射線治療回数は病状や治療目的により異なりますが、1回で終わる場合は少なく、平日毎日連続して数週間かけて行うことが一般的です。そのため、通院のしやすさは治療場所を選ぶ上での重要なポイントの1つになります。

当院は新横浜駅に近く、ご自宅や職場から距離的に遠くとも交通アクセスは良好です。

治療時間は 8:30 ~ 16:30 の間（高精度治療は別枠）で原則予約制です。そのため待ち時間も比較的少なく、1日の予定が立てやすくなります。例えば、治療期間中だけ勤務時間を少し調整していただければ仕事前や仕事帰りに治療したり、公共交通機関の空いている時間にゆっくり来たいなど、それぞれの生活スタイルにあった時間帯に治療できます。

また、在宅で訪問診療を受けていて連日の通院が困難な場合でも、骨転移の疼痛緩和など治療適応があれば1回で完結する治療も行っています。

#### ③高精度治療

当科ではリニアック 2 台を用いて放射線治療を行っています。

うち 1 台は、cone beam CT による画像誘導放射線治療 (IGRT) や呼吸同期装置を備えた国内最高水準の高精度放射線治療装置 Varian 社製 True Beam STX (ノバルリス) で、2014 年 4 月より主に前立腺がんに対して IMRT を最新方式 (VMAT) で施行開始し、9 月より肺がんに対する体幹部定位照射 (ピンポイント照射) を開始しています。

## 主な実績

### 放射線治療科 対応疾患・治療実績

#### 原発巣別治療患者数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
脳・脊髄腫瘍	1	0	1	2	1
頭頸部腫瘍（甲状腺腫瘍含む）	10	17	28	29	22
食道がん	12	8	12	9	15
肺がん・気管・縦隔腫瘍	34	32	34	30	47
乳がん	148	138	145	186	170
肝・胆・膵がん	1	4	2	8	5
胃・小腸・結腸・直腸がん	14	16	21	13	13
婦人科腫瘍	11	4	11	11	7
泌尿器系腫瘍	102	82	78	85	95
造血器リンパ系腫瘍	14	19	13	16	15
皮膚・骨・軟部腫瘍	2	11	3	1	1
その他（悪性腫瘍）	2	2	0	2	3
良性疾患	1	0	2	0	0
年間合計	352	333	350	392	394
うち院内	291	300	291	334	335
院外	61	33	59	58	59

#### 上記のうち、高精度放射線治療患者数

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
強度変調放射線治療（IMRT）	前立腺	53	56	61	66	76
	その他	3	10	4	9	9
体幹部定位放射線治療（SBRT）	肺	6	4	11	6	11
高精度治療 計		62	70	76	81	96

放射線治療科

外来案内

		月	火	水	木	金
紹介予約	午前	☆◇松井	☆◇松井	☆◇松井	杉山	☆◇松井
	午後	繁永	☆◇松井	☆◇松井	☆◇松井	☆◇松井

(注) 放射線治療科 ☆印: 副部長 ◇印: 女性医師

他医療機関におかかりの方で当院での放射線治療をご希望される場合は、事前に予約センターまでご連絡いただき、当科の診察枠を予約してください。

放射線治療ではなく CT や MRI、核医学検査などの画像診断検査をご希望の場合は、事前に地域連携室までご連絡いただき、共同利用の申し込みをしてください。画像診断検査の場合、当科の診療予約は不要です。

なお、当科には入院病床がありませんので、他医療機関から直接ご紹介いただく場合は通院での治療が可能であることが必要です（治療時間や回数をご相談ください）。入院下での放射線治療が必要な場合は、まずは当院当該科にご相談ください。

# 救命救急センター 救急科、救急災害医療部

## 医師紹介



### 救命救急センター長

**木下 弘壽** (きのした ひろひさ)

昭和 59 年 千葉大学 卒業・医学博士

【専門分野】 救急医学、外科学、災害医学

【学会専門医・認定医】

日本救急医学会救急科専門医、日本消化器病学会専門医、慶応義塾大学医学部客員准教授（救急医学）



### 救急災害医療部長

**中森 知毅** (なかもり ともき)

平成 2 年 山口大学 卒業・医学博士

【専門分野】 救急医学、神経内科学、脳卒中学、災害医学

【学会専門医・認定医】

日本救急医学会救急科専門医・指導医、評議員、日本内科学会認定内科医・指導医、日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医・指導医、社会医学系専門医・指導医、慶応義塾大学医学部客員講師（救急医学）、日本神経救急医学会評議員、日本災害医学会評議員、防災学術連携体委員



### 救急科部長

**中村 俊介** (なかむら しゅんすけ)

平成 5 年 長崎大学 卒業・医学博士

【専門分野】 救急医学、脳神経外科学、脳卒中学

【学会専門医・認定医】

日本救急医学会救急科専門医・指導医、日本脳神経外科学会認定専門医、日本脳卒中学会専門医、日本リハビリテーション学会臨床認定医

## 救命救急センター 救急科、救急災害医療部

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
救急災害医療部副部長 三田 直人 (みた なおと)	平成 18 年	筑波大学	救急医学 災害医学	日本救急医学会救急科専門医 日本内科学会認定内科医・指導医 社会医学系専門医・指導医	
医師	照屋 秀樹 (てるや ひでき)	平成 9 年	東京医科歯科大学	救急医学 小児救急医学 小児集中治療学	日本小児科学会認定専門医 麻酔科標榜医 日本医師会認定産業医 医療管理政策学修士 (MMA) 医学博士
	高田 志保 (たかだ しほ)	平成 11 年	産業医科大学	救急医学 総合内科学 医療疫学 (臨床疫学)	日本救急医学会救急科専門医 日本内科学会総合内科専門医 医学博士
	入福浜由奈 (いりふくはま ゆな)	平成 21 年	産業医科大学	救急医学 集中治療医学	日本救急医学会救急科専門医 日本集中治療医学会集中治療専門医
	植地 貴弘 (うえち たかひろ)	平成 22 年	産業医科大学	救急医学	日本救急医学会救急科専門医 日本内科学会総合内科専門医 医学博士
	高瀬 亮 (たかせ りょう)	平成 24 年	東北大学	小児救急医学 救急医学	日本小児科学会専門医
	竹下 諒 (たけした りょう)	平成 25 年	金沢大学	救急医学	日本救急医学会救急科専門医
	早川 達也 (はやかわ たつや)	平成 26 年	日本医科大学	救急医学 小児科	日本小児科学会専門医
	宮城 隆志 (みやぎ たかし)	平成 26 年	昭和大学	救急医学 小児救急医学	日本救急医学会救急科専門医

### 診療科紹介

当院は、2011年4月から、特に重症度や緊急性の高い救急患者さんに対応する施設である「救命救急センター」の認可を受けました。しかし、それまでとかわらず、たとえ軽症であっても、また来院方法（救急車で来院か、そうでないか）にかかわらず、急に具合が悪くなった方に対応しています。また、救急外来では、小児科領域と産婦人科領域の患者さん以外は、昼夜や休日を問わず、まず救急医が初療し、その後に必要に応じて各科専門医に相談する、という運営方式をとっています。

お困りのかたは、まずお電話でご相談ください。

### 診療内容

2020年は、16,935名の救急患者さんが当院を受診され、4,661名（全救急患者の28%）の患者さんが入院されました。受け入れた救急車の台数は5,696台でした。救急科としては、832名の方の入院を担当しました。設備の面では、2013年12月に救急外来に救急専用のCT、血液ガス分析装置が設置され、より安全に素早く検査ができるようになりました。救急に関する病棟としては、救急外来に併設された一泊経過観察入院床が11床（内2床が陰圧管理可）、そのほか病棟4階に救命救急病棟が16床、救命ICU病棟が4床あります。さらに集中治療部が管理するICU病棟が10床あり、私たちはこれらを駆使して、横浜市北東部の中核施設として救急医療を担っています。また2018年度から始まる新専門医制度では、救急科専門医育成の基幹施設として後進の育成をすすめています。

## 主な実績

2020年救急患者の内訳

救急患者 16,935 人の主な内訳

CPA 症例数	289
重篤患者数	208
重症患者数	999
外傷患者数	3,348

## 外来案内

救急科として1次から3次までの患者さんを受け入れている関係上、後方専門科ベット状況によってはER受診入院後翌日に他院転院となることがあります。救急患者受診に関しては、ER担当医にご相談ください。

## 総合診療部



総合診療部長、救急災害医療部長

**中森 知毅** (なかもり ともき)

平成2年 山口大学 卒業・医学博士

【専門分野】救急医学、神経内科学、脳卒中学、災害医学

【学会専門医・認定医】

日本救急医学会救急科専門医・指導医、評議員、日本内科学会認定内科医・指導医、日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医・指導医、社会医学系専門医・指導医、慶応義塾大学医学部客員講師（救急医学）、日本神経救急医学会評議員、日本災害医学会評議員、防災学術連携体委員

### 診療科紹介

総合診療部では昨年度までは入院を担当せず、総合初診外来のみを担当してきました。ご自分がどの科を受診したらよいかわからない患者さんや、複数の科にわたる問題を抱えている患者さんに対応してきました。しかし、コロナ禍となり、2020年12月からの総合初診外来を一旦閉じることになりました。接触者外来や発熱外来への対応が必要となったためです。今後、再開する見込みがたちましたら、また、ホームページ上でお知らせいたします。

当院への患者さんのご紹介は、各当該科へお願いします。もし、紹介先が不明な場合は地域医療連携室にご連絡ください。

### 主な実績

### 外来案内

# 総合手術センター 麻酔科・中央手術部

## 医師紹介



### 総合手術センター長

**水谷 健司** (みずたに けんじ)

平成7年 横浜市立大学 卒業

【専門分野】 麻酔一般

【学会専門医・認定医】 日本麻酔科学会専門医・指導医



### 麻酔科部長

**越後 憲之** (えちご のりゆき)

平成4年 山形大学 卒業

【専門分野】 麻酔一般

【学会専門医・認定医】 日本麻酔科学会専門医・指導医



### 中央手術部統括部長

**曽我 広太** (そが こうた)

昭和61年 横浜市立大学 卒業

【専門分野】 麻酔一般

【学会専門医・認定医】 日本麻酔科学会専門医・指導医



### 中央手術部長

**高杉 直哉** (たかすぎ なおや)

平成7年 産業医科大学 卒業

【専門分野】 麻酔一般

【学会専門医・認定医】 日本麻酔科学会専門医・指導医

総合手術センター 麻酔科・中央手術部

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
麻酔科 チーフコンサルタント のぞき 野崎 心じのり 藤章	昭和 47 年	横浜市立大学	麻酔一般	日本麻酔科学会専門医	
麻酔科 副部長 きたばやし 北林 しょうこ 亮子	平成 17 年	秋田大学	麻酔一般	日本麻酔科学会専門医・指導医	
医 師	おちあい 落合 めり 芽里	平成 23 年	東海大学	麻酔一般	日本麻酔科学会認定医
	こんどう ゆりこ 近藤有理子	平成 23 年	東邦大学	麻酔一般	日本麻酔科学会専門医
	よしかわ ななこ 吉川菜々子	平成 24 年	藤田保健衛生大学	麻酔一般	日本麻酔科学会専門医
	みつだ けいご 光田 慧吾	平成 26 年	京都府立医科大学	麻酔一般	日本麻酔科学会専門医
	いまい あやみ 今井 綾美	平成 30 年	産業医科大学	麻酔一般	

診療科紹介

横浜労災病院麻酔科は常勤医師 11 名と非常勤医師で、年間約 5,000 件の麻酔科管理症例を担当しています。12 部屋ある手術室は毎日休むことなく、朝から稼働しています。開心術、開頭手術、肝臓切除術といった大手術、外科・泌尿器科・産婦人科などの腹腔鏡手術、外傷を含めた四肢や脊椎の整形外科手術、胸腔鏡を中心とした肺手術、小児外科・乳腺外科・耳鼻科・眼科・形成外科・口腔外科・皮膚科手術の麻酔管理をしています。それぞれの手術に対応した麻酔法は多岐に渡り、常に時代に則した標準的な麻酔となるように心がけています。

感染対策にも配慮し、入院患者さんには原則全員 PCR 検査を施行し、呼吸器衛生 / 咳エチケットを含む標準予防策をしています。具体的には麻酔の開始・終了時には 2 重手袋、ゴーグルまたはフェイスシールド、N95 マスク、キャップ、ガウンの着用、手指衛生を徹底しています。

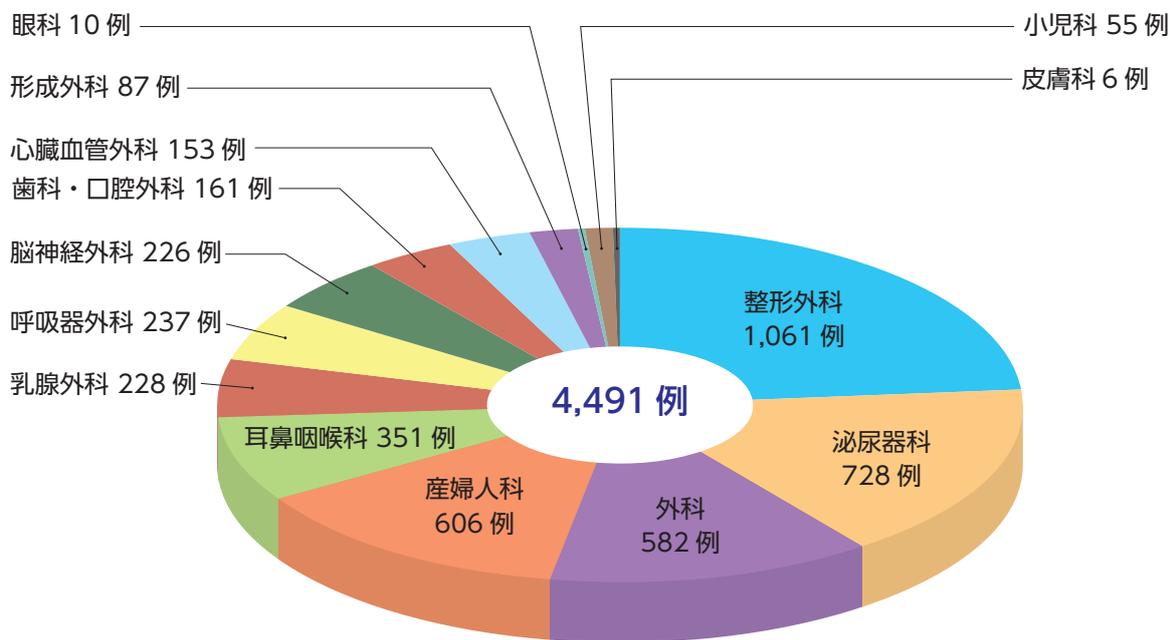
主な実績

手術件数の年別推移



総合手術センター

図 令和2年の麻酔科管理症例（4,491例）の内訳



### 外来案内

現在ペイン外来は休診しています。

### 患者のみなさまへ

#### 手術を受けるとき

治療や検査のために手術が必要になることがあります。そのとき意識や痛みがあると辛いだけでなく、生体にも悪影響を及ぼす反応が出てきます。そこで、生体にストレスがかからず、安全に手術ができるように麻酔を行います。簡単な局所麻酔以外は私たち麻酔科医が麻酔を担当します。局所麻酔では手術が難しい時、長時間の手術の時、小児などで安静が保てない時はもちろん、それ以外でも多くの場で活躍しています。

一般的に手術を受けるだけで、体に大きな負担がかかります。そこで適切な麻酔法を選択し、それに合った点滴や麻酔薬を使うことで、できる限り負担なく、正常な状態を保ち続けられるようにしています。また、手術中は予期しないことが起こる可能性があるため、私たちは手術前にカルテを見て、患者さんにお会いし、診察した後に、術前の問題点を検討し、カンファレンスで最終決定となります。手術中は麻酔薬を適宜調節しながら、安定した血圧や心拍数で手術がおこなわれるようにしています。このようにして、安全かつ質の高い麻酔をすることで、患者さんにより良い結果がもたらされるようにしています。

## 総合手術センター 麻酔科・中央手術部

### 麻酔の方法

大きく分けて①全身麻酔、②硬膜外麻酔、③脊髄くも膜下麻酔、④神経ブロックがあり、どれか一つあるいはこれらを組み合わせて行います。最近では深部静脈血栓症（エコノミークラス症候群）発症予防のため抗血栓薬を使用することが増加したことと、腹腔鏡や胸腔鏡を用いた手術が増加したことより硬膜外麻酔の頻度が減り、神経ブロックの割合が増えています。最終的な麻酔の方法は手術の内容、患者さんの状態などで決定します。

### 地域医療連携の取組

私たち麻酔科は地域医療連携システムの中で重要な役割を果たすことが可能です。近隣の医院・クリニックからの紹介の手術で、迅速に対応し、退院後は紹介元へお戻しするお手伝いをすることが出来ます。また、診療所等からの依頼で緊急手術になった場合も当直体制を敷いているため、夜間や休日でも対応可能です。手術だけでなく、検査や治療で安静が保つことが出来ない患者さんの麻酔にも積極的に関与することが出来ますのでいつでもご相談ください。

# 中央集中治療部・集中治療科

## 医師紹介



### 中央集中治療部長

**西澤 英雄** (にしざわ ひでお)

昭和 62 年 横浜市立大学 卒業

【専門分野】 集中治療医学、麻酔科学

【学会専門医・認定医】

日本集中治療医学会専門医、日本集中治療医学会評議員、日本麻酔科学学会指導医・専門医、日本呼吸療法医学会専門医、日本臨床栄養代謝学会専門医、ICD (infection control doctor)



### 集中治療科部長

**藤本 潤一** (ふじもと じゅんいち)

平成 5 年 横浜市立大学 卒業

【専門分野】 集中治療医学、麻酔科学

【学会専門医・認定医】

日本集中治療医学会専門医、日本麻酔科学学会指導医・専門医、日本呼吸療法医学会専門医、日本呼吸療法医学会代議員

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等	
副部長	七尾 大観 ななお たいかん	平成 18 年	横浜市立大学	集中治療医学 麻酔科学	日本集中治療医学会専門医 日本麻酔科学学会専門医 日本救急医学会専門医 ICD (infection control doctor) 抗菌化学療法認定医 healthcare-MBA
	木村 康宏 きむら やすひろ	平成 19 年	浜松医科大学	集中治療医学 麻酔科学	日本集中治療医学会専門医 日本麻酔科学学会専門医
医師	大和田 玄 おおわだ げん	平成 21 年	久留米大学	集中治療医学 麻酔科学	日本集中治療医学会専門医 日本麻酔科学学会専門医 ICD (infection control doctor) 抗菌化学療法認定医
	金子 尚樹 かねこ なおき	平成 24 年	北里大学	集中治療医学 小児科学	日本集中治療医学会専門医 日本小児科学学会専門医
	森村 太一 もりむら たいち	平成 27 年	横浜市立大学	麻酔科学	日本麻酔科学学会認定医
	石井 彰 いしい あきら	平成 29 年	大分大学	麻酔科学	麻酔科標榜医

## 診療科紹介

当院 ICU は 10 床を有し、年間約 700 人の入室患者があります。通常の ICU は大手術の術後管理と一般病棟からの重症患者の管理を行う病棟ですが、当院 ICU は救急外来からの重症患者も多数受け入れていることが特徴です。その数は年間約 200 人と入室患者の約 1/3 を占めており、扱う疾患は敗血症、心不全、呼吸不全、心肺停止蘇生後、多発外傷、内分泌学的緊急症、薬物中毒など、非常に多岐にわたっています。

術後管理では、脳神経外科の脳腫瘍手術、脳動脈瘤クリッピング、血腫除去術（脳出血、頭部外傷）、心臓血管外科の冠動脈バイパス術、弁置換術、大血管手術、外科の肝臓、膵臓、消化管穿孔手術、呼吸器外科の肺癌手術などが主体です。

内科系では循環器疾患が多く、急性冠症候群、不整脈、心不全などで人工呼吸や補助循環を必要とするような最重症患者の管理を行っています。その他、脳血管障害、神経筋疾患、重症肺炎、重症膵炎などの管理も行っています。

当院 ICU は、集中治療専門医 2 名以上の専従や臨床工学技士の常時勤務など、従来の ICU より高度の施設基準が求められる特定集中治療室管理料 1 の算定が認可されています。また、日本集中治療医学会専門医研修施設に認定されており、集中治療専門医育成機関としての一役も担っています。

### 診療体制

現在 ICU 専従医は 8 名で、専従医が ICU に 24 時間常駐して患者管理を行っています。欧米では、ICU 専従医が常駐して患者管理を行う ICU (= closed ICU) は、そうでない ICU に比べて患者の生存率、入院期間、医療費などの点において優れていることが示されています。日本は集中治療医が不足しているため、大学病院であっても必ずしも closed ICU 体制をとれていないのが現状ですが、当院は市中病院でありながら closed ICU 体制をとれている数少ない病院の一つです。

実際に患者管理に当たるのは ICU 専従医ですが、担当診療科医師、看護師、薬剤師、理学療法士、臨床工学技士を交えた多職種カンファランスを毎日行い、病態の把握や治療方針の検討を行っています。また、専従医 8 名のうち 5 名が集中治療専門医ですので、初期研修医や後期研修医の教育・指導体制も非常に充実しています。

## 施設認定

- 特定集中治療室管理料 1 算定認可施設
- 日本集中治療医学会専門医研修施設

主な実績

最近3年間の入室区分集計

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総入室患者数	775	774	728
定時手術後	460	479	442
救急外来	211	186	188
病棟急変	96	98	90
手術中急変	8	11	8

最近3年間の診療科別集計

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
脳神経外科	167	173	162
外科	117	114	97
心臓血管外科	102	98	91
呼吸器外科	88	91	94
整形外科	69	72	68
口腔外科	62	49	53
神経内科	37	48	37
循環器内科	49	43	61
消化器内科	15	15	14
呼吸器内科	11	15	12
耳鼻科	5	11	9
腎臓内科	6	9	6
泌尿器科	12	7	9
救急科	6	6	2
小児科	7	5	2
その他	22	18	11

最近3年間の処置件数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人工呼吸	216	201	167
非侵襲的陽圧換気	10	20	11
気管挿管	57	45	45
経皮的気管切開	10	11	9
輪状甲状間膜穿刺	5	4	2
中心静脈穿刺	78	79	70
血液浄化療法	68	61	43
VA-ECMO	17	18	9
VV-ECMO	1	0	0

## 病理診断科

### 医師紹介



病理診断科部長

**角田 幸雄** (かくた ゆきお)

昭和 59 年 北海道大学 卒業

【専門分野】 病理診断

【学会専門医・認定医】

日本病理学会専門医、日本臨床細胞学会専門医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
顎口腔病理診断科 副部長 はせがわ なおき 長谷川直樹	平成 2 年	鶴見大学	口腔病理診断	日本口腔病理学会専門医

### 診療科紹介

#### 1. 組織診断

採取された検体から顕微鏡標本を作製し、患者さんの病変が炎症か腫瘍か、炎症ならば何が原因か、腫瘍ならば良性か悪性かなどを調べます。また、手術で摘出された胃・大腸・肝臓・肺・膀胱・子宮などから腫瘍の進行度などを決定します。術中迅速診断では手術の途中で検体を凍結して標本をつくり、リンパ節や切除の断端にがん細胞がないかを約 10 分で確認しています。最近では腫瘍に対して使用する薬剤を選択するため、病理の検体を用いた遺伝子検査も行われるようになってきました。

#### 2. 細胞診断

喀痰や尿などの排出物の中に異常な細胞がないかを調べます。また胸水・腹水・胆汁などの液状検体内の異常細胞を調べます。婦人科の子宮スミアはがん検診のスクリーニングとして長い歴史があり、きわめて有用であることはよく知られています。さらに、乳腺や甲状腺のしこりに針を刺してそこからとられた細胞を調べ、しこりがどんな性質のものをかを推定することができます。これらは臨床検査技師の中でも高度の訓練を受けた細胞検査士が行っています。

#### 3. 病理解剖

病院で亡くなった患者さんを解剖させていただき、病気の広がりや進行度、生前に行われた治療がどれくらい有効であったか、最終的な死因は何かなどをくわしく調べます。

#### 4. 教育

希望する研修医に、1~2 か月の期間で病理診断の基本を体験してもらっています。また、院内 CPC (剖検症例検討会) を年 6 回開催しています。

### 施設認定

- 日本病理学会認定施設
- 日本臨床細胞学会認定施設

### 主な実績

#### 臨床実績

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
組織診断	9,481	9,399	9,239	8,878	7,792
細胞診断	9,499	8,774	8,515	8,729	7,303
術中迅速診断	530	526	446	517	463
病理解剖	12	12	17	15	7

## (勤労者) 健康管理センター 健康診断部

### 医師紹介



副院長  
(勤労者) 健康管理センター長

**永瀬 肇** (ながせ はじめ)

昭和 61 年 横浜市立大学 卒業

【専門分野】 消化器全般

【学会専門医・認定医】

日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、  
日本内科学会認定医・研修指導医、日本肝臓学会専門医  
日本カプセル内視鏡学会指導医、社会医学系専門医・指導医



健康診断部長

**安部 慎治** (あべ しんじ)

昭和 60 年 東京医科歯科大学 卒業

【専門分野】 予防医学・循環器

【学会専門医・認定医】

人間ドック健診専門医・指導医、健診情報管理指導士、日本内科学会  
総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本医師会認定  
産業医、社会医学系専門医・指導医

氏名	卒業年次	卒業大学	専門	専門医・認定医等
副部長 谷 理恵	平成 8 年	横浜市立大学	消化器病	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本肝臓学会肝臓専門医 日本人間ドック学会人間ドック認定医 人間ドック健診専門医 日本医師会認定産業医
副部長 高邑 知生	昭和 63 年	福島県立医科大学	消化器病	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医
医師 服部 明子	平成 19 年	北里大学	消化器病	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医

## 診療科紹介

### 診療概要

世界有数の長寿国である我が国にあっても、元気にすごせる健康寿命を延ばして QOL の向上を図るには、「病気の早期診断・治療」および「生活習慣病等の発症予防」につとめることが重要です。そのためには健康診断による定期的な健康状態のチェックが不可欠です。また、その年の結果だけで評価するのではなく、過去のデータとの比較が重要であり、信頼のおける医療機関での継続的な健康診断の実施が望まれます。

横浜市地域中核病院である当院は新横浜駅（JR 新幹線・横浜線、市営地下鉄線）から徒歩 7 分と交通至便な立地にあります。高度な医療機器と専任スタッフによる質の高い人間ドックを行い高い評価をいただけてきました。さらに、宿泊コースに加え、簡便で内容も充実した基本コース（半日）を用意するなど、皆さまの広いご要望にお応えするための努力を継続しています。

### 診療内容

#### 1. 充実した内容と安心

多様なニーズにお応えできるように幅広いコース設定を行うとともに、各種オプション検査の追加もでき、充実した検査内容となっています。また、専門スタッフが検査を実施し、各科専門医が診断を行いますので安心して受診していただけます。

#### 2. 個別的な事後指導

医師による面談、診察および結果説明を専用診察室で行います（※ 1）。その際、検査値が正常か異常かだけでなく、過去のデータとの比較を重視して説明します。また、個別の生活事情等を加味した結果報告書を作成し、生活改善のための具体的なアドバイスをを行います。

#### 3. 当院各診療科でのフォローアップ

検査結果より専門診療科の受診が必要な場合、ご希望により院内各科へのスムーズな受診をアシストします。

#### 4. 無痛内視鏡検査・経鼻内視鏡検査

内視鏡検査が苦手な方のために、経鼻あるいは鎮静剤（※ 2）を用いて眠っているうちに楽に受けられる胃カメラ検査が好評をいただいています。

※ 1 検査結果が当日でない項目は、後日まとめて郵送でのご報告となります。

※ 2 医師の判断により、鎮静剤を使用できない場合があります。

## 施設認定

- 全日本病院協会 日帰り人間ドック実施指定施設

## 主な実績

2020年4月～2021年3月

人間ドック	2,477名（日帰り 2,468名、宿泊 9名）
企業健診	1,040名

## 人間ドックコースの紹介

### 1. 人間ドック (午前コース)

• 基本項目を午前中で終了します。オプション検査選択の場合、終了時間は変わります。

• 料金 49,500 円 (税込) ~

• 基本項目

身体測定 / 視力・眼圧・眼底写真 / 聴力 / 呼吸機能 / 血液・検尿検査 / 便潜血検査 / 胸部 X 線 / 心電図・  
血圧 / 消化器検査 (腹部超音波検査、上部消化管検査〈胃透視、経口・経鼻内視鏡検査、鎮静剤使  
用内視鏡検査から選択〉)

### 2. 人間ドック (午後コース)

• 基本項目を午後から開始します (65 歳未満の方)。夏期 (7 月~9 月) は実施していません。

• オプション検査は後日実施となります。

• 料金 49,500 円 (税込) ~

• 基本項目

身体測定 / 視力・眼圧・眼底写真 / 聴力 / 呼吸機能 / 血液・検尿検査 / 便潜血検査 / 胸部 X 線 / 心電図・  
血圧 / 消化器検査 (腹部超音波検査、上部消化管検査〈胃透視、経口・経鼻内視鏡検査、鎮静剤使  
用内視鏡検査から選択〉)

### 3. 人間ドック (宿泊コース)

• 全身の総合的検査を宿泊 (1 泊) にて行います。

※宿泊コースでは、鎮静剤使用内視鏡検査は選択できません。

• 料金 143,000 円 (税込) ~

• 基本項目

人間ドック (基本コース) に加えて、糖負荷試験 / 大腸内視鏡検査 / 運動負荷心電図 / 耳鼻科・眼  
科診察等

※主なオプション検査 (上記1、2、3の人間ドックコースに共通)

婦人科系 (マンモグラフィ、乳腺超音波、子宮頸部細胞診) / 動脈硬化 (頸動脈超音波、血圧脈波)  
/ 胸部疾患 (胸部 CT、喀痰細胞診) / 頭部 (MRI・MRA、CT) / 膵臓 (MRCP、エラスターゼ 1、  
SPan1) / 骨密度検査 (DEXA) / 大腸内視鏡検査 / 糖負荷試験 / 腫瘍マーカー等

外来で長期フォロー中の患者さんの思わぬ疾病併発のチェックや、医療従事者の皆様の健康管理にご  
利用ください。

予約・お問い合わせ

横浜労災病院 健康管理センター  
TEL:045 - 474 - 8533 (直通)

受付時間：平日 9:00 ~ 16:00

人間ドック・宿泊ドックのご予約は、受診希望日の 2 ヶ月前の月初より

電話またはメール (病院 HP より) にて承っております。

## (勤労者) 健康管理センター 女性ヘルスケア部

### 医師紹介



女性ヘルスケア部長

**茶木 修** (ちゃき おさむ)

昭和 62 年 横浜市立大学 卒業

【専門分野】

産婦人科一般、女性ヘルスケア、内分泌、更年期、骨粗鬆症

【学会専門医・認定医】

日本産科婦人科学会専門医、日本産科婦人科学会指導医、日本女性医学学会ヘルスケア指導医、日本女性医学学会認定女性ヘルスケア専門医、日本骨粗鬆症学会認定医、母体保護法指定医、医学博士

### 診療科紹介

女性ヘルスケアとは産婦人科の専門領域の 1 つで、女性のすべてのライフステージにおける QOL の維持・向上のために、女性に特有な心身にまつわる疾患を主として予防医学の観点から取り扱います。具体的には内膜症や月経困難症、婦人科良性疾患、月経前症候群、卵巣機能障害（月経不順）、更年期障害、脂質異常症、骨粗鬆症などを対象疾患としています。平たく言うと産婦人科疾患全般から悪性腫瘍（がん）、周産期（妊娠・分娩）、不妊症を除いた全てを扱う診療科です。

2020 年 4 月より診療科として開設されたばかりで、現在のところ人員・施設ともまだ不十分であり、もともと産婦人科領域の診療分野であることから産婦人科診療の一部としてスタートいたしました。特に骨粗鬆症に関しては国内トップレベルの診療を自負しています。「骨粗鬆症」と聞くと、なんとなく高齢者の疾患のイメージですが、実際には若年女性の体重減少性のものや妊娠・授乳関連骨粗鬆症の患者さんが遠方からも紹介されています。今後の妊娠・出産を考慮することや長期のフォローが必要であり。患者さんそれぞれに合わせて生活習慣の指導から最新の薬物療法で対応しています。

わが国では、すべての女性が健康で活躍できる社会の実現を目指すことが国の基本方針とされています。その実現のために、少しでも「女性ヘルスケア部」がお手伝いできることを当科の目標としています。

### 施設認定

- 日本産科婦人科学会認定総合型専攻医指導施設
- 日本女性医学学会認定研修施設
- 母体保護法指定研修施設

# 部門紹介

看護部

薬剤部

中央リハビリテーション部

中央放射線部

中央検査部

臨床工学部

栄養管理部



## 看護部



看護部長

**瀧谷 樹美** (たきだに きみ)  
認定看護管理者

### 部門紹介

横浜労災病院看護部では、急性期医療・救急医療・勤労者医療を提供するために他職種と協働して専門性の高い良質な看護サービスを提供しています。専門職業人として誇れる自分であり続けることが人生を豊かにすると考え、スキルだけでなく、高い品格と倫理観を持った自立した看護師の育成に力をいれています。高度急性期医療を担う看護を实践するために、チーム医療の一員として様々な職種と協働し、治療と看護の両面から患者さんにより良い医療を提供できるよう取り組んでいます。困難な状況が続く中、地域と一丸となり乗り越えていく所存です。

### 専門看護師・認定看護師紹介

#### 専門看護師

がん看護専門看護師  
乳がん看護認定看護師

**大椋 裕美**  
(おおなぎ ひろみ)



急性・重症患者看護専門看護師

**渡邊 純子**  
(わたなべ じゅんこ)



精神看護専門看護師

**五十嵐淳子**  
(いがらし じゅんこ)



#### 認定看護師

がん化学療法看護認定看護師

**川原 裕美**  
(かわはら ひろみ)



がん化学療法看護認定看護師

**岡本真理子**  
(おかもと まりこ)



看護部

がん化学療法看護認定看護師

河崎 弘子  
(かわさき ひろこ)



がん化学療法看護認定看護師

倉林 美和  
(くらばやし みわ)



看護副部長  
緩和ケア認定看護師

藪田 万喜  
(やぶた まき)



緩和ケア認定看護師

小島 彩子  
(こじま あやこ)



緩和ケア認定看護師

三野 千絵  
(みつの ちえ)



手術看護認定看護師

長嶺 園美  
(ながみね そのみ)



認知症看護認定看護師

樋口 哲也  
(ひぐち てつや)



皮膚・排泄ケア特定認定看護師

八木 美弦  
(やぎ みつる)



皮膚・排泄ケア特定認定看護師

高山ふみ代  
(たかやま ふみよ)



救急看護認定看護師

佐伯 昌美  
(さえき まさみ)



救急看護認定看護師

大沢 智  
(おおさわ さとし)



小児救急看護認定看護師

佐々木英利香  
(ささき えりか)



糖尿病看護認定看護師

野地 俊成  
(のぢ としなり)



新生児集中ケア認定看護師

古都美智子  
(ふるいち みちこ)



新生児集中ケア認定看護師

小堤 恵梨  
(こづつみ えり)



看護副部長  
集中ケア認定看護師

松下 澄子  
(まつした すみこ)



クリティカルケア認定看護師

本鍋田麻代  
(ほんなべた まよ)



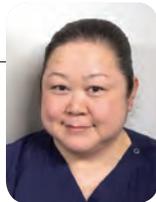
透析看護認定看護師

相澤友佳子  
(あいざわ ゆかこ)



感染管理認定看護師

宇田 淳子  
(うだ じゅんこ)



感染管理認定看護師

長田久美子  
(おさだ くみこ)



## 特定行為研修修了者紹介

### 特定行為区分

- 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- 創傷管理関連
- 創部ドレーン管理関連

八木 美弦  
(やぎ みつる)



高山ふみ代  
(たかやま ふみよ)



### 特定行為区分

- 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
- 呼吸器（気道確保に係るもの）関連
- 循環動態に係る薬剤投与関連
- 動脈血液ガス分析関連

本鍋田麻代  
(ほんなべた まよ)



## 看護師による外来

### 糖尿病フットケア外来（予約制）

糖尿病ケア・看護外来は、医師の指導、協力のもと、糖尿病患者さんを対象としたフットケアを行い、糖尿病足病変（足潰瘍、足壊疽）の発症、再発予防に努めています。

【診療日】 月～金曜日

※内分泌代謝内科に受診歴がない方は、内分泌代謝内科への紹介状が必要です。

### ストーマ外来（予約制）

ストーマ造設術を受けられる患者さんのケアに手術前より関わり、入院中は病棟ナースと連携してケアを提供しています。ストーマを保有しながら生活をする患者さんや、その人を取り巻く方々がより良い生活を送ることが出来るよう、退院後も継続して介入を行っています。

【診療日】 月曜日～金曜日

※当院以外でストーマを造設された方は、初回のみ外科または泌尿器科への紹介状が必要です。

## 看護部

### リンパドレナージ外来（予約制）

リンパ浮腫（むくみ）は、乳がん、婦人科がん、泌尿器がんなどの治療に伴うことが多く、多くはゆっくり痛みもなく進行しています。リンパドレナージ外来では、情報提供及び指導（リンパ浮腫の予防、日常生活について、浮腫の管理）とともにリンパドレナージを実施しています。

【診療日】 月曜日・木曜日 午前・午後

※初めてのの方は、乳腺外科への紹介状が必要です。



### がん看護外来

がん看護専門看護師やがん看護分野の認定看護師が、がん治療を受ける患者さんとご家族の個別相談、病状説明への同席、意思決定支援を行っています。

病状や治療に対する不安、治療方法の選択、治療に伴う副作用症状や外見変化へのケア、治療と就労の両立、療養方法の検討などがん診断後から生じるさまざまな悩みに対応し、安心して治療・ケアが受けられるよう支援しています。

【対応日】 月～金曜日

【費用】 診療報酬（がん患者指導管理料 500 点 / 200 点）の対象となります

※当院に通院・入院されている方が対象です。

### 助産師による指導

#### ■ 母乳外来

産後 1 ヶ月以内の方を対象に母乳育児のサポート、母乳トラブル、赤ちゃんの成長支援など安心して子育てができるよう支援をおこなっております。

【母乳外来】 月・水・金曜日 3,300 円 / 回（税込）（予約制 45 分）

#### ■ 産後 2 週間健診

産後 2 週間前後のお母さんを対象に、助産師がエジンバラ評価表をもとに育児不安や産後うつ等をメンタルサポート行っております。

【産後 2 週間健診】 火・金曜日 4,000 円 / 回（非課税）（予約制 30 分）

#### ■ 個別沐浴指導

お家に帰られてから安心して沐浴ができるよう、助産師がマンツーマンで指導させていただきます。入院中にお母さんやご家族も赤ちゃんの沐浴を体験することができます。いろいろなベビーオイルをご用意し、赤ちゃんのスキンケアなども行っております。

3,300 円 / 回（税込）（予約制 45 分）

## 専門看護師・認定看護師による研修活動

### がん看護研修

がん看護・緩和ケアの最新のがん看護に関するトピックスや院内の動向について知識の習得と実践に向けた学習の場として、がん看護分野の専門/認定看護師が「がん看護研修」を実施しました。

2020年度は、院内小規模開催となりました。

- 【研修内容】
- ① がんゲノム医療の概要と院内の動向
  - ② COVID-19におけるがん化学療法看護
  - ③ 見直そう！痛みのアセスメント



【講義】



【ロールプレイ】

### 皮膚・排泄ケアに関する研修

ストーマに関わる院外・内の医療職者にむけた、ストーマケアセミナーなどを開催し、地域・病院看護師との交流の場にもなっています。2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、集合研修は中止しました。

## 看 - 看連携の会

### 2020年度 第1回 看 - 看連携の会

開催日：2020年12月9日（水）WEB開催

医師・CNによるトピックセミナー

地域の訪問看護ステーション9施設の方々に参加いただきました。感染管理担当医師による「新型コロナウイルス感染対策」についての講義、感染管理認定看護師を交えての意見交換ができました。施設間の往来が自粛されている中、2020年度はWEB開催で行い、他施設の情報交換や日頃の感染対策に関する疑問に答えることができ、有意義な看 - 看連携ができました。

## 薬剤部

### 部門紹介

薬剤部の業務は大別すると次の3つがあります。①中央業務、②臨床業務、③教育・研究業務です。薬剤部はこれらの業務を通じて、「医療の質と安全性の向上」と「医薬品の適正使用」を目指しています。

その内容としては、次のようなものが主にあります。①の中央業務には、調剤（処方・注射）、薬品管理、医薬品情報（収集と加工・提供・データベースメンテナンス）、治験など、②の臨床業務には、薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務、チーム医療（栄養サポート・感染制御・がん化学療法・緩和ケア・糖尿病療養指導・救命救急・医療安全など含む）など、③の教育・研究業務には、薬学生臨床実務実習の受け入れ、薬科大学などをはじめ院外の施設・団体・企業との協同研究、看護師特定行為研修、自部門での研修会、臨床研究などの業務を行っています。

これらの業務を支えるツールには、病院電子カルテシステムはもとより、これに連動する薬剤部の部門システムがあります。作業に応じて調剤・調製を支援するシステム（処方薬、注射薬、抗がん剤、麻薬）、在庫管理システム、電子カルテから独立した医薬品情報収集システム、治験管理システムなどです。

また、病院の充実した診療体制・機能により、専門・認定など取得しやすく自己研鑽やスキルアップに最適な環境が提供されています。

薬剤部は、「薬品の購入から、処方（注射）オーダ等の妥当性の検討、調剤・調製、供給、施用確認（有効性と安全性）、使用終了まで」を、様々なツールを駆使し、関係する医師・看護師などと連携を取りながら、Pharmaceutical care（ファーマシューティカルケア：薬学的管理・指導）を実践し、患者さんの療養と病院経営を多面的に支援しています。

### 主な業務

#### ■ 患者サポートセンターでの常用薬確認

令和2年に患者サポートセンターが立ち上がり、これと協働する形で、入院前に常用薬や日頃使用されているサプリメント等を確認し入院後の手術や検査等に影響を及ぼすことがないか、事前休薬の必要な薬の確認・説明を行っています。またこの際、入院当日までに他院から薬が追加された場合には保険薬局を通じて連絡いただけるようにお薬手帳に記載し、必要時に保険薬局より連絡をもらっています。入院前に事前確認を行うことで患者さんが安心して入院いただくことはもちろん、薬に関して不安なく退院いただけるように努めています。

#### ■ 薬剤管理指導業務・病棟薬剤業務

患者さんが使用している薬の内容、アレルギー・副作用歴などを聴取・収集したうえで、持参薬の鑑別・評価をしたり、医師に処方提案を行ったり、副作用が起きていないか確認・観察することで、入院中に医薬品が適正に安全に使われるよう努めています。退院時には、お薬手帳を活用できるように退院処方の内容を表記したシールを全ての退院処方発行するなど、退院後もスムーズな連携が取れるように退院時指導にも力を入れています。

#### ■ 調剤業務・注射薬調剤業務

外来患者さんには原則、院外処方箋を発行、調剤は入院患者さんが中心です。調剤前に腎機能などを中心とした検査値、併用薬などを確認し処方監査を行い、薬物療法の安全性向上に努めています。又、外来で通院しながら化学療法を行っている患者さんには、外来指導の際、居宅での療養状況の確認ヒアリングとアセスメントを行っています。

注射薬調剤は業務支援にピッキングマシンを導入、投与量、投与経路、投与速度、配合変化の確認・監査を行った後、1 施用ごとの患者別セットを行っています。

### ■ TPN 無菌調製・抗がん剤調製

高カロリー輸液を中心とした無菌調製は 365 日クリーンベンチ内で薬剤師が行っており、処方内容についても配合変化、栄養の観点から薬剤師が監査を実施しています。抗がん剤はレジメンシステムを用いて、投与量、投与スケジュール等を確認するとともに、医療従事者の薬剤曝露を防ぐために薬剤部に設置してある安全キャビネットにて 365 日、薬剤師がレジメン施行予定に合わせて混合調製を行っています。

## 地域医療連携の取組

### ■ 保険薬局との院外処方薬物治療管理連携

医療機関と保険薬局との間で、あらかじめ調剤技術・手法に関する合意事項を取り決めておき、保険薬局ではそれを遵守・調剤を行うことで、薬物治療の質の向上を図ることがこの連携の目的のひとつです。現在、当院をとりまく各区の薬剤師会と一部企業系保険薬局と実施中。また、新横浜地区近隣保険薬局との連携会も月 1 回開催し、保険薬局薬剤師と問題共有・解決、診療科による研修会、その他勉強会等を通じて連携を図っています。

### ■ 吸入支援連携

気管支喘息と慢性閉塞性肺疾患の薬物療法の中心である吸入薬には、様々なデバイスがあり、その操作方法は様々です。患者さんの長期にわたる治療継続を支援するため、その支援の一環として吸入指導書・評価表を作成・提供、地域の保険薬局とそれらを活用し診療科医師らと連携・情報共有を行っています。今後、このような連携が診療所・開業医の先生方へも広がりを見せると、より良質な医療サービスの提供ができると考えております。

### ■ 糖尿病薬連携

シックデイの対応について、薬を中心とした療養指導の内容が各保険薬局、病院間で食い違わないよう統一化を図るために、シックデイの標準指導書を作成・提供・活用しております。共通のツールを用いて指導することで、病院と齟齬のない指導となり、居宅療養治療の質と安全を高められると考えております。

## 中央リハビリテーション部

### 部門紹介

中央リハビリテーション部では、多職種チームによる超急性期リハビリテーションに取り組んでいます。

高度・急性期医療を担う当院中央診療部門として、年間 約 4,000 名の方にリハビリテーション医療を提供しています。リハビリテーション科医師・依頼科医師をはじめ、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、看護師、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなど多くの専門職が連携しチーム医療を推進することで、疾病発症や手術直後の早い時期からリスク管理に配慮し、疾患の病態や病型に応じ、発症早期からのリハビリテーションを実施、生じうる障害や合併症を可能な限り予測し、それらを最小化させるため、超急性期リハビリテーションを実践しています。こうした急性期からの取り組みが、急性期病院として地域医療連携を行っていく上で、その方の良好な機能・能力回復に繋ぐことができると考えています。

### 運営方針

急性期リハビリテーションの効果と重要性は、様々な疾患や重症病態において示されています。脳卒中や整形外科疾患、心筋梗塞、心不全、肺炎、呼吸不全、外科周術期、がん、末梢動脈疾患などの各種疾患に対するリハビリテーションの提供が必要であり、また治療場面においては集中治療（ICU等）場面からのリハビリテーション実施が必要とされ、その予後を左右する重要な手段となっています。

そういった背景を踏まえ、中央リハビリテーション部では、以下 4 項目に重点的に取り組んでいます。

- ①疾患や治療時期に応じた安全で質の高いリハビリテーションの提供
- ②セラピストの専門化推進
  - ・心臓リハビリテーション指導士・三学会合同呼吸療法認定士・糖尿病療養指導士等の資格取得と必須研修（がんリハビリテーション研修など）の受講。
  - ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専門性からさらに踏み込んだ脳血管疾患・運動器疾患・呼吸器疾患・心大血管疾患等、疾患別に必要とされる専門知識と技術の研鑽。
- ③病棟・病室からの早期介入
  - ・より早期からの安全かつ効率的な介入。
- ④切れ目のないリハビリテーション提供体制の構築
  - ・365 日リハビリテーション提供体制構築を念頭に置いた、休日におけるリハビリテーション提供

### 施設基準

心大血管疾患リハビリテーション	(施設基準 I)
脳血管疾患等リハビリテーション	(施設基準 I)
運動器リハビリテーション	(施設基準 I)
呼吸器リハビリテーション	(施設基準 I)
廃用症候群リハビリテーション	(施設基準 I)
がんリハビリテーション (入院中のみ)	

現在のリハビリテーションは、各疾患、分野ごとに細分化が進んでいます。

心臓や呼吸器の疾患、がん、脳血管疾患、運動器疾患など様々な疾患別にリハビリテーションが提供されるようになっており、セラピストの技術向上だけでなく、各科医師や看護師などと専門的チーム形成が必要とされます。当院では人員・施設設備を整え、上位施設基準取得によりリハビリテーションを提供しております。

## 診療体制

理学療法士 (PT) 20 名、作業療法士 (OT) 11 名、言語聴覚士 (ST) 5 名、看護師 1 名 (心大血管リハビリテーション専任) が、それぞれの職能を活かし、心を込めてリハビリ診療を行います。

当部には、以下の認定療法士が在籍しています。

- 3学会合同呼吸療法認定士 8名
- 認定理学療法士(循環) 1名、(呼吸) 2名
- 高血圧循環器病療養指導士 2名
- 心臓リハビリテーション指導士 4名
- 糖尿病療養指導士 2名
- がん患者リハビリ研修受講 30名

また、以下の学会に登録しています。

- (社)日本理学療法士協会
- (社)日本言語聴覚士協会
- 日本心臓リハビリテーション学会
- 認知神経リハビリテーション学会
- 日本手外科学会
- 日本高血圧学会
- (社)日本作業療法士協会
- 集中治療医学会
- 呼吸ケアリハビリテーション学会
- 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会
- 日本ハンドセラピー学会
- その他

## 主な対象疾患

### 整形疾患

- 大腿骨頸部骨折 (人工骨頭術後)
- 変形性関節症 (THA・TKA 術後)
- 脊柱管狭窄症
- 靭帯損傷後
- 頸椎症性頸髄症
- 各骨折後
- 肩関節周囲炎
- アキレス腱断裂等

### 脳血管疾患

- 脳出血
- 脳梗塞
- クモ膜下出血
- 慢性硬膜下血腫
- 脳腫瘍
- 末梢神経障害等
- 神経難病 (重症筋無力症、筋萎縮性側索硬化症など)、ギラン・バレー症候群など

### 呼吸器疾患

- 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)
- 肺炎
- 間質性肺炎
- 慢性呼吸不全
- 誤嚥性肺炎等

### 心大血管疾患

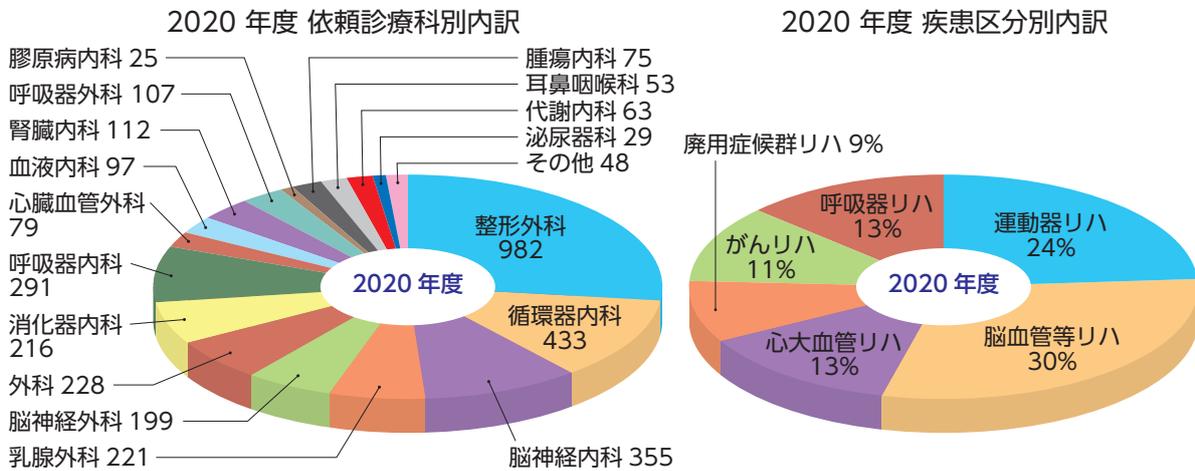
- 急性心筋梗塞
- 狭心性
- 弁膜症
- うっ血性心不全
- 末梢動脈疾患
- 動脈瘤
- 心臓手術後 (冠動脈バイパス術・弁置換術、人工血管術後)
- 急性大動脈解離
- 閉塞性動脈硬化症 (ASO: 切断術後) 等

### その他

- 開胸開腹術後
- 各種がん

中央リハビリテーション部

主な診療科内訳と疾患区分別内訳



地域医療連携の取組

< 病病連携 >

地域での「脳卒中連携パス」や「神奈川東部整形外科地域連携の会」等、積極的に取り組んでいます。

< 地域住民の方への講演・啓発活動 >

下記テーマで出張市民講座を開催しています。

- 「認知症とその予防」
- 「高齢者の転倒予防」
- 「腰痛予防のためのエクササイズ～日常生活での注意点」
- 「糖尿病の運動指導」
- 「最近ムセませんか？ 嚥下障害発見と予防対策」
- 「心臓病・動脈硬化を予防しよう！～運動の重要性和実施方法について」

< 横浜市心血管疾患対策推進事業への参画 >

横浜市は、2019年10月より心血管疾患患者の罹患後の再発・重症化を予防することを目的に、市内7エリアで心臓リハビリテーション強化指定病院を指定し、心臓リハビリテーションの提供体制の確立や地域連携の構築を進めることになりました。当院は、港北区及び都筑区を担当する心臓リハビリテーション強化指定病院となっております。

心臓リハビリテーションは、心疾患罹患後の急性期から始まり、再発予防、心不全の重症化予防を目的として、運動療法、服薬、食事管理、生活指導、社会復帰支援、カウンセリングなどのさまざまな側面から取り組む「総合的なプログラム」です。多職種からなる心臓リハビリテーションチームでの取り組みと急性期から回復期、医療施設以外のスポーツジムなどを含めた地域での包括的な「連携」と「継続支援」が重要なカギとなります。

当院循環器内科・心臓血管外科・リハビリテーション科・看護部・薬剤部・栄養管理室・中央リハビリテーション部・地域連携室等で心臓リハビリテーションの認知拡大を目指して、市民や医療関係者等に対する啓発活動などを行ってまいります。

# 中央放射線部

## 部門紹介

中央放射線部は、病院の中央サービス部門として、各診療科の医師のオーダーによって診療に必要とされる医用画像を提供することや、高エネルギー放射線による放射線治療等の診療業務を行っています。また、画像診断装置や放射線治療装置の保守・管理、更には被ばく管理や放射線施設管理等、総合的な放射線管理を行う部門でもあります。

スタッフは、部長以下 49 名の診療放射線技師で構成され、部内運営上の業務分担は、

- |            |             |               |
|------------|-------------|---------------|
| 1. 一般撮影部門  | 2. 乳房画像撮影部門 | 3. X線透視撮影部門   |
| 4. 血管撮影部門  | 5. CT部門     | 6. MRI部門      |
| 7. 核医学検査部門 | 8. 放射線治療部門  | 9. 健診・骨密度検査部門 |

の9管理体制（11名の担当主任技師）をとっていますが、同時に、円滑な業務の遂行を主旨に、日々、部門の枠を越えたサポート体制が運営の大きな柱となっています。近年、画像診断機器を始めとする放射線診療機器の進歩は目を見張るものがあり、それらに対応すべく私共診療放射線技師は新しい診療技術や知識、放射線管理等の高い専門性を身につけるよう日々、スキルアップに努めております。また、診療放射線技師は、専門職として医療の一翼を担っている責任の自覚と共に、患者さん中心のチーム医療への責任ある参画を共通の価値観に、日々研鑽を重ねています。

### 撮影室・治療室概要

一般撮影部門	9室	撮影室6室、乳房専用撮影室1室、救急部1室、健診撮影室1室
X線透視撮影部門	7室	透視撮影室3室、内視鏡室1室、健康透視撮影室3室
血管撮影部門	3室	汎用装置室1室、心カテ室2室
CT部門	3室	64列CT装置室2室、救急部専用64列CT装置1室
MRI部門	3室	1.5T装置室1室、3.0T装置室2室
核医学検査部門	2室	汎用装置室（全身&SPECT兼用）1室、SPECT専用装置室1室
放射線治療部門	4室	リニアック室2室、治療計画用CT1室、ガンマナイフ室1室
骨密度測定室	1室	骨密度測定室1室



3.0T MRI装置 Skyar



パイプライン型心血管アンギオ装置



高精度放射線(定位)治療装置  
ノバルス STx

中央放射線部

資格・研修修了取得者数

資格・認定名称	人数
第1種放射線取扱主任者免許	8
第1種放射線取扱主任者試験合格	3
医学物理士	2
X線作業主任者	2
γ線透過写真撮影作業主任者	2
放射線治療品質管理士認定	2
放射線治療専門放射線技師認定	5
検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	11
磁気共鳴専門技術者	1
X線CT認定技師	3
救急撮影認定技師	3
核医学専門技師	1
血管撮影・インターベンション撮影診療放射線技師	1
臨床実習指導教員	1
診療放射線技師実習施設指導者	2
放射線管理士認定	1
放射線機器管理士認定	1
医療画像情報精度管理士	3
胃がんX線検診技術部門B資格検定	2

主な実績

- 公益社団法人 日本診療放射線技師会 『医療被ばく低減施設』認定事業  
平成17年12月に第1号認定を取得し、平成29年に更新認定を受けました。
- NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構「マンモグラフィ検診施設画像認定施設」  
平成28年6月にデジタルマンモグラフィソフトコピー検診施設認定を取得しています。
- 令和2年11月にIVR被ばく低減認定施設を取得しています。



医療被ばく低減施設認定証



マンモグラフィ検診施設画像認定証



IVR被ばく線量低減推進施設認定証

# 中央検査部

## 部門紹介

中央検査部では患者さんから採取された血液や尿などの成分を分析し多くの医療情報を提供しています。細菌検査室では、微生物による感染があるかどうかや、どんな薬が有効かなども調べています。また、輸血検査室では、輸血細胞治療に関する検査や血液製剤の準備供給を行っています。病理検査室は、組織・細胞診断の検査を行っています。さらに、生理検査室では心電図や脳波に加え超音波検査など患者さん自身の身体内部の状態を検査して、そのデータを臨床に提供して診断を補助します。当院で実施している緊急検査項目の大部分は、1時間以内で報告ができるような体制で実施しています。特に、検体部門は夜間休日を含み24時間体制で実施しています。

### 診療スタッフ

職種	役職	人数
臨床検査技師	部長代理	1名
	主任	7名
	スタッフ	25名
業務委託		19名

### 認定資格取得者数（臨床検査技師対象認定資格）・病院

認定学会・機構	資格名称	人数
日本臨床細胞学会	細胞検査士（国内・国際）	8名
日本超音波医学会	超音波検査士（消化器）	12名
	超音波検査士（体表）	10名
	超音波検査士（循環器）	14名
	超音波検査士（泌尿器）	7名
	超音波検査士（血管）	3名
血管診療技師認定機構	血管診療認定技師	2名
日本輸血学会	認定輸血検査技師	2名
日本検査血液学会	認定血液検査技師	1名
日本糖尿病療養指導士認定機構	糖尿病療養指導士	4名
日本臨床検査同学院	臨床病理技術士二級（病理）	5名
	臨床病理技術士二級（血清）	1名
	臨床病理技術士二級（循環器）	8名
	臨床病理技術士二級（神経生理）	3名
	臨床病理技術士二級（血液）	1名
	臨床病理技術士二級（呼吸）	1名

## 中央検査部

### 認定資格取得者数（臨床検査技師対象認定資格）・業務委託

認定学会・機構	資格名称	人数
日本検査血液学会	認定血液検査技師	1名
日本臨床衛生検査技師会	認定一般検査技師	1名
日本臨床検査同学院	緊急臨床検査士	4名
	二級臨床検査士（免疫血清）	1名
	二級臨床検査士（血液）	5名
	二級臨床検査士（臨床化学）	1名
日本臨床化学会	認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師	1名
生物試料分析科学会	分析機器・試薬アナリスト	1名

## 主な業務

血液検査	患者さんから採取した血液の血球成分と、血液のかたまり易さを調べる検査です。
尿一般検査	<p>尿と便検査を行っています。これらは患者さんに苦痛を与えることなく容易に検体を採取できるという利点があります。</p> <p>尿検査は尿中正常成分の量的変化や異常成分の出現によって、腎疾患だけでなく各種疾患のスクリーニング検査として有用です。尿中の細胞成分は、顕微鏡にて鏡検します。便潜血検査は糞便中に含まれる肉眼的には認められない微量な血液を検出することができます。消化管出血の有無を知るために行うスクリーニング検査です。</p>
生化学検査	検査のために患者さんから採取する血液・尿・体液などを「検体」と言います。生化学検査では、これら「検体」に含まれている成分を自動分析装置などを用い調べています。
細菌部門	<p>一般細菌検査は、塗抹検査・培養検査・薬剤感受性試験などを行っています。抗酸菌検査は、一般細菌検査同様に塗抹検査・培養検査・薬剤耐性試験を行います。また、遺伝子検査としてPCR検査を実施しています。このPCR検査は結核菌のような培養に時間がかかる細菌や、通常の方法では培養できないウイルスの検出を迅速に行うことが出来る有用な検査方法です。</p> <p>また、院内感染に対する取り組みとして細菌検査室では、病院感染対策委員会とも連携をして、MRSAに代表される様々な耐性菌に関する監視及び拡大防止に取り組んでいます。</p>
生理部門	中央検査部で実施している生理学的検査項目です。

検査項目

標準 12 誘導心電図	ホルター心電図
トレッドミル負荷心機能検査	平均加算心電図
立位負荷心電図	血圧脈波
ポリグラフ	フローボリューム
肺気量分画測定	肺拡散能力検査
機能的残気量測定	
クロージングボリューム	乳腺超音波検査
腹部超音波検査	体表超音波検査
甲状腺超音波検査	深部静脈血栓超音波検査 (DVT エコー)
頸動脈超音波検査	経食道心臓超音波検査
心臓超音波検査経	下肢動脈超音波検査
睡眠時無呼吸検査	下肢静脈瘤超音波検査
脳波	リウマチ超音波検査
針筋電図	表面筋電図
神経伝導速度	反復刺激テスト
H 波・F 波	Blink Reflex
ティルトテスト (起立テスト)	発汗テスト
聴性脳幹反応 (ABR)	体性感覚誘導電位 (SEP)
マスター負荷心電図	視覚誘発電位 (VEP)

主な実績

平成 30 年 2 月 15 日 ISO15189 認定取得

平成 30 年 2 月 20 日 I&A 制度 (輸血機能評価認定制度) 取得

## 臨床工学部

### 部門紹介

臨床工学部は、工学と医学の技術と知識を生かし、病院内の様々な生命維持管理装置の操作・保守管理を行います。また、常に医療機器が正確に動作するよう保守点検を行い、病院内のスタッフが医療機器を安全かつ正しく扱えるようサポートしています。

医療機器の点検保守や、血液浄化治療、高気圧酸素療法、体外循環（人工心肺）装置の操作等を通じて、365日24時間対応で様々な診療科の治療に携わっています。

### 主な業務

#### ■ 血液浄化業務

透析患者さんの入院に対する人工透析の他に、腎不全状態になってしまった方に行う血液浄化やLDLアフェレーシス、劇症肝炎や自己免疫疾患に対して行う血漿交換、薬物中毒に行う血液吸着、長時間行う持続緩除式血液浄化など、患者さんに必要な様々な血液浄化を安全に提供します。

#### ■ 高気圧酸素治療業務

高気圧酸素治療は、高い圧力環境を作り、高濃度酸素を呼吸させることで症状などの改善が期待できる治療です。当院には、神奈川県下の大型装置3基うち1基があり、臨床工学技士が保守と機器操作を行っています。7名まで同時に治療が可能で、多くの患者さんの治療に携わります。また、一酸化炭素中毒・ガス壊疽・腸閉塞・突発性難聴や減圧症など、緊急で高気圧酸素治療が必要な患者さんに対しても対応し治療を行います。

#### ■ 心カテ・デバイス関連業務

頻脈性の不整脈を根治する心筋カテーテルアブレーションなどで使用する様々な装置を操作し、治療の補助を行います。また、心臓の刺激を行うペースメーカ、致死性の不整脈の治療を行うICDや、心臓のポンプ機能を改善させるCRTの植込みのサポートを行うと共に、定期的なペースメーカ外来でデバイスチェックを行っています。最近では、デバイス管理で行われる遠隔モニタリングシステムの管理を医師と協力して行っています。

#### ■ 手術室・ICU業務

人工心肺装置の操作・管理を行い、また、出血を回収、濃縮、洗浄し、再輸血を行う自己血回収装置の操作や手術支援ロボット（ダヴィンチSi）の準備、起動確認など、手術室で行われる様々な手術をサポートしています。また、ICUで必要な治療や装置の管理も行っています。

## 主な実績

臨床工学部には、16名の臨床工学技士が在籍し、365日24時間体制で業務を行っております。直近では、血液浄化関連治療約2,400件、高気圧酸素治療約2,400件、アブレーション治療約290件、デバイス関連約190件、デバイスチェック約3,000件、体外循環手術50件、血液回収約300件などを行っており、救命救急センターやICUへの対応を行いながら、入院および外来患者さんへの様々な治療に携わっています。

関連する学会への参加と発表、様々なセミナーなどに積極的に参加し、透析技術認定士、呼吸療法認定士、体外循環技術認定士、臨床ME専門認定士や、医療機器情報コミュニケーター（MDIC）、不整脈治療専門臨床工学技士、CDR認定などの認定資格を取得しております。

## 地域医療連携の取組

災害時の透析治療確保のため、横浜市の協力のもと、近隣の透析施設と連絡会を作り、発災時には透析患者さんの治療が行えるよう連携した体制を構築しています。また、横浜市病院安全管理者会議臨床工学部会へ参加し、臨床工学技士として医療安全に貢献するため関連病院の臨床工学技士と共に活動を続けています。

## 栄養管理部

### 部門紹介

栄養管理部では、「食」の専門性を発揮し、各専門医療スタッフと連携して患者さんの病態改善・治療・治癒を目指しています。入院中の患者さんには、安心と安全を第一に食品衛生の管理を徹底し、病状に合わせた食事をもとに、アレルギー・嗜好や調理形態など個人に合わせて対応しながら、美味しく食べてやすい食事を提供する努力をしています。また、患者さんが日常生活の中で自らの健康を管理できるよう、オーダーメイドにて様々な食の提案と情報提供を行っています。食生活全般においては、食事摂取基準や健康増進法の理念に基づき、一人ひとりのQOL（生活の質）の向上が重要であるという認識をつねに忘れず、NST（栄養サポートチーム）による病棟訪問などの活動に携わることで、積極的な「食」のアプローチにつなげていきたいと考えています。今後も栄養管理部では、スタッフ一同、患者さんの食生活を全力でサポート・支援していきます。

### 主な実績

食数（2020年4月1日～2021年3月31日）

	年間総食数	1日平均食数	1食平均食数	年間比率
一般食治療食	190,688	522	174	48.2%
特別治療食	204,770	561	187	51.8%
合計	395,458	1,083	361	100.0%

栄養食事指導について（2020年4月1日～2021年3月31日）

	外来	入院	合計	延べ人数	比率
個別指導	1,269件	1,073件	2,342件	2,906人	97.0%
集団指導	0件	31件	31件	90人	3.0%
合計	1,269件	1,104件	2,373件	2,996人	100.0%

### 地域医療連携の取組

当院糖尿病内科受診後、クリニックに通院される場合でも、当院にて半年に1度のペースで合併症の有無や栄養相談、フットケアを受けて頂く『地域連携パス』を運用しています。興味のある患者さんは、地域のクリニックの先生にご相談してください。

当院腎臓内科受診歴がある慢性腎不全の患者さんを対象に栄養相談が受けられます。食事のことで疑問がありましたら、地域のクリニックの先生にお声かけください。



# 共同利用のご案内

登録医制度（共同利用制度）について

横浜労災病院共同利用制度登録申請書

登録医療機関の優先予約について

診療予約申込書

CT、MRI等の放射線機器の利用（医療機器利用型共同利用）

単純CT、MRI等の放射線機器の利用フロー

CT（単純）検査申込書・紹介状

MRI（単純）検査申込書・紹介状

マンモグラフィー検査申込書・紹介状

造影CT、造影MRIの放射線機器の利用フロー

CT（造影）検査申込書・紹介状

MRI（造影）検査申込書・紹介状

上部消化管内視鏡検査の利用（医療機器利用型共同利用）

上部消化管内視鏡検査の利用フロー

上部消化管内視鏡検査申込書・紹介状

ホルター心電図検査の利用（医療機器利用型共同利用）

ホルター心電図の共同利用フロー

ホルター心電図検査申込書・紹介状



## 登録医制度（共同利用制度）について

横浜労災病院では、医療機器の共同利用などを行える登録医制度を実施しています。横浜労災病院の登録医としてご登録いただき、次の制度をご利用いただくものです。また、登録医療機関専用の予約枠と申込窓口を用意しており、通常より早く予約を取ることができます。

なお、利用にあたっては、当院より「登録医証」、「登録歯科医証」を発行させていただきます。

### 実施内容

#### (1) 登録医療機関の優先予約 (→ P156)

目的	登録医として登録いただいている医療機関から、直接診療予約を依頼された患者さんについて、通常の初診予約枠とは別に、登録医枠を設けて優先的に予約を受け付けております。 <b>お電話（平日 8：15～19：00）又は FAX（24 時間受付）でご連絡ください。</b> メールでも予約を受け付けております。詳しくは病院ホームページをご覧ください。
連絡先	電話 045-474-8362 FAX 045-474-8344

#### (2) CT、MRI 等検査目的の利用（医療機器利用型共同利用） (→ P158)

目的	地域の医療機関が検査目的で紹介する患者の検査について、かかりつけ医である登録医と病院内主治医とが病院内の医療機器を共同利用することにより、検査後、かかりつけ医での円滑な診療につなげることを目的としております。 ○コンピュータ断層撮影装置（CT） ○磁器共鳴コンピューター断層装置（MRI） ○レントゲン撮影装置（マンモグラフィ） ○上部消化管内視鏡検査 ○ホルター心電図
----	--

#### (3) 研修会や症例検討会への参加（研修会等参加型共同利用）

目的	病院が主催する研修や研究活動を地域の医療従事者に開放し、地域医療従事者との連携を図りながら、研修・研究活動を進めるものです。
対象研修会	学術講演会、各診療科症例検討会、各部門が主催する研修
利用方法	地域医療連携室から随時ご案内いたします。

#### (4) 図書室の開放（研究部門利用型共同利用）

目的	図書室など病院内の研究部門機能を登録医等に開放し登録医等の研究活動を支援するとともに、必要により互いに連携しその研究活動を進めるものです。
開放施設	図書室（管理棟3階）
閲覧資料	①救急医療提供の実績、②共同利用実績、③紹介率・逆紹介率の実績、④地域の医療従事者のための研修実績 等
利用方法	地域医療連携室で受付後、ご利用いただきます。詳しくは地域医療連携室までお問合せください。

#### (5) 入院患者の共同診療（紹介患者診療型共同利用）

目的	地域医療機関から紹介により入院された患者の診療について、 <b>かかりつけ医である登録医と病院内主治医</b> とが共同して、随時当該患者の検査、処置又は指導に係る診療方針を決定することにより、退院後、かかりつけ医での円滑な診療につなげることを目的としております。
病床	3床
利用方法	詳しくは地域医療連携室までお問合せください。

# 横浜労災病院共同利用制度登録申請書

令和 年 月 日

横浜労災病院共同利用制度運営要領の規定に基づき、共同利用制度の登録を申請します。

登録 機関 名	フリガナ	
	名称	
	所在地	〒 -
	開設者	
	代表者氏名	印
	診療科目	
	電話番号	
	FAX番号	
	ホームページURL	
	E-Mail	
病床の有無	<input type="checkbox"/> あり 床 <input type="checkbox"/> なし	

登録 する 医師	氏名	職名
	生年月日 年 月 日	
登録 する 医師	氏名	職名
	生年月日 年 月 日	
登録 する 医師	氏名	職名
	生年月日 年 月 日	

## 病院事務処理欄

受付年月日	年 月 日	登録機関番号	
登録年月日	年 月 日	登録医証発送日	年 月 日

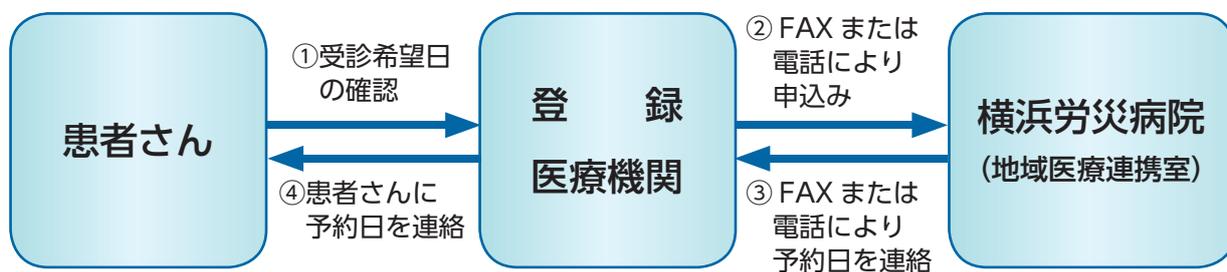
※ご記載内容(E-Mail、生年月日等は除く)は、当院ホームページ等に掲載させていただくことがありますので、ご了承ください。

## 登録医療機関の優先予約について

### お申込み方法

- 登録医療機関用の専用予約枠をご利用できます。
- FAX か電話で、下記へお申し込みください。できるだけFAXをご利用いただきますようお願いいたします。
- FAXでお申し込みいただく場合の様式に特に決まりはございませんが、可能な限り「診療予約申込書」(→P157)をご利用ください。
- FAXでお申し込みいただくと、予約日時を記入した「診療予約のご案内」をFAXでご返信しますので、患者さんにお渡しください。
- 病院ホームページ上の「診療予約フォーム」にてメールでもお申し込みをすることができます。詳しくは病院ホームページをご覧ください。

FAX	045-474-8344
電話（登録医専用）	045-474-8362



### 予約受付時間

月曜～金曜（祝祭日、年末年始を除く） 8時15分～19時

※ FAXは24時間受け付けております。17時以降のお申し込みは、お返事が翌日になる場合があります（金曜日の場合は翌月曜日になります）。

### ご注意

- ご希望の予約枠が埋まっている場合は、ご希望に添えない場合があります。
- 診療状況等により、お待ちいただく場合があることを患者さんにお伝えください。
- 緊急に受診が必要な患者さんについては、直接診療科が対応します。代表電話番号(045-474-8111)にかけ、交換手に「救急患者紹介のため、〇〇診療科の本日の担当医に電話をつないで欲しい」とお話しください。
- 患者さんからの診療予約は、従来通り予約センター（平日 8:15～17:00）での受け付けとなります。
- 登録医療機関以外からの予約は、予約センター（電話 045-474-8882）で承ります。

# 診療予約申込書

令和 年 月 日

独立行政法人労働者健康安全機構  
横浜労災病院 地域医療連携室 宛  
(送付先FAX 045-474-8344)

紹介元医療機関名	
医 師 名	
電 話	FAX

- ①この用紙に必要な事項をご記入の上、FAXで地域医療連携室へお送りください。  
②地域医療連携室で受診日時を調整し、「診療予約のご案内」をFAXで返送いたします。  
※調整に時間がかかる場合は、その都度ご一報いたします。  
③患者さんに、FAXでお送りする「診療予約のご案内」をお渡し下さい。

※患者さんが横浜労災病院の診察券をお持ちの場合は、「氏名」「生年月日」「診察券番号」のみを記入してください。

患 者 情 報	フリガナ		性別	(備考)
	氏名		男・女	
	生年月日	大・昭・平・令 年 月 日		
	現住所			
	電 話	— —		
	当院診察券番号	— —		

希 望 診 療 科 等	内分泌・代謝内科	腎臓内科	リウマチ・膠原病内科	腫瘍内科	血液内科	消化器内科	消化器外科	外科	乳腺外来	呼吸器内科	呼吸器外科	循環器内科	不整脈科	不整脈治療科	心療内科	神経内科	小児科	小児外科	整形外科	整形外科			形成外科	脳神経外科	脳神経血管内治療科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線治療科	歯科口腔外科
	糖尿病	甲状腺	副腎																	人工関節	末梢神経	脊椎											

希望医師	[ ] 医師	・	指定なし
------	--------	---	------

受 診 希 望 日 時	第1希望	年 月 日 ( )曜日	午前・午後	時頃
	第2希望	年 月 日 ( )曜日	午前・午後	時頃
	第3希望	年 月 日 ( )曜日	午前・午後	時頃
	希望日時無し	← この場合は、直近の日時で予約をお取りします。		

## CT、MRI等の放射線機器の利用（医療機器利用型共同利用）

<p>予 約</p>	<p>① CT、MRI、マンモグラフィーの予約をされる登録医療機関は、「<b>検査申込書・紹介状</b>」をご記入いただき、地域医療連携室まで <b>FAX</b> にてお申し込みください。</p> <p>② FAX 受信後、予約状況等を確認し、予約日の調整のため、申し込みをされた医療機関あてに折り返し電話をいたします。</p> <p>③ 予約取得後、地域医療連携室より「<b>検査予約票</b>」、「<b>検査説明書・同意書（造影剤使用検査）</b>」を <b>FAX</b> にて送付いたします。</p> <p>④ CT 単純撮影（マンモを含む）の場合は、「<b>検査予約票</b>」を患者さんへお渡しください。CT 造影剤使用撮影の場合は、「<b>検査予約票</b>」の問診事項、「<b>検査説明書・同意書</b>」を登録医の先生と患者さんの双方でご記入頂いた後、地域医療連携室まで返送（FAX）ください。FAX 後、「<b>検査予約票</b>」、「<b>検査説明書・同意書</b>」を患者さんへお渡しください。造影剤使用検査の場合は、CT 造影禁忌事項の確認（特にヨードアレルギー、喘息）と<b>クレアチニン値</b>ご記入をお願いいたします。</p> <p>⑤ MRI の場合は、単純撮影・造影剤使用撮影とも「<b>検査予約票</b>」の問診事項をご記入頂き、地域医療連携室まで返送ください。また、造影剤使用撮影の場合は「<b>検査説明書・同意書</b>」を登録医の先生と患者さんの双方でご記入頂いた後、地域医療連携室まで返送ください。FAX 後、「<b>検査予約票</b>」、「<b>検査説明書・同意書</b>」を患者さんへお渡しください。造影剤使用検査の場合は、MR 造影禁忌事項の確認（特に腎機能障害、喘息）と<b>クレアチニン値</b>ご記入をお願いいたします。</p> <p>⑥ 当院放射線科にてお送り頂いた「<b>検査予約票</b>」、「<b>検査説明書・同意書</b>」の内容を確認いたします。</p> <p>⑦ 撮影方法等に不明な点があった場合は、依頼元医療機関へお問い合わせさせていただきます。</p>
<p>検査当日</p>	<p>① 検査予約日の当日、当院初診の患者さんは、病院の正面玄関を入れて左手にあります総合受付までお越しください。総合受付にてカルテを作成した後、CTは<b>2階</b>放射線受付、MRIは<b>地下1階</b>放射線受付へご案内いたします。当院再診の患者さんは、各放射線受付へ直接お越しください。</p> <p>② 放射線受付にて「<b>検査予約票</b>」を確認（当院再診の患者さんは保険証も確認）いたしますので、忘れずにお持ちください。放射線受付にて受付後、検査実施となります。</p> <p>③ 画像データの患者手渡しやフィルムでの出力をご希望される場合には、申し込み時に予めご連絡ください。（フィルム出力は放射線科にて行います。）</p> <p>④ 検査が終了した後、患者さんは1階総合受付③窓口にて手続きを終えたのち、④会計窓口にて診療費（自己負担分）をお支払いください。</p> <p>⑤ 画像データの郵送を希望された場合には、読影レポートと一緒に地域医療連携室より依頼元医療機関あてに郵送いたします。</p>
<p>結果報告</p>	<p>① 検査が終了した後、放射線科医師が画像を読影し、読影レポートを作成いたします。</p> <p>② 放射線科医師が作成した読影レポートは、地域医療連携室より依頼元医療機関へ郵送いたします。</p>
<p>その他</p>	<p>* 読影レポートは、作成から郵送までに<b>概ね3～5日間程度</b>お時間を頂きますので、予めご了承ください。</p> <p>* 検査当日、緊急処置を要する所見が出た際には、依頼元医療機関へご連絡の上対応させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>* その他、ご不明な点がございましたら、地域医療連携室までお問い合わせください。</p>

## 単純 CT、MRI 等の放射線機器の利用フロー



# 横浜労災病院 CT(単純)検査申込書・紹介状

申込日 令和 年 月 日

横浜労災病院地域医療連携室 へて (FAX 045-474-8344)

下記の空欄部分に必要な事項を記入のうえ、横浜労災病院地域医療連携室(FAX 045-474-8344)へて FAXで送付してください。

検査希望日 月 日 ( ) (おおむね1週間後でお願いします)

検査枠 【 月 ~ 金 】 11:10 , 11:20

紹介医療機関名称	医師名
〒( - )	電話番号 - -
住所	FAX番号 - -

患者氏名	男・女	大正(T) 昭和(S) 平成(H) 令和(R)	年	月	日
住所	〒( - ) 電話番号 - -				

当院受診歴( 有 ・ 無 ・ 不明 ) 患者ID - -

検査部位  頭部  頸部  胸部  上腹部  骨盤  四肢  その他  
(検査部位のチェックは原則として1部位とします。連続する部位であれば2部位まで撮影できますが、詳細な情報が得られない場合があります。)

この検査で知りたい画像情報をお知らせ下さい。

臨床診断名及び検査目的等具体的に記載して下さい。

◆患者さんの情報を、下記に記載して下さい。

薬剤アレルギー 無・有 ( )

喘息 無・有

ヨードアレルギー 無・有

腎機能 正常・異常・未施行

感染症 無・ Wa HB HCV 未施行

閉所恐怖症 無・有

その他 ( )

◆お返事の方法を下記の項目より選択してください

画像の有無  必要  不要

※読影レポートと画像(CD)は、後日郵送いたします。

# 横浜労災病院 MRI(単純) 検査申込書・紹介状

申込日 令和 年 月 日

横浜労災病院地域医療連携室 あて (FAX 045-474-8344)

下記の空欄部分に必要な事項を記入のうえ、横浜労災病院地域医療連携室(FAX 045-474-8344)あて FAXで送付してください。

検査希望日 月 日 ( ) (おおむね1週間後でお願いします)

検査枠 【月～木 16:10、金 15:40】

紹介医療  
機関名称

〒( - )

住所

医師名

電話番号 - -

FAX番号 - -

患者氏名		男・女	大正(T) 昭和(S) 平成(H) 令和(R)	年	月	日
住所	〒( - )			電話番号	-	-

当院受診歴( 有 ・ 無 ・ 不明 )

患者ID

- -

検査部位  頭部  頸部  胸部  上腹部  骨盤  四肢・関節  脊椎  その他  
(検査部位のチェックは原則として1部位とします。)

この検査で知りたい画像情報をお知らせ下さい。

臨床診断名及び検査目的等具体的に記載して下さい。

◆患者さんの情報を、下記に記載して下さい。

薬剤アレルギー 無・有 ( )

喘息 無・有

ヨードアレルギー 無・有

腎機能 正常・異常・未施行

感染症 無・Wa HB HCV 未施行

閉所恐怖症 無・有

その他 ( )

◆お返事の方法を下記の項目より選択してください

画像の有無  必要  不要

※読影レポートと画像(CD)は、後日郵送いたします。

# 横浜労災病院 マンモグラフィー検査申込書・紹介状

申込日 令和 年 月 日

横浜労災病院地域医療連携室 あて (FAX 045-474-8344)

下記の空欄部分に必要な事項を記入のうえ、横浜労災病院地域医療連携室(FAX 045-474-8344)あて FAXでご返送下さい。

検査希望日 月 日 ( ) (おおむね1週間後をお願いします)

検査枠 【 木 】 15:00 , 15:15

紹介医療  
機関名称

〒( - )

住所

医師名

電話番号 - -

FAX番号 - -

患者氏名		男・女	大正(T) 昭和(S) 平成(H) 令和(R)	年	月	日
住所	〒( - )			電話番号	-	-

当院受診歴( 有 ・ 無 ・ 不明 )

患者ID

-

-

臨床診断名及び検査目的等具体的に記載して下さい。

撮影方法をチェックして下さい。

(1)  右側のみ  左側のみ  両側

(2)  CC+LAT 2方向  CC+MLO 2方向

◆患者さんの情報を、下記に記載して下さい。

薬剤アレルギー 無・有 ( )

腎機能 正常・異常・未施行

感染症 無・Wa HB HCV 未施行

その他 ( )

◆お返事の方法を下記の項目より選択して下さい

画像の有無  必要  不要

※読影レポートと画像(CD)は、後日郵送いたします。

## 造影 CT、造影 MRI の放射線機器の利用フロー



# 横浜労災病院 CT(造影)検査申込書・紹介状

申込日 令和 年 月 日

横浜労災病院地域医療連携室 へて (FAX 045-474-8344)

下記の空欄部分に必要な事項を記入のうえ、横浜労災病院地域医療連携室 (FAX 045-474-8344) へて FAXで送付してください。

検査希望日 月 日 ( ) (おおむね1週間後でお願いします)

検査枠 【 月 ~ 金 】 9:00

紹介医療  
機関名称

医師名

〒( - )

電話番号 - -

住所

FAX番号 - -

患者氏名		男・女	大正(T) 昭和(S) 平成(H) 令和(R)	年	月	日
住所	〒( - )		電話番号 - -			

当院受診歴( 有 ・ 無 ・ 不明 ) 患者ID - -

検査部位  頭部  頸部  胸部  上腹部  骨盤  四肢  その他

(検査部位のチェックは原則として1部位とします。連続する部位であれば2部位まで撮影できますが、詳細な情報が得られない場合があります。)

この検査で知りたい画像情報をお知らせ下さい。

臨床診断名及び検査目的等具体的に記載して下さい。

◆患者さんの情報を、下記に記載して下さい。

薬剤アレルギー 無・有 ( )

喘息 無・有

ヨードアレルギー 無・有

腎機能 正常・異常・未施行

感染症 無・Wa HB HCV 未施行

閉所恐怖症 無・有

その他 ( )

◆お返事の方法を下記の項目より選択して下さい

画像の有無  必要  不要

※読影レポートと画像(CD)は、後日郵送いたします。

# 横浜労災病院 MRI(造影) 検査申込書・紹介状

申込日 令和 年 月 日

横浜労災病院地域医療連携室 あて (FAX 045-474-8344)

下記の空欄部分に必要な事項を記入のうえ、横浜労災病院地域医療連携室(FAX 045-474-8344)あて FAXで送付してください。

検査希望日 月 日 ( ) (おおむね1週間後でお願いします)

検査枠 【 金 】 15:40

紹介医療  
機関名称

〒( - )

住所

医師名

電話番号 - -

FAX番号 - -

患者氏名		男・女	大正(T) 昭和(S) 平成(H) 令和(R)	年	月	日
住所	〒( - )			電話番号	-	-

当院受診歴( 有 ・ 無 ・ 不明 )

患者ID

- -

検査部位  頭部  頸部  胸部  上腹部  骨盤  四肢・関節  脊椎  その他  
(検査部位のチェックは原則として1部位とします。)

この検査で知りたい画像情報をお知らせ下さい。

臨床診断名及び検査目的等具体的に記載して下さい。

◆患者さんの情報を、下記に記載して下さい。

薬剤アレルギー 無 ・ 有 ( )

喘息 無 ・ 有

ヨードアレルギー 無 ・ 有

腎機能 正常 ・ 異常 ・ 未施行

感染症 無 ・ Wa HB HCV 未施行

閉所恐怖症 無 ・ 有

その他 ( )

◆お返事の方法を下記の項目より選択して下さい

画像の有無  必要  不要

※読影レポートと画像(CD)は、後日郵送いたします。

## 上部消化管内視鏡検査の利用（医療機器利用型共同利用）

<p>予 約</p>	<p>①地域医療連携室までお電話にてお申し込みください。地域医療連携室にて、予約状況を確認し、その場でお返事いたします。</p> <p>②予約取得後すぐに、地域医療連携室より「<b>検査申込書・紹介状</b>」、「<b>検査説明書・同意書</b>」、「<b>検査予約票</b>」をFAXにて送付いたします。</p> <p>検査説明書に基づき患者さんへご説明いただき、「<b>検査申込書・紹介状</b>」、「<b>検査説明書・同意書</b>」を依頼元の先生と患者さん双方でご記入いただいた後「<b>検査予約票</b>」と「<b>検査説明書・同意書</b>」は患者さんへお渡しください。</p> <p>※「<b>検査説明書・同意書</b>」は③のとおり当院へのFAX後に患者さんへお渡しください。</p> <p>③「<b>検査申込書・紹介状</b>」、「<b>検査説明書・同意書</b>」は、別途、地域医療連携室までFAXにてご送付ください。</p> <p>④当院の消化器内科にて「<b>検査申込書・紹介状</b>」の内容を確認させていただきます。</p> <p>⑤不明な点があった場合は、当院消化器内科より依頼元医療機関へお問い合わせさせていただきます。</p>
<p>検査当日</p>	<p>①検査予約日の当日、当院初診の患者さんは、病院の正面玄関に入って左手にあります総合受付へお越しください。総合受付にてカルテを作成した後、3階の内視鏡受付へご案内いたします。</p> <p>当院再診の患者さんは、直接、3階の内視鏡受付へお越しください。</p> <p>内視鏡受付にて「<b>検査説明書・同意書</b>」、「<b>検査予約票</b>」を確認させていただきますので、ご持参ください。</p> <p>②内視鏡受付にて「<b>問診票</b>」のご記入をいただきます。</p> <p>③内視鏡室にて消化器内科医師が検査を実施いたします。</p> <p>④検査が終了した後、患者さんには1階の会計窓口（自動支払機）にて自己負担分をお支払いいただきます。</p>
<p>結果報告</p>	<p>①検査が終了した後、消化器内科医師が「<b>検査結果報告</b>」を作成します。（生検病理検査なしの場合は3営業日以内に、生検病理検査ありの場合は病理検査確定後に再度作成します。）</p> <p>②消化器内科医師が作成した検査結果報告は、地域医療連携室より依頼元医療機関へ郵送させていただきます。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>*検査当日、緊急処置を要する所見が出た際には、依頼元医療機関へ、ご連絡の上対応させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>*その他、ご不明な点がございましたら、地域医療連携室までお問い合わせください。</p>

## 上部消化管内視鏡検査の利用フロー



# 横浜労災病院 上部消化管内視鏡検査検査申込書・紹介状

参考

申込日 令和 年 月 日

横浜労災病院地域医療連携室 あて (FAX 045-474-8344)

様の検査を 月 日 時 分 に予約しました。

下記の空欄部分に必要な事項を記入のうえ、横浜労災病院地域医療連携室 (FAX 045-474-8344) あて FAXでご返送下さい。

紹介医療  
機関名称

〒( - )

住所

医師名

電話番号 - -

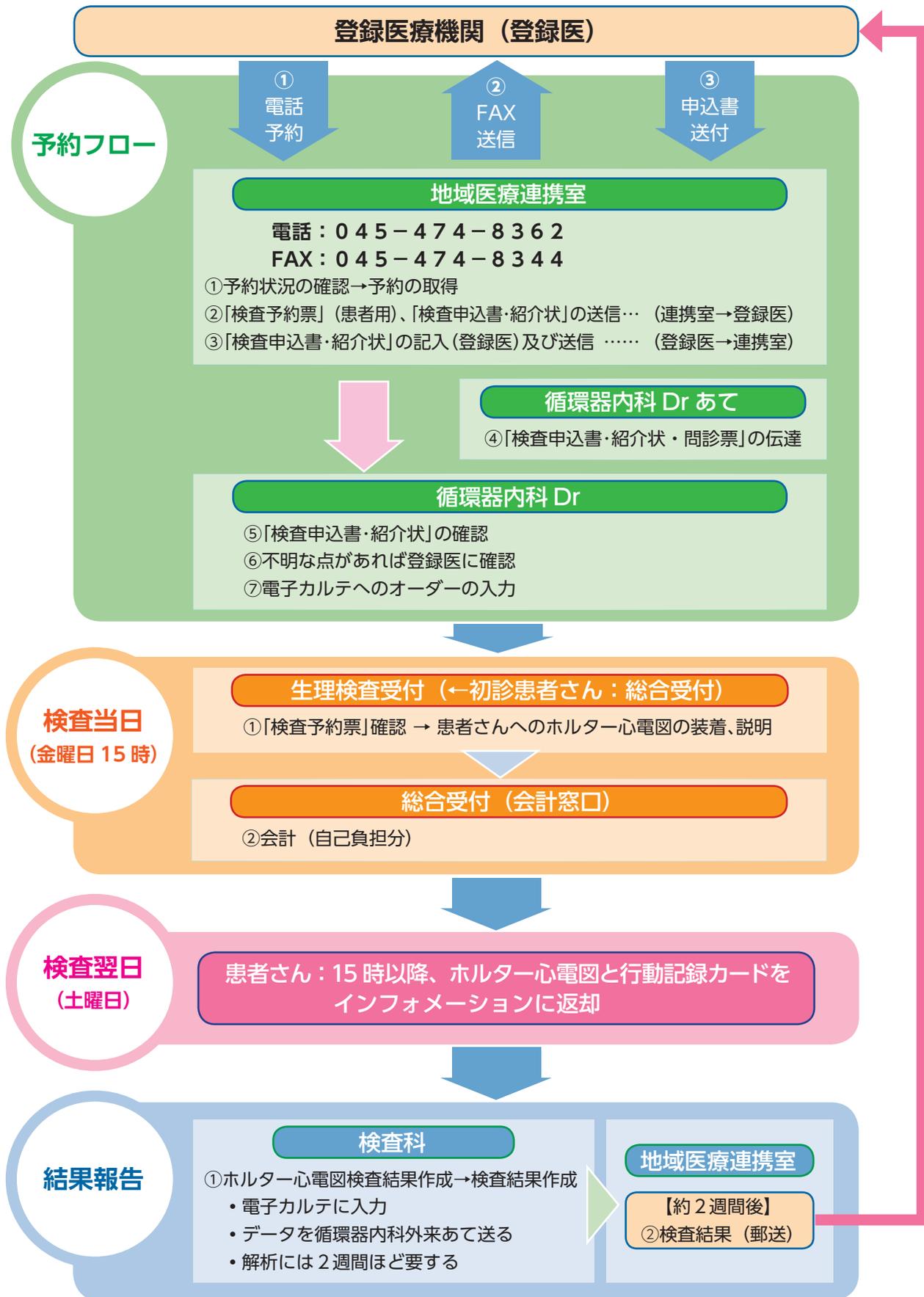
FAX番号 - -

フリガナ	性別	生年月日	
患者氏名	男・女	大正(T) 昭和(S) 平成(H) 令和(R) 年 月 日	
住所	〒( - ) 電話番号 - -		
当院受診歴(有・無・不明)	患者ID	- -	
臨床診断名及び検査目的等具体的に記載して下さい。 該当項目を○で囲んで下さい。 症状：腹痛・吐き気・黒色便・その他( ) 検査目的：精査・スクリーニング・その他( )			
◆基礎疾患(以下の事項は必ずご記入下さい。)			
心疾患	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(病名: )	緑内障 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
不整脈	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(病名: )	糖尿病 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
前立腺肥大	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	その他 ( )	
◆キシロカインアレルギー			
<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 不明			
◆抗血栓薬・常用薬の使用			
<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> ペルサンチン	月 日より中止	
<input type="checkbox"/> ワーファリン	月 日より中止	<input type="checkbox"/> エパデール	月 日より中止
<input type="checkbox"/> バイアスピリン	月 日より中止	<input type="checkbox"/>	月 日より中止
<input type="checkbox"/> パナルジン	月 日より中止	<input type="checkbox"/>	月 日より中止
<input type="checkbox"/> オパルモン	月 日より中止	<input type="checkbox"/>	月 日より中止
<input type="checkbox"/> 上記服薬中だが、中止不可または中止しなくてよい			

## ホルター心電図検査の利用（医療機器利用型共同利用）

<p>予 約</p>	<p>①地域医療連携室までお電話にてお申し込みください。地域医療連携室にて、予約状況を確認し、その場でお返事いたします。</p> <p>②予約取得後すぐに、地域医療連携室より「<b>検査申込書・紹介状</b>」、「<b>検査予約票</b>」をFAXにて送付いたします。「<b>検査申込書・紹介状</b>」をご記入頂き、地域医療連携室までFAXにてご送付ください。</p> <p>③「<b>検査予約票</b>」は、患者さんにお渡しください。</p> <p>④当院循環器内科にて「<b>検査申込書・紹介状</b>」の内容を確認させていただきます。不明な点があった場合は、循環器内科医師より依頼元医療機関にお問い合わせさせていただきます。</p>
<p>検査当日 (金曜日15時)</p>	<p>①検査予約日の当日、当院初診の患者さんは、病院の正面玄関に入って左手にあります総合受付へお越しください。総合受付にてカルテを作成した後、1階の生理検査受付へご案内いたします。</p> <p>当院再診の患者さんは、直接1階生理検査受付へお越しください。受付にて「<b>検査予約票</b>」を確認させていただきますのでご持参ください。</p> <p>②検査機器を装着後、患者さんには1階の総合受付にて保険証の確認（当院再診の患者さんのみ）をさせて頂き、会計窓口（自動支払機）にて自己負担分をお支払い頂きます。</p>
<p>検査翌日 (土曜日)</p>	<p>①患者さんは、検査の翌日、15時以降に「ホルター心電図」と「<b>行動記録カード</b>」をインフォメーションへ返却してください。</p>
<p>結果報告</p>	<p>①検査終了後、循環器内科医師が「<b>心電図解析レポート</b>」を作成いたします。（なお、心電図データの解析には概ね2週間ほど時間を頂きますので、予めご了承ください。）</p> <p>②作成いたしました「<b>心電図解析レポート</b>」は、出来上がり次第、地域医療連携室より依頼のありました依頼元医療機関へ郵送させていただきます。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>*検査当日、緊急処置を要する所見が出た際には、依頼元医療機関へ、ご連絡の上対応させていただく場合がございますので、予めご了承ください。</p> <p>*その他、ご不明な点がございましたら、地域医療連携室までお問い合わせください。</p>

# ホルター心電図の共同利用フロー



# 横浜労災病院 ホルター心電図検査 検査申込書・紹介状

参考

申込日 令和 年 月 日

横浜労災病院地域医療連携室 まで (FAX 045-474-8344)

様の検査を 月 日 時 分に予約しました。

下記の空欄部分に必要な事項を記入のうえ、横浜労災病院地域医療連携室(FAX 045-474-8344)あて FAXでご返送下さい。

紹介医療  
機関名称

〒( )

住所

医師名

電話番号

FAX番号

フリガナ		性別	生年月日
患者氏名		男・女	大正(T) 昭和(S) 平成(H) 令和(R) 年 月 日
住所	〒( ) 電話番号 - -		
当院受診歴(有・無・不明)	患者ID	-	-
臨床診断名及び検査目的等具体的に記載して下さい。 該当項目を○で囲んで下さい。 症状 : 失神 めまい 動悸 胸痛 その他( ) 検査目的 : 精査 スクリーニング フォローアップ 現病歴 :			
◆疑い疾患名(疑っている病名に○をつける) 上室性期外収縮 心室性期外収縮 心房細動 心室頻拍 WPW症候群 発作性上室性頻拍 洞不全症候群 房室ブロック 徐脈性心房細動 狭心症 その他( )			
◆基礎疾患・既往症・危険因子(該当するものに○) 高血圧 高脂血症 糖尿病 喫煙 飲酒 心筋梗塞 狭心症 弁膜症 脳梗塞 その他( )			
◆投与中薬剤 (有無に○。その他心臓に関わる薬剤に関しては1日量・投与方法まで詳しく記入下さい。) 抗不整脈薬 有・無 (投与内容: ) β-blocker 有・無 (投与内容: ) ジギタリス 有・無 (投与内容: ) キサンチン製剤 有・無 (投与内容: ) シロスタゾール 有・無 (投与内容: ) その他 [ ]			
(注)検査結果の報告は検査日から2週間程度で郵送いたします。			